

共 通 事 項			内 部 仕 上 げ			室名	床 下地	仕上 床	幅木 下地	仕上 幅木	壁 下地	仕上 壁	天井 下地	仕上 天井	備考
(1) 本仕上表の表記 1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。 2) 記載の（○―○○―○）内の数字は建築工事標準詳細図（令和4年版）の詳細番号を示す。 3) 略号は下表による。			下地の区分 欄の略号			配置されていないエリア									
			DS			C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	-	-		C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	-		
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			床			1FL									
			EPS			C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB		C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			PS			PS									
			SK			C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB		S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			エントランスホール			エントランスホール									
			事務室1-1			FA1	タイルカーベツト	C・S	VB		C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			事務室1-2			事務室1-2									
			事務室1-3			FA1	タイルカーベツト	C・S	VB		C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	スチールパーティション
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			共用倉庫			共用倉庫									
			共用倉庫			C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB		C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			共用倉庫			共用倉庫									
			女子便所			C	FS	C・S	VB		S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			庁務員室			庁務員室									
			庁舎管理室			FA1	タイルカーベツト	C・S	VB		S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			廊下			廊下									
			機械室			C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C	VB		C	RC(C)	C	GW-B	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			消火ポンプ/消火タンク室			消火ポンプ/消火タンク室									
			湯沸室			C	FS	C・S	VB		S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	流し台、フード、吊戸棚
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			男子便所			男子便所									
			給油口BOX			C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB		C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			署長室			署長室									
			車椅子使用者 用便房			C	FS	C・S	VB		C・S	GB-S、ケイカル板の上EP-G		ケイカル板の上EP-G	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。			階段室A			階段室A									
			階段室B			C	FS	C・S	VB		C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物内部の本部は、EP-G(水系)とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。															
RC（ ）において、床についてはコンクリート直出し（種別）とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂鉛めっき鋼面は、SOP(F☆☆☆☆)とする。 5) 特記以外の建物															

室名	床 下地	仕上 床	幅木 下地	仕上 幅木	壁 下地	仕上 壁	天井 下地	仕上 天井	備考
電算室	FA2	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
風除室	C	磁器質タイル	C・S	磁器質タイル	C・S	磁器質タイル	S	GB-R下地張DR	

2FL									
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
EVホール	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	-	
SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
事務室2-1	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
会議室2-1	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
会議室2-2	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
会議室2-3	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
会議室2-4	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
会議室2-5	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
共用会議室	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
女子休憩室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
女子便所	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
女子更衣室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
廊下	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C	RC(C)	C	GW-B	
湯沸室	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	流し台、フード、吊戸棚
男子休憩室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
男子便所	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
男子更衣室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
耐火倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
車椅子使用者 用便房	C	FS	C・S	VB	C・S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
階段室A	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
階段室B	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	

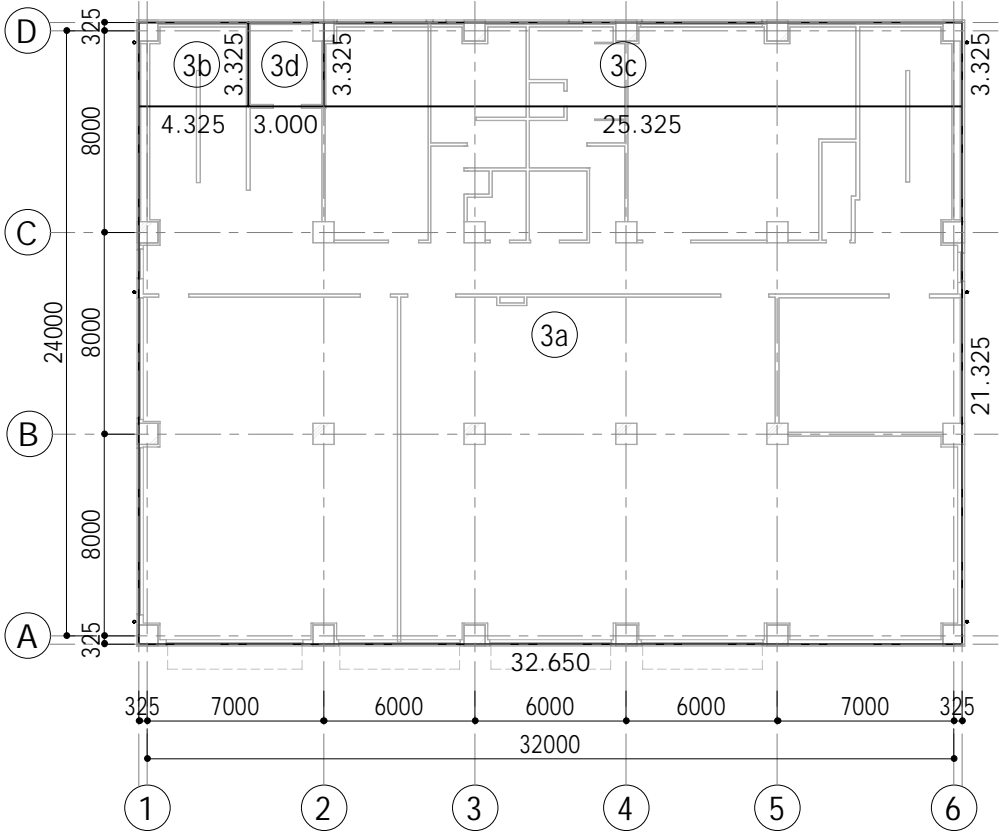
3FL									
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
EVホール	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	-	
SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
事務室3-1	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
事務室3-2	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
事務室3-3	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
事務室3-4	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
共用会議室	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
女子便所	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
廊下	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C	RC(C)	C	GW-B	
湯沸室	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	流し台、フード、吊戸棚
男子便所	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
車椅子使用者 用便房	C	FS	C・S	VB	C・S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
階段室A	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	

室名	床 下地	仕上 床	幅木 下地	仕上 幅木	壁 下地	仕上 壁	天井 下地	仕上 天井	備考
階段室B	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	

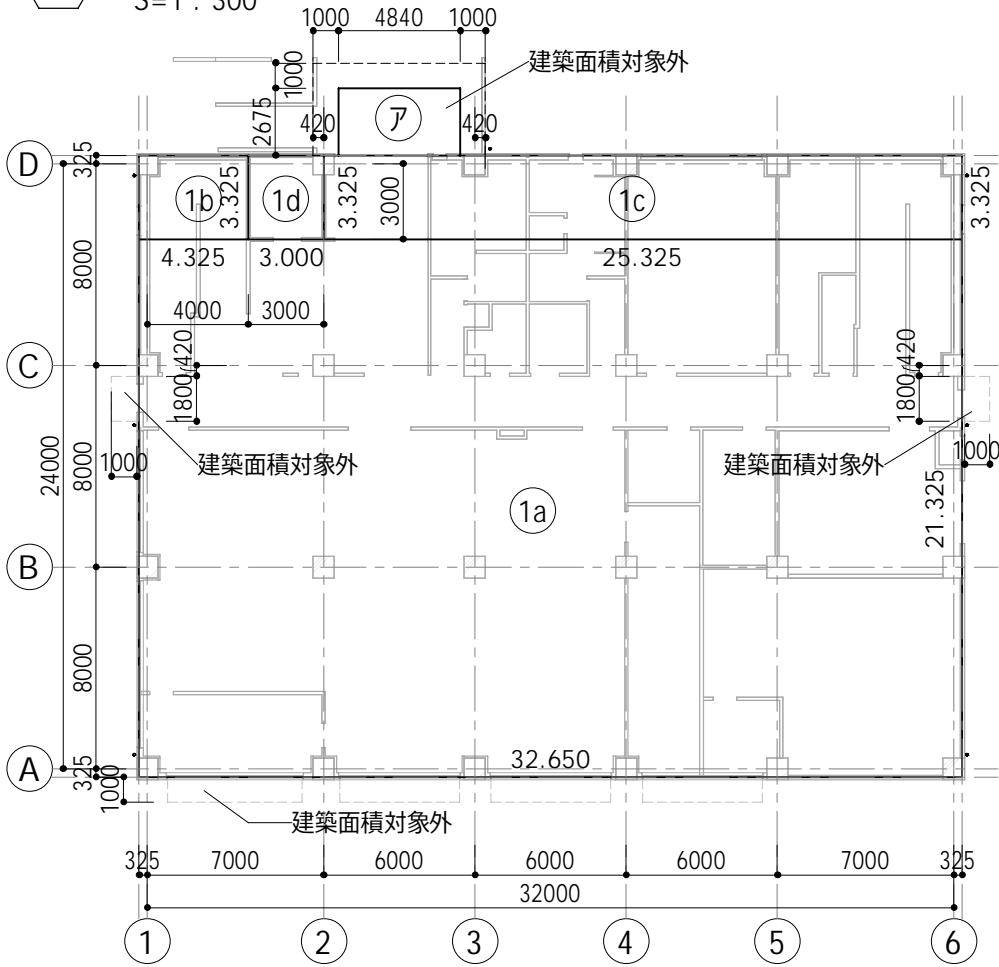
4FL									
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
EVホール	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	-	
SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
事務室4-1	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
事務室4-2	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
事務室4-3	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
会議室4-1	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
共用会議室	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
共用会議室	FA1	タイルカーベツト	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
女子休憩室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
女子便所	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
女子更衣室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
廊下	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-R下地張DR	
支局長室	FA1	タイルカーベツト	C・S	WB	C・S	二重張GB-Rの上壁紙	S	GB-R下地張DR	
機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C S	VB	C	RC(C)	C	GW-B	
湯沸室	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	流し台、フード、吊戸棚
男子休憩室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
男子便所	C	FS	C・S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
男子更衣室	C	FS	C・S	VB	C・S	二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
車椅子使用者 用便房	C	FS	C・S	VB	C・S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	S	ケイカル板の上EP-G	
階段室A	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
階段室B	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	

PHFL									
EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
PS	C	-	-	-	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	-	
倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	S	GB-NC(T)	
屋上	-	-	-	-	-	-	-	-	
階段室B	C	FS	C・S	VB	C S	モルタル塗りの上EP 二重張GB-Rの上EP	C	コンクリート打放し(C)の上EP	
電気室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C・S	-	C	RC(C)	C	GW-B	

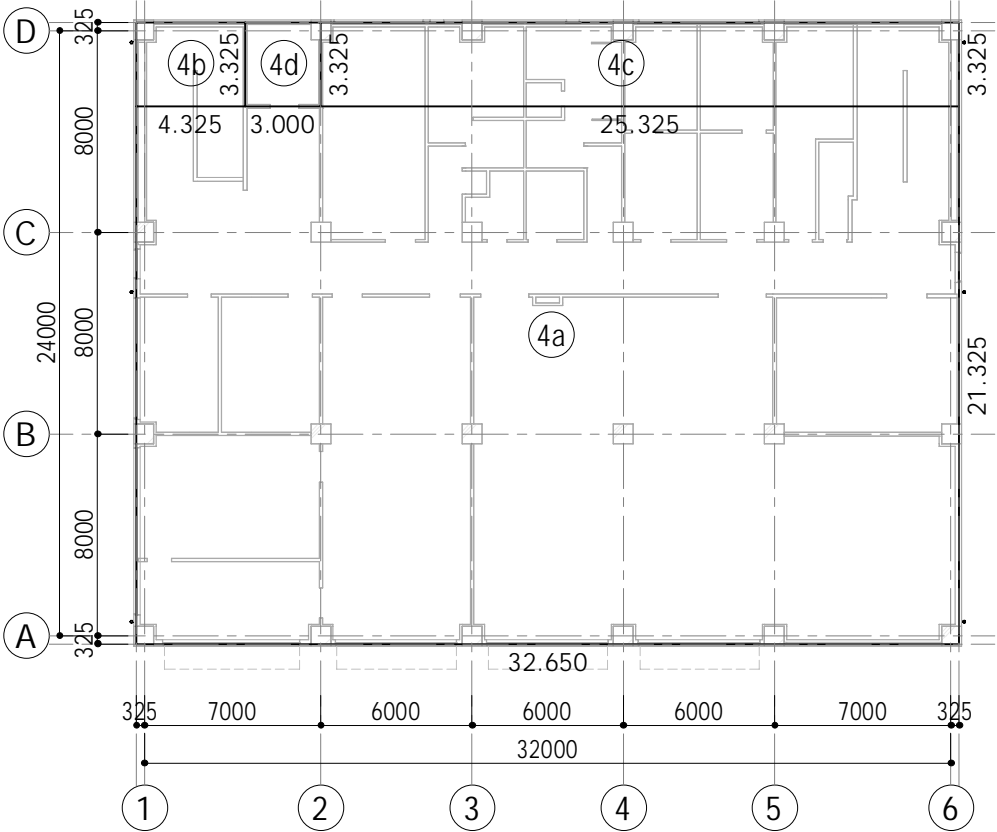
(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事		A-021
	仕上表-2	R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



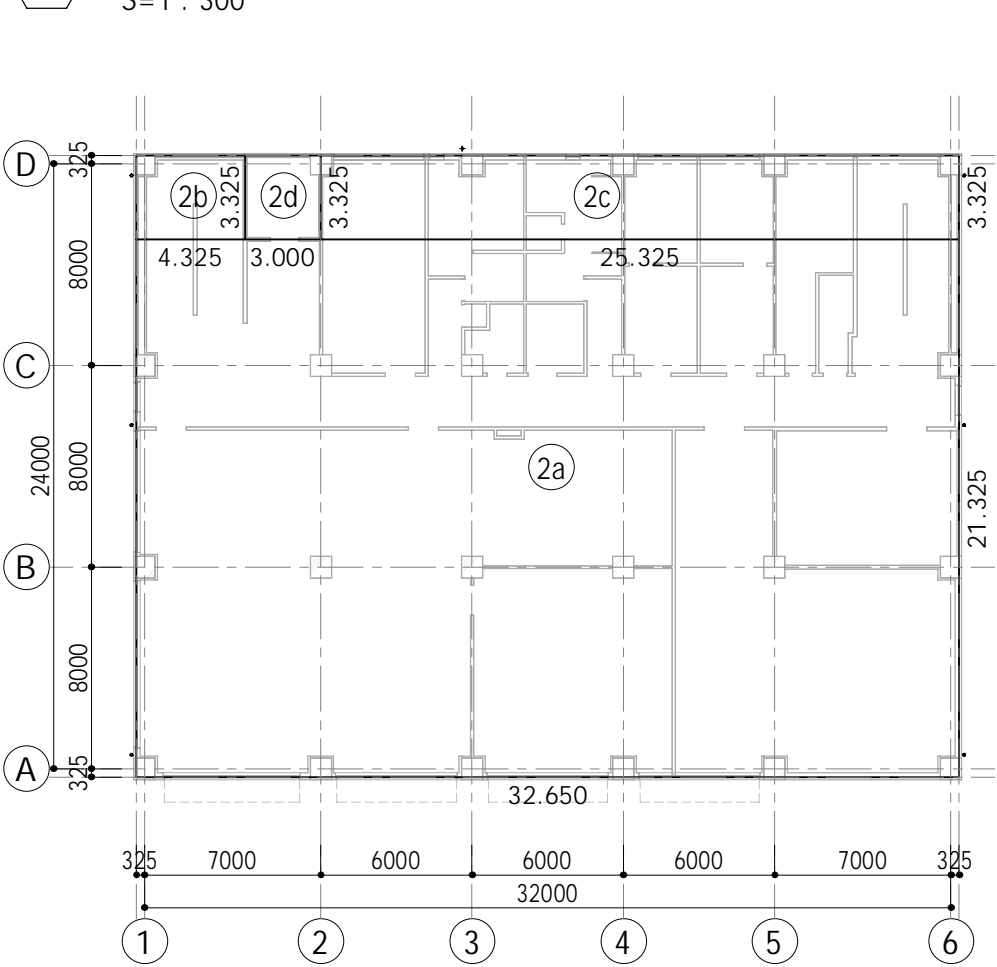
3
AI RIA延床\_3FL
S=1：300



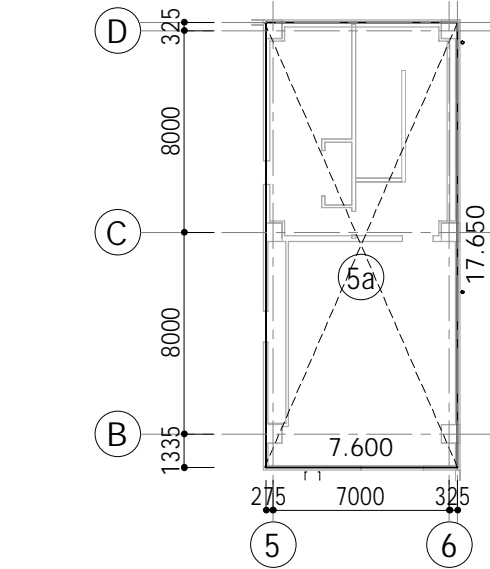
1
AI RIA建面\_1FL
S=1：300



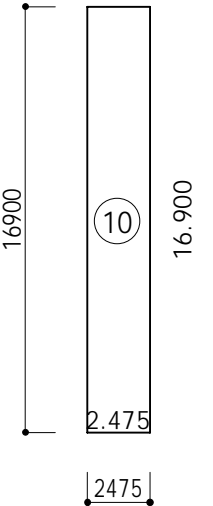
4
AI RIA延床\_4FL
S=1：300



2
AI RIA延床\_2FL
S=1：300



5
AI RIA延床\_PHFL
S=1：300



駐輪場 求積図

本体建物各階面積 求積表

番号	根拠式	計算面積
PHFL		
5a	7.600 × 17.650	134.140
		134.140
4FL		
4a	32.650 × 21.325	696.261
4b	4.325 × 3.325	14.380
4c	25.325 × 3.325	84.205
4d	3.000 × 3.325	9.975
		804.821
3FL		
3a	32.650 × 21.325	696.261
3b	4.325 × 3.325	14.380
3c	25.325 × 3.325	84.205
3d	3.000 × 3.325	9.975
		804.821
2FL		
2a	32.650 × 21.325	696.261
2b	4.325 × 3.325	14.380
2c	25.325 × 3.325	84.205
2d	3.000 × 3.325	9.975
		804.821
1FL		
1a	32.650 × 21.325	696.261
1b	4.325 × 3.325	14.380
1c	25.325 × 3.325	84.205
1d	3.000 × 3.325	9.975
		804.821
本体建物各階面積 計：		3353.424

駐輪場面積 求積表

番号	根拠式	計算面積
10	2.475 × 16.900	41.827
駐輪場面積 計：		41.827

容積対象外床面積 求積表

番号	根拠式	計算面積
1d	3.000 × 3.325	9.975
2d	3.000 × 3.325	9.975
3d	3.000 × 3.325	9.975
4d	3.000 × 3.325	9.975
容積対象外面積 計：		39.88

本体建物底部分面積 求積表

番号	根拠式	計算面積
ア	4.840 × 2.675	12.947
		12.947

建築基準法床面積

本体	延床面積	容積対象外面積	容積対象面積
PH	134.14	0	134.14
4FL	804.82	9.97	794.85
3FL	804.82	9.97	794.85
2FL	804.82	9.97	794.85
1FL	804.82	9.97	794.85
小計	3353.42	39.88	3313.54
駐輪場	41.82	41.82	0.00
小計	41.82	41.82	0.00
合計	3395.24	81.70	3313.54

建築基準法建築面積

	建築面積
本体	804.82
底	12.94
小計	817.76
駐輪場	41.82
小計	41.82
合計	859.58

国有財産法床面積

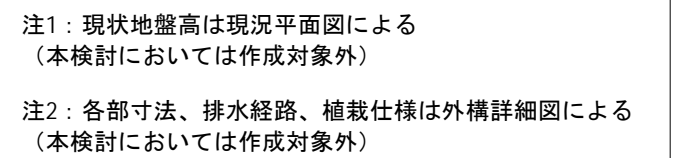
本体	延床面積
PH	134.14
4FL	804.82
3FL	804.82
2FL	804.82
1FL	804.82
小計	3353.42
駐輪場	41.82
小計	41.82
合計	3395.24

国有財産法建築面積

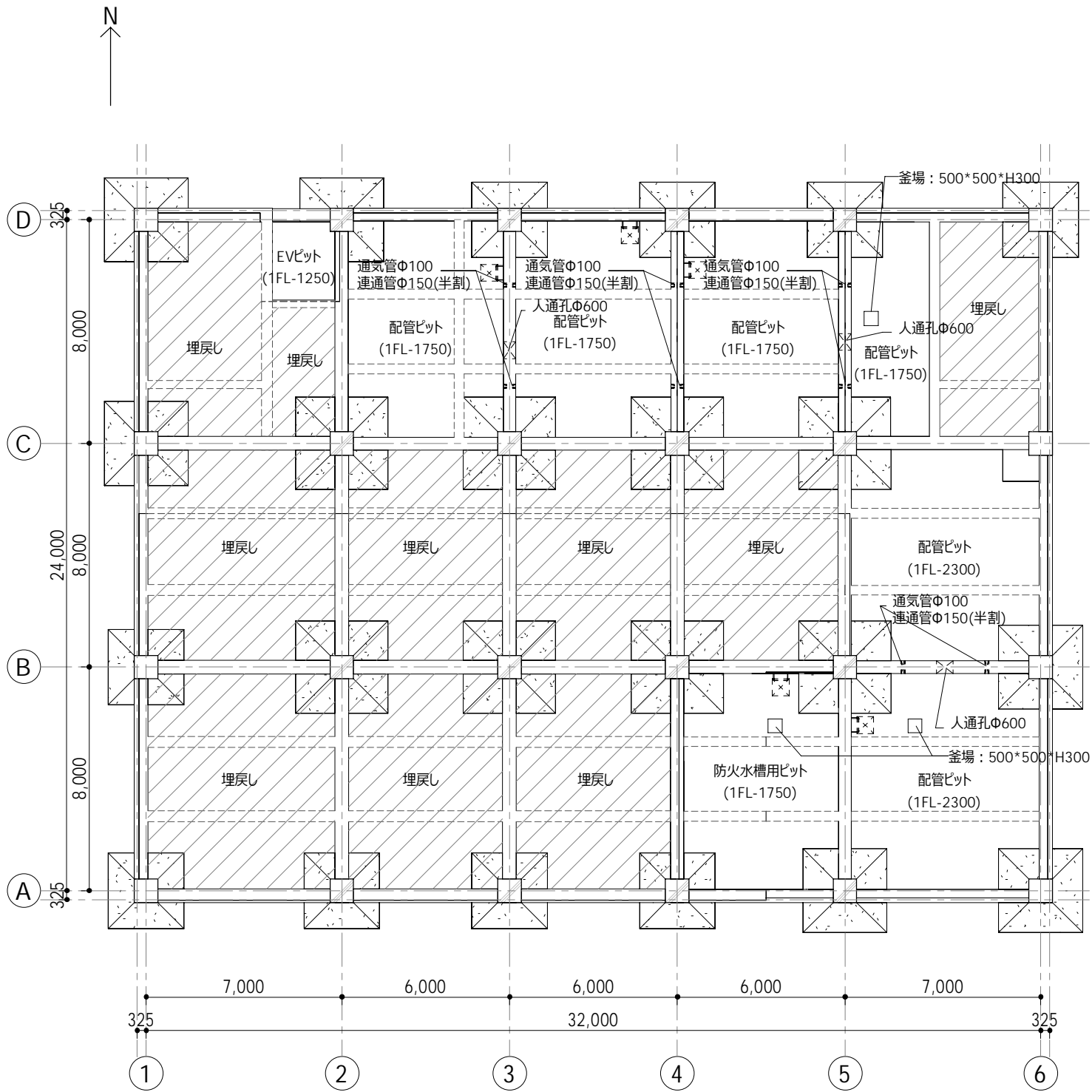
	建築面積
本体	804.82
小計	804.82
駐輪場	41.82
小計	41.82
合計	846.64

(設計者等表示欄)

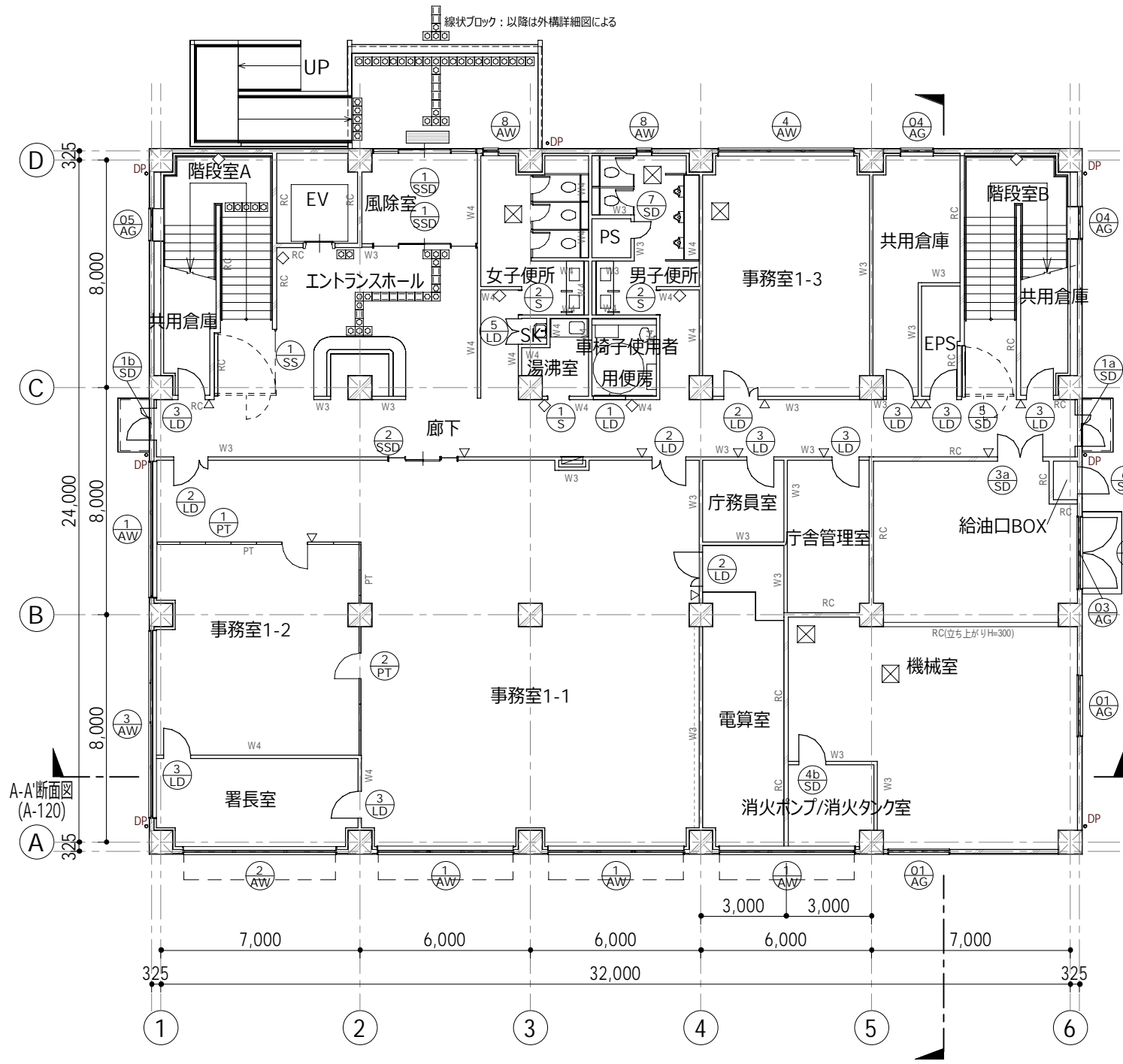
官庁営繕BIM 建築工事	A-031
求積図 S=図面表記による R5年版	XXX
国土交通省大臣官房官庁営繕部	



【別紙 3】



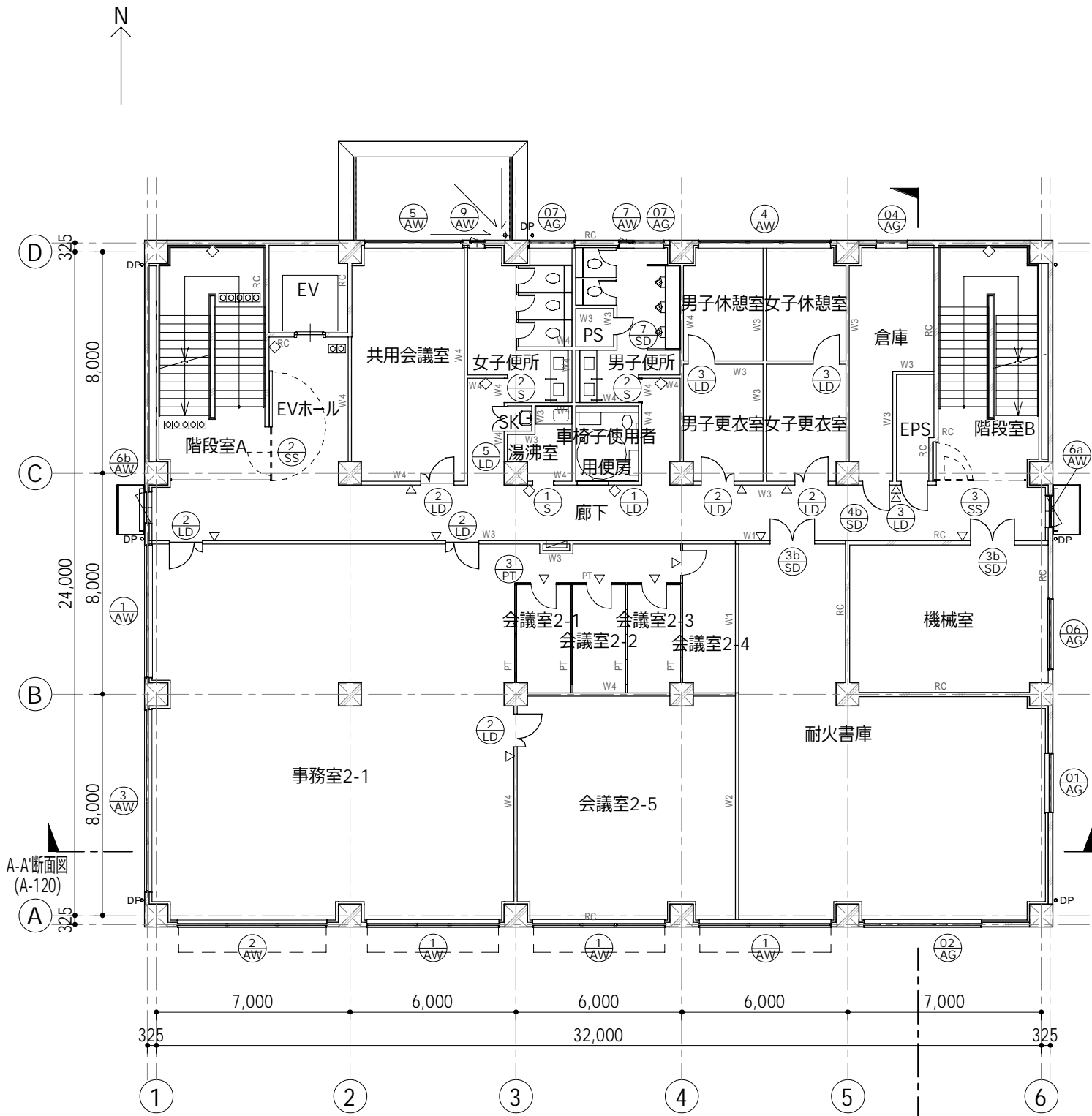
1 PIT階平面図  
S= 1 : 200



2 1階平面図  
S= 1 : 200

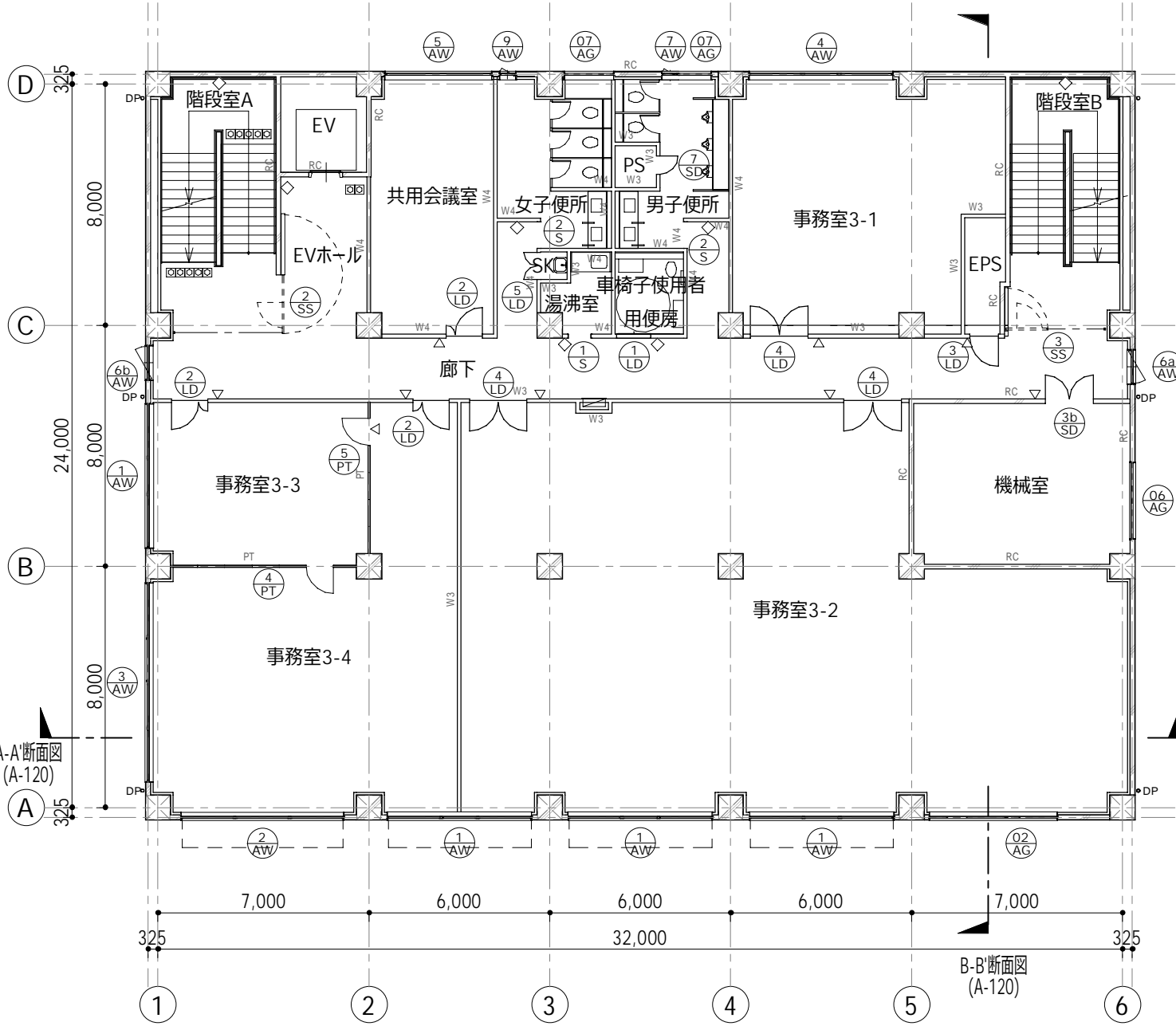
B-B'断面図  
(A-120)

凡例	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札 (8-43-3)	○DP	たてどい Φ75		床点検口 600×600	(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事		A-101
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン		線状ブロック等		ステンレス製タラップ W400 4段		ビット階・1階平面図	S=図面表記による	R5年版
	W3	LGS + ボード 2枚張	PT	スチールパーティション		消火器ボックス		点状ブロック等				国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX
	W4	LGS + ボード 2枚張(遮音壁)	一般壁：LGSはスラブ・スラブ、ボードはスラブ・天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ・スラブとする			⊕	ルーフトレン	外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。						



1 2階平面図  
S= 1 : 200

B-B'断面図 (A-120)



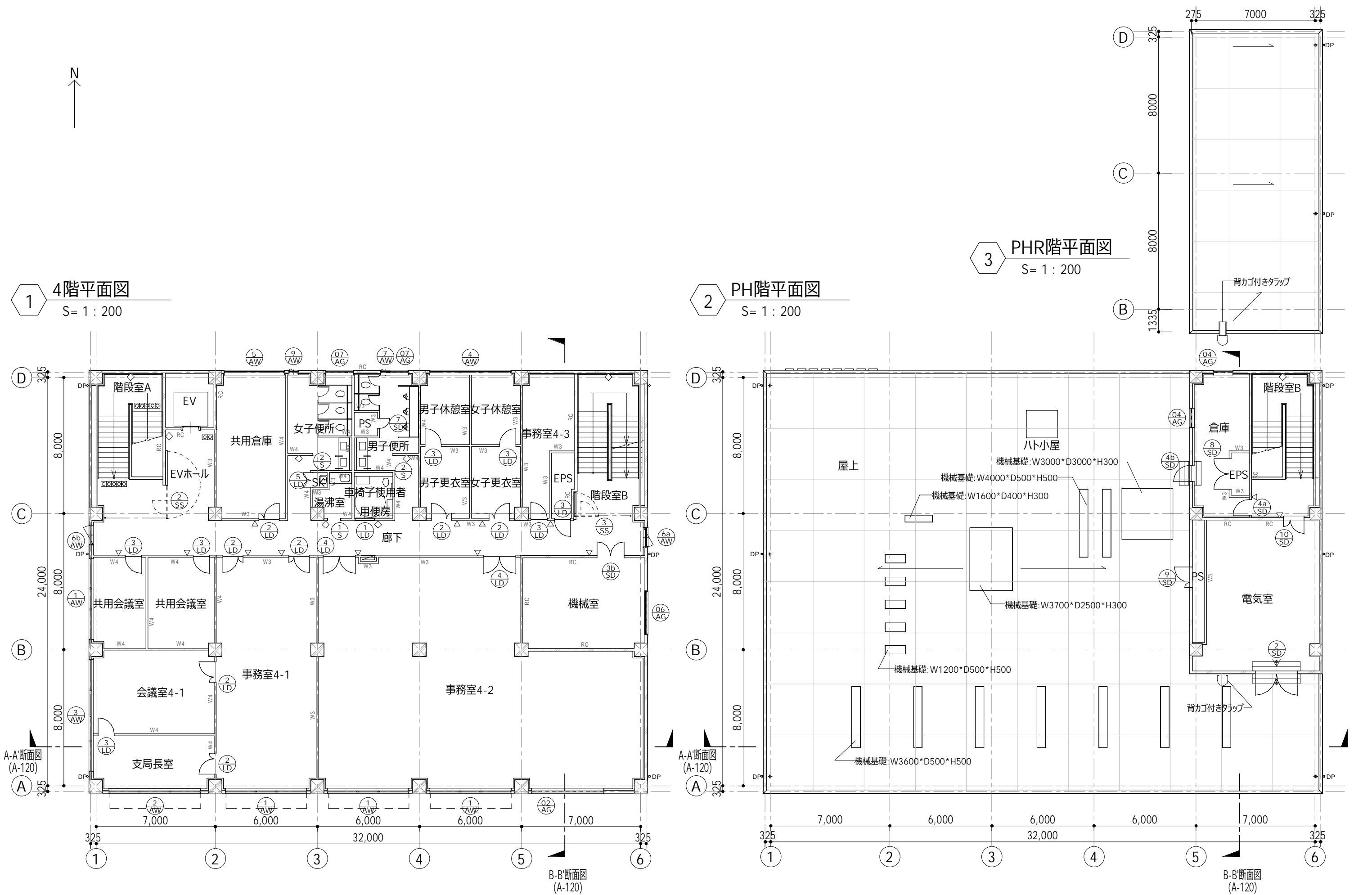
2 3階平面図  
S= 1 : 200

B-B'断面図 (A-120)

凡例	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札 (8-43-3)	○DP	たてどい Φ75	⊠	床点検口 600×600
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン	□	線状ブロック等	⊠	ステンレス製タラップ W400 4段
	W3	LGS + ボード 2枚張	PT	スチールパーティション	⊠	消火器ボックス	⊙	点状ブロック等		
	W4	LGS + ボード 2枚張(遮音壁)		一般壁：LGSはスラブ・スラブ、ボードはスラブ・天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ・スラブとする	⊕	ルーフトレン		外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。		

(設計者等表示欄)

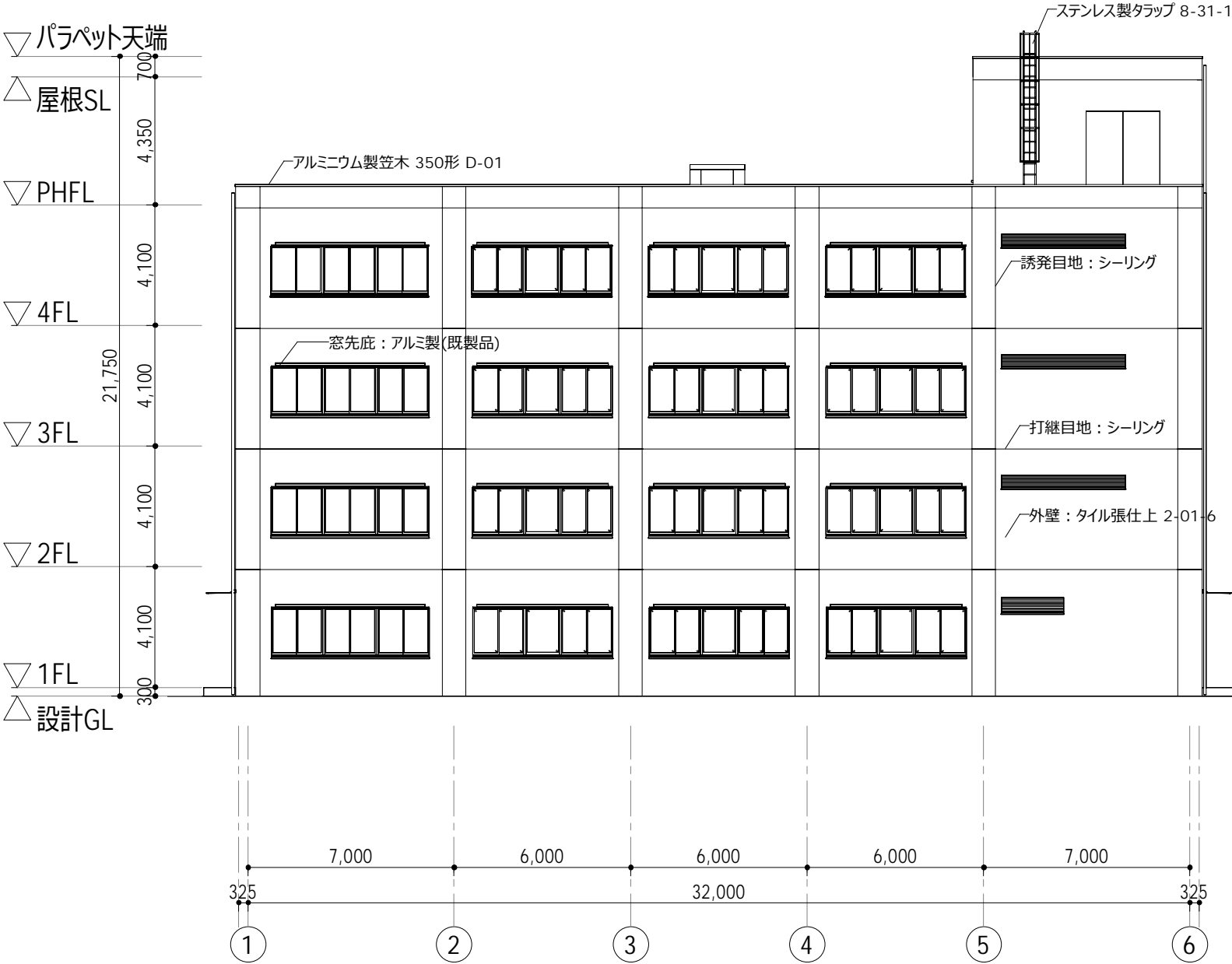
官庁営繕BIM 建築工事	A-102	
2階・3階平面図	S=図面表記による	R5年版
国土交通省大臣官房官庁営繕部	XXX	



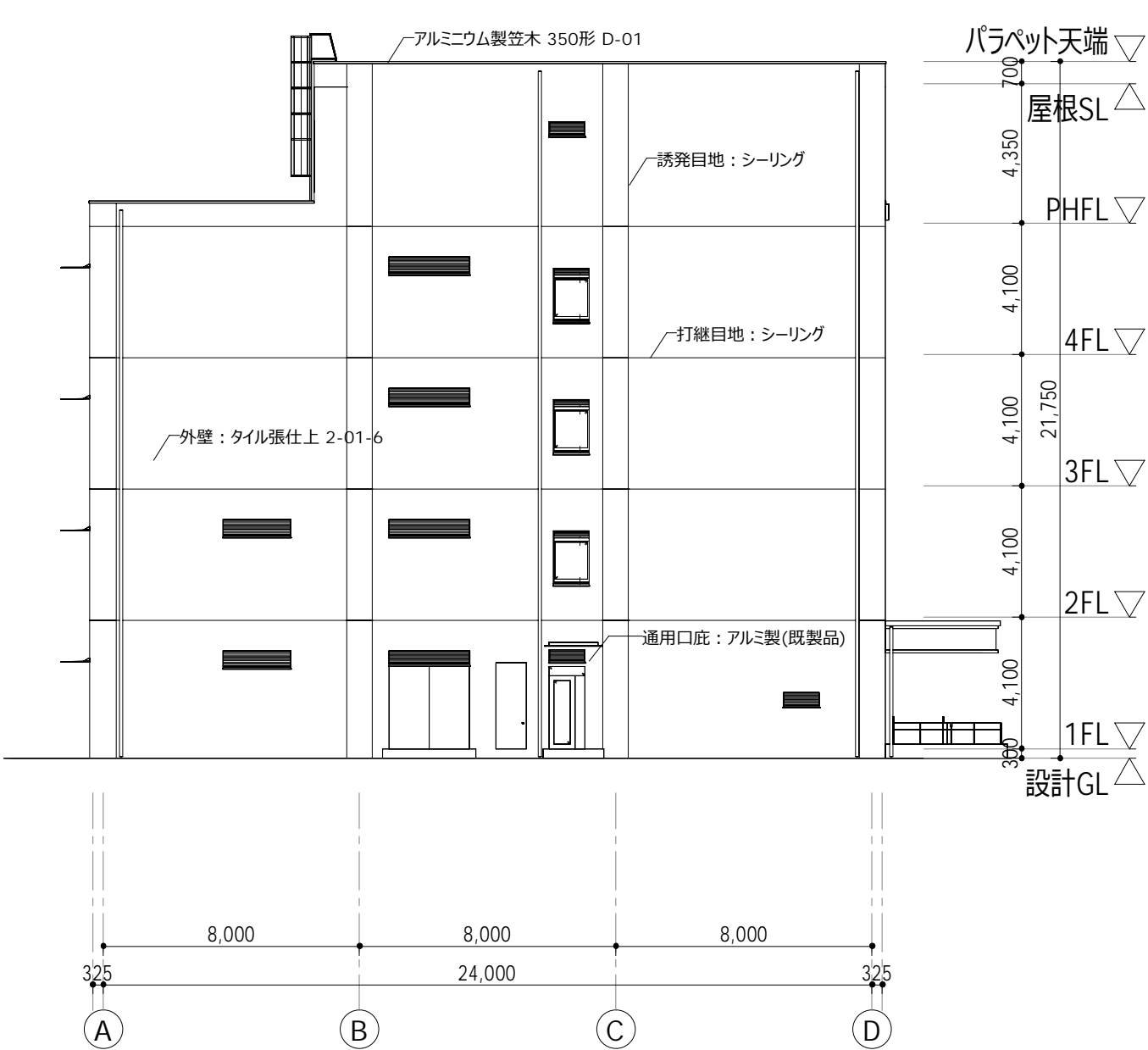
凡例	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札 (8-43-3)	○DP	たてどい Φ75	☒	床点検口 600×600	(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事	A-103
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン	□	線状ブロック等	☒	ステンレス製タラップ W400 4段		4階・塔屋階平面図 S=図面表記による	R5年版
	W3	LGS + ボード 2枚張	PT	スチールパーティション	☒	消火器ボックス	○	点状ブロック等				国土交通省大臣官房官庁営繕部	XXX
	W4	LGS + ボード 2枚張(遮音壁)			⊕	ルーフトレン							

一般壁：LGSはスラブ・スラブ、ボードはスラブ・天井とする  
遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ・スラブとする

外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。



1 南立面図  
S= 1 : 200

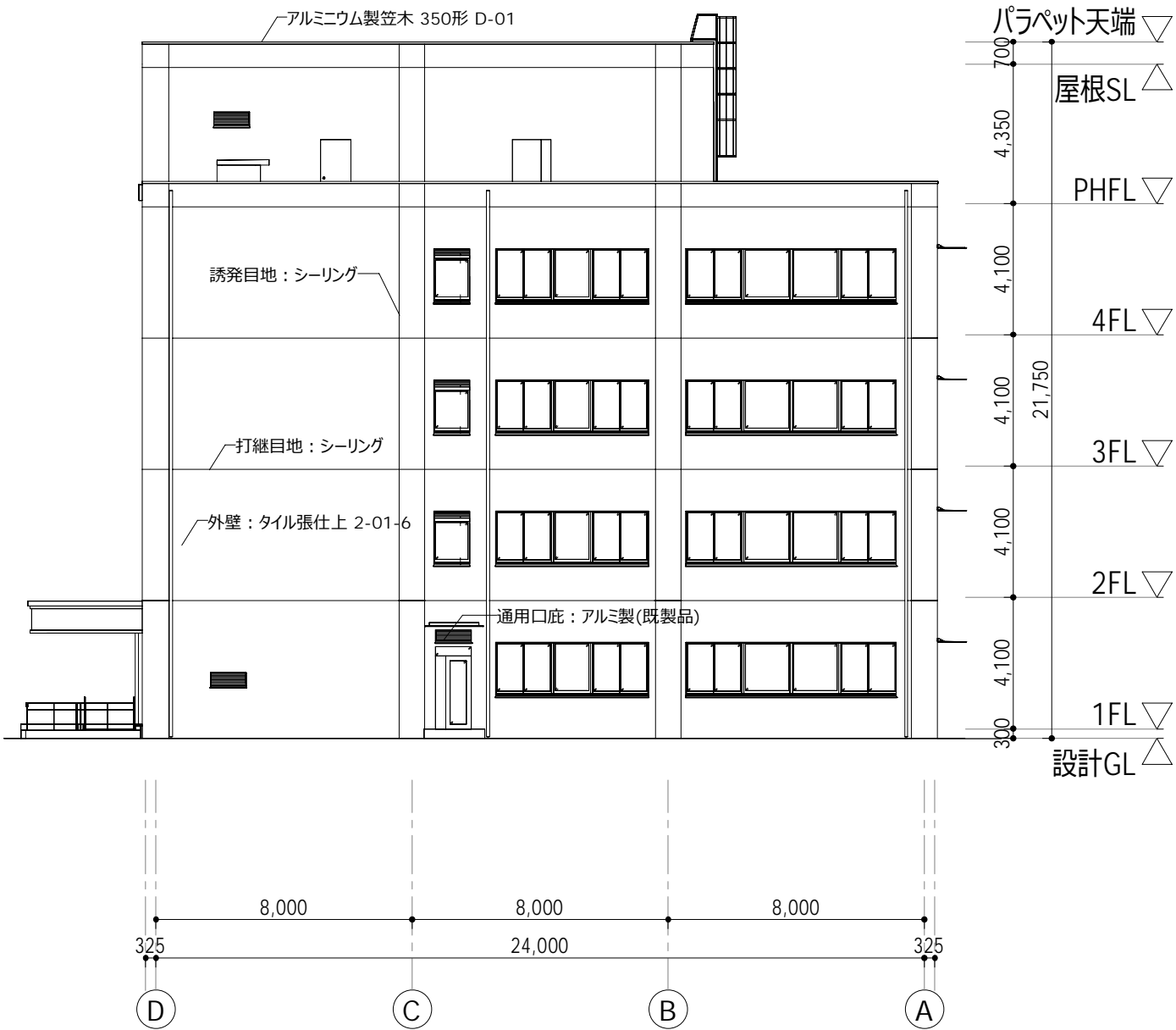


2 東立面図  
S= 1 : 200

(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事		A-110
	南・東立面図	S= 1 : 200 R5年版	XXX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

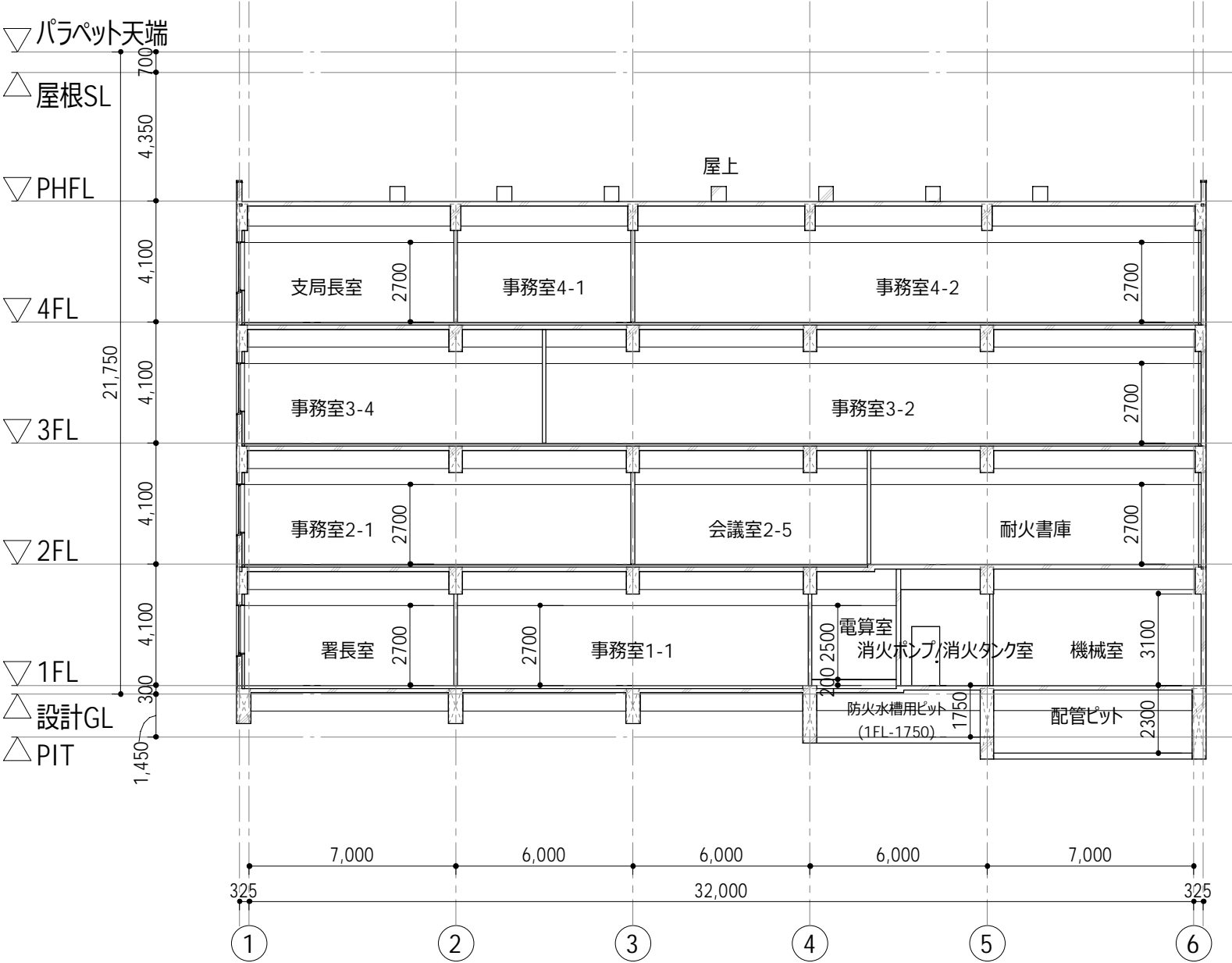


1 北立面図  
S= 1 : 200

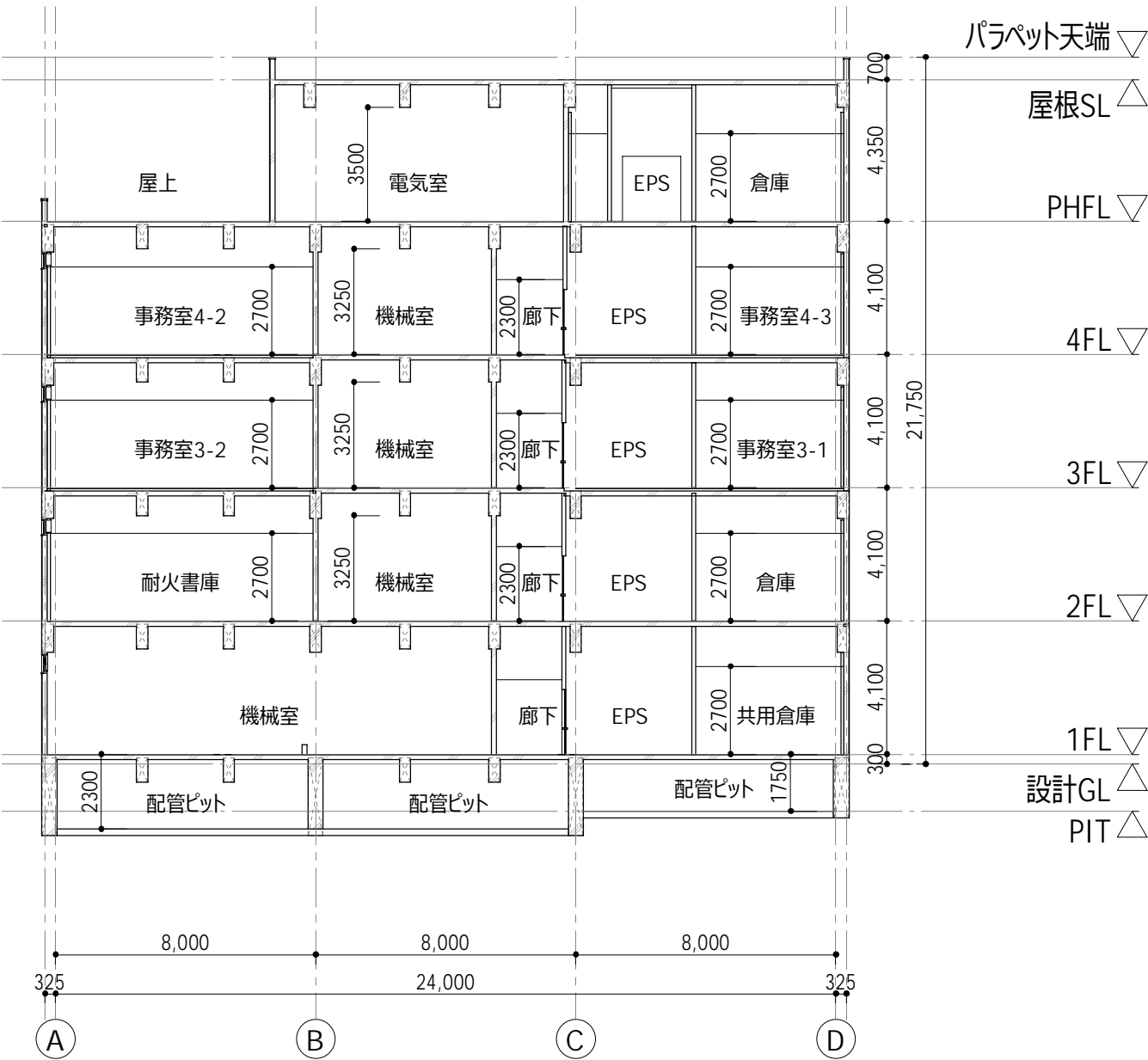


2 西立面図  
S= 1 : 200

(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事		A-111
	北・西立面図	S= 1 : 200 R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



1 A-A'断面図  
S= 1 : 200



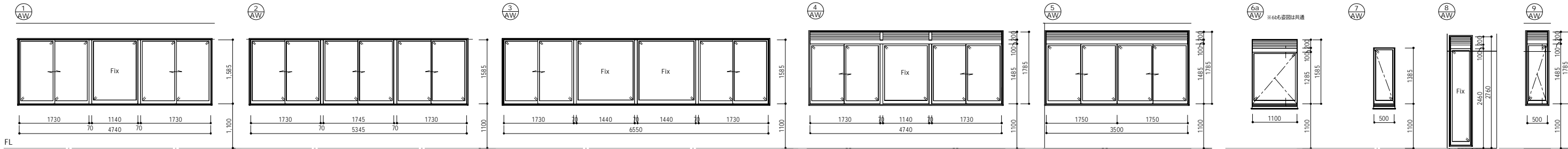
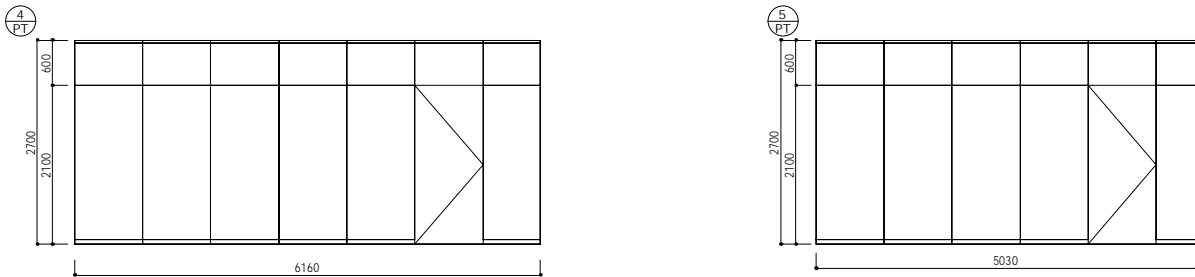
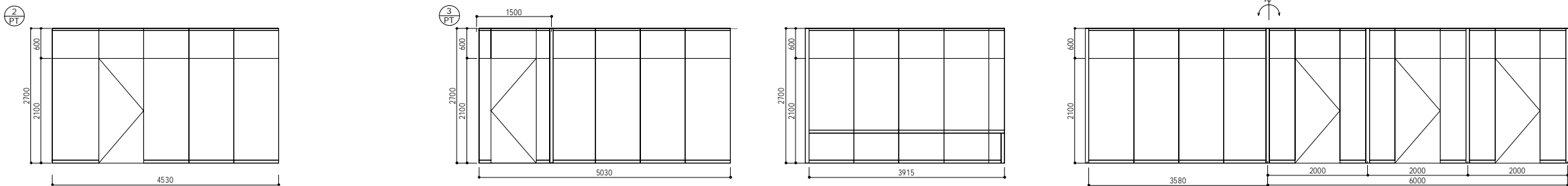
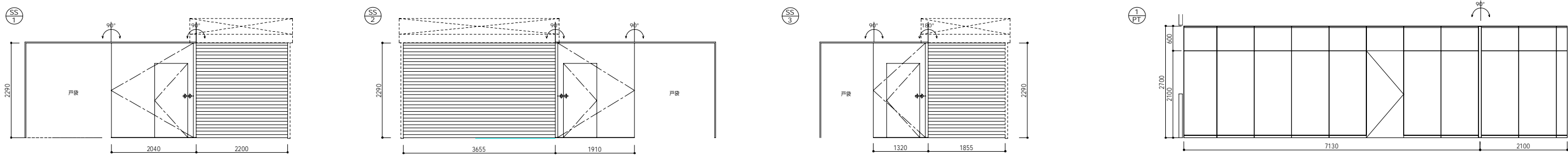
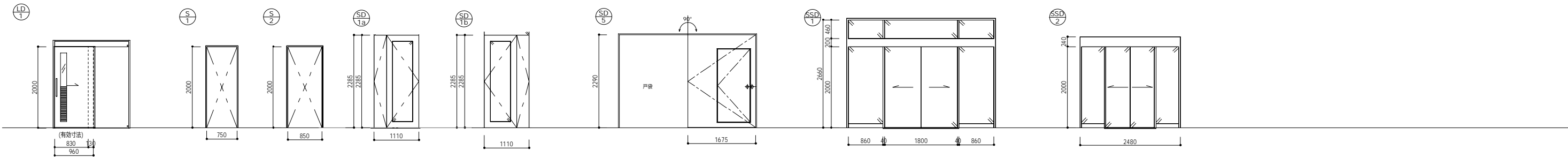
2 B-B'断面図  
S= 1 : 200

(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事		A-120
	断面図	S= 1 : 200 R5年版	XXX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

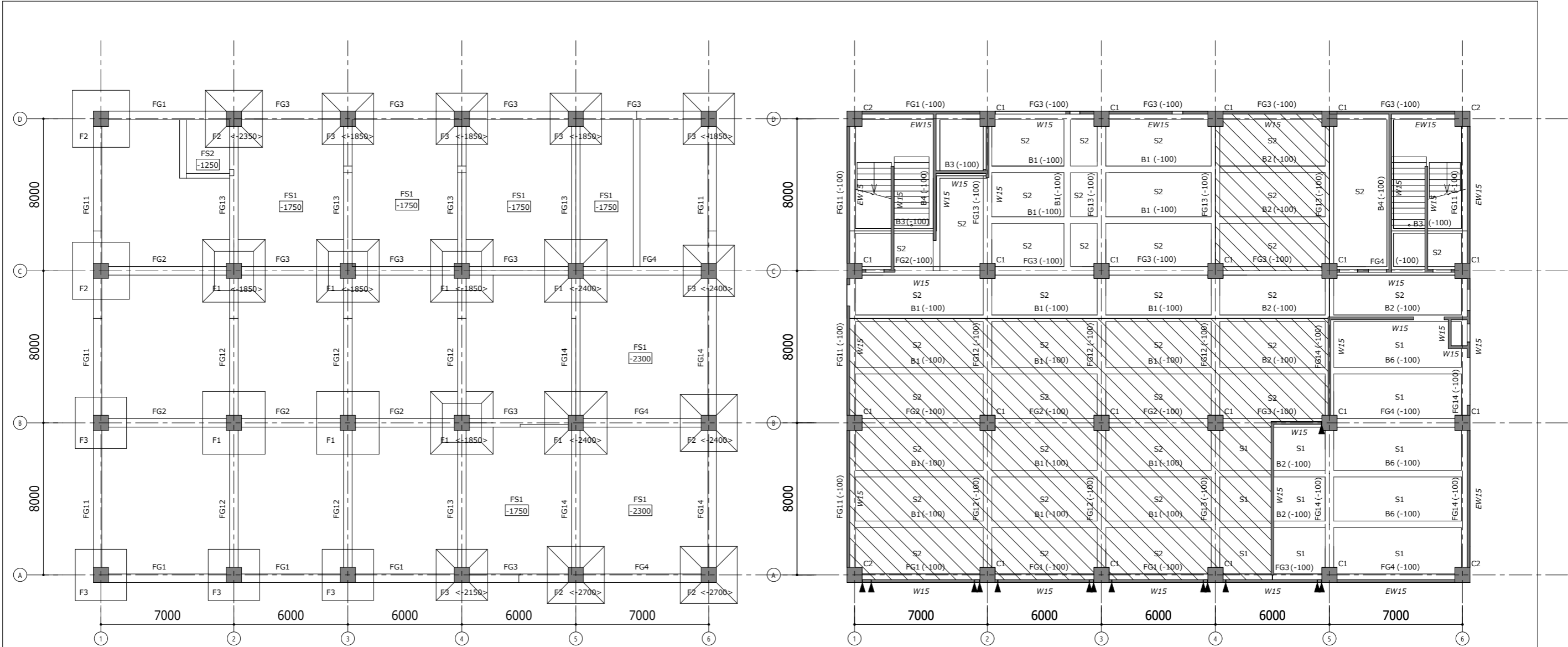
共 通 事 項			建具枠・くつずり詳細図																													
表示略号	記載の（○―○○―○）内の数字は建築工事標準詳細図（令和4年版）の詳細番号を示す。																															
	略 号	建 具	略 号	ガ ラ ス	<div>平面図表示建具符号</div>																											
	AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス																												
	AW	アルミ製窓	F	型板ガラス																												
	AG	アルミ製がらり	NF	網入型板ガラス																												
	S	鋼製三方枠	WF	網入型板ガラス																												
	SD	鋼製戸	NP	網入磨き板ガラス																												
	SW	鋼製窓	WP	網入磨き板ガラス																												
	SG	鋼製がらり	HAP	熱線吸収フロート板ガラス																												
	SS	重量シャッター	T（ ）	強化ガラス（材料板ガラス）																												
	LD	鋼製軽量戸	IG（ ）	複層ガラス（材料板ガラス）																												
	LS	軽量シャッター	HR（ ）	熱線反射ガラス（材料板ガラス）																												
	SSD	ステンレス製戸	DS（ ）	倍強度ガラス（材料板ガラス）																												
	SSW	ステンレス製窓	LC（ ）	合わせガラス（材料板ガラス）																												
	SSG	ステンレス製がらり	Low-E	低放射ガラス																												
	OHD	オーバーヘッドドア																														
	ACW	アルミ製カーテンウォール																														
PD	樹脂製戸																															
PW	樹脂製窓																															
H	ふすま																															
P	紙障子																															
WD	木製戸																															
扉見込み寸法(mm)の目安	鋼製戸(SD)及びステンレス製戸(SSD) 40: H=2,400以下かつ扉一枚の幅=1,050以下( 4-47,48-1の防火戸: H=2,100の場合扉1枚の幅=1,300以下) 50: H=2,400超2,700以下、又は扉1枚の幅=1,050超1,400以下( 4-47,48-1の防火戸: H=2,400の場合扉1枚の幅=2,300以下、H=2,600の場合扉1枚の幅=2,100以下) 60: H=2,700超2,900以下、かつ扉1枚の幅=1,050超1,400以下( 4-47,48-1の防火戸: H=3,000の場合扉1枚の幅=3,600以下) 鋼製軽量戸(LD) 36（製造所によっては40） 木製戸(WD) 30: H=1,000未満、扉1枚の幅=950以下 36: H=2,000未満、扉1枚の幅=950以下 40: H=2,400未満、扉一枚の幅=950以下																															
	形 状	(1) 鋼製戸(SD)のうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。 (2) 鋼製戸(SD)及び鋼製軽量戸(LD)のドアガラリは、鋼板 t=1.2（防火戸の場合 t=1.6 ダンパー付）とする。 (3) 排煙窓の適用は「備考」欄による。 (4) 特殊な性能（簡易気密、防音、断熱、耐震等）の建具の適用は「建具性能」欄、もしくは特記仕様書による。 (5) 水切りの幅は、「備考」欄による。																														
仕上げ	(1) 特記以外の鉄鋼面は、合成樹脂調合ペイント塗り SOR(F☆☆☆☆)とする。 (2) ふすまの上張りの種類は、「備考」欄による。																															
建具金物	(1) ドアクローザーの適用は、建具表により、取付は原則として室内側とする。 (2) 壁当たりとなる開き戸は、壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当たりを設ける。 (3) クレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は、床面から1,500mm以下とする。 (4) 扉の把手は、原則としてレバーハンドルとし、握り玉の適用は「建具金物」欄による。 (5) 扉の把手類の取付位置は、床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。 (6) 自動ドアのセンサーの適用は、備考欄による。 (7) 防犯建物部品は、「備考」欄による。 (8) 下表以外の建具金物は、「建具金物」欄による。ただし、既製建具は製造所の指定するものとする。																															
	<table><tr><td rowspan="2">外部</td><td>一般扉</td><td>丁番、 シリンダー箱錠（片面サムターン）</td></tr><tr><td>自由開き扉</td><td>フロアヒンジ（片自由、ストップ付き）、シリンダー本締り錠（片面サムターン）、押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度</td></tr><tr><td>自動ドア (スイングドア)</td><td>引戸用本締り錠（片面サムターン）</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="10">内部</td><td>一般室</td><td>ビボットヒンジ、シリンダー箱錠（片面サムターン）</td></tr><tr><td>湯沸室</td><td>ビボットヒンジ、錠なし</td></tr><tr><td>便所、洗面所</td><td>ビボットヒンジ、錠なし</td></tr><tr><td>押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度</td><td></td></tr><tr><td>鋼製軽量自閉装置付引戸</td><td>自閉・制閉装置（ストップ付）、ステンレス製振れ止め軸表示装置・非常開装置・大型サムターン付引き戸錠（ロッド式）</td></tr><tr><td>押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度</td><td></td></tr><tr><td>ヒンジクローザー防火戸</td><td>ヒンジクローザー（ビボット型、ストップなし）、ケースハンドル錠</td></tr><tr><td>点検扉</td><td>輪吊りヒンジ、点検口錠</td></tr><tr><td>自由開き扉</td><td>押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度</td></tr><tr><td>窓</td><td>クレセント</td></tr></table>	外部	一般扉	丁番、 シリンダー箱錠（片面サムターン）	自由開き扉	フロアヒンジ（片自由、ストップ付き）、シリンダー本締り錠（片面サムターン）、押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度	自動ドア (スイングドア)	引戸用本締り錠（片面サムターン）	内部	一般室	ビボットヒンジ、シリンダー箱錠（片面サムターン）	湯沸室	ビボットヒンジ、錠なし	便所、洗面所	ビボットヒンジ、錠なし	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度		鋼製軽量自閉装置付引戸	自閉・制閉装置（ストップ付）、ステンレス製振れ止め軸表示装置・非常開装置・大型サムターン付引き戸錠（ロッド式）	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度		ヒンジクローザー防火戸	ヒンジクローザー（ビボット型、ストップなし）、ケースハンドル錠	点検扉	輪吊りヒンジ、点検口錠	自由開き扉	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度	窓	クレセント			
外部	一般扉		丁番、 シリンダー箱錠（片面サムターン）																													
	自由開き扉	フロアヒンジ（片自由、ストップ付き）、シリンダー本締り錠（片面サムターン）、押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度																														
自動ドア (スイングドア)	引戸用本締り錠（片面サムターン）																															
内部	一般室	ビボットヒンジ、シリンダー箱錠（片面サムターン）																														
	湯沸室	ビボットヒンジ、錠なし																														
	便所、洗面所	ビボットヒンジ、錠なし																														
	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度																															
	鋼製軽量自閉装置付引戸	自閉・制閉装置（ストップ付）、ステンレス製振れ止め軸表示装置・非常開装置・大型サムターン付引き戸錠（ロッド式）																														
	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度																															
	ヒンジクローザー防火戸	ヒンジクローザー（ビボット型、ストップなし）、ケースハンドル錠																														
	点検扉	輪吊りヒンジ、点検口錠																														
	自由開き扉	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.28仕上）（L≒400）程度																														
	窓	クレセント																														
防火戸	(1) ヒューズ装置、熱感知器、煙感知器との連動は「備考」欄による。 (2) 防火戸の種類は下表により、適用は「防火戸の種類」欄による。																															
	<table><tr><td>種類</td><td>性 能</td></tr><tr><td rowspan="2">特</td><td>特定防火設備 (遮炎1時間)</td><td>耐火建築物及び準耐火建築物（以下「耐火建築物等」という）の各階において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備 11階以上の各階において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備</td></tr><tr><td rowspan="4">防</td><td>防火設備 (遮炎20分)</td><td>耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備 11階以上の各階において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 準耐火建築物に形成された堅穴の周囲に設ける防火設備 木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備</td></tr></table>	種類	性 能	特	特定防火設備 (遮炎1時間)	耐火建築物及び準耐火建築物（以下「耐火建築物等」という）の各階において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備 11階以上の各階において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備	防	防火設備 (遮炎20分)	耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備 11階以上の各階において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 準耐火建築物に形成された堅穴の周囲に設ける防火設備 木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備																							
種類	性 能																															
特	特定防火設備 (遮炎1時間)	耐火建築物及び準耐火建築物（以下「耐火建築物等」という）の各階において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備 11階以上の各階において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備																														
	防	防火設備 (遮炎20分)	耐火建築物等の外壁に設ける防火設備 防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備 11階以上の各階において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備 準耐火建築物に形成された堅穴の周囲に設ける防火設備 木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備																													
自動ドア開閉装置		(1) 自動ドアの開閉装置は、防錆性能、凍結防止装置の適用と共に「備考」欄による。 (2) センサーの種類は、「備考」欄による。																														
車椅子使用者用便所の引き戸		※( 6-27-1 ) ・( 6-27-2 ) ○図示による																														
防火・防煙シャッター		※( 4-49-1 ) ○図示による																														

(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事		A-400
	建具共通事項	R5年版	XXX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		





(設計者等表示欄)	官庁営繕BIM 建築工事		A-402
	建具表-2	R5年版	XXX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



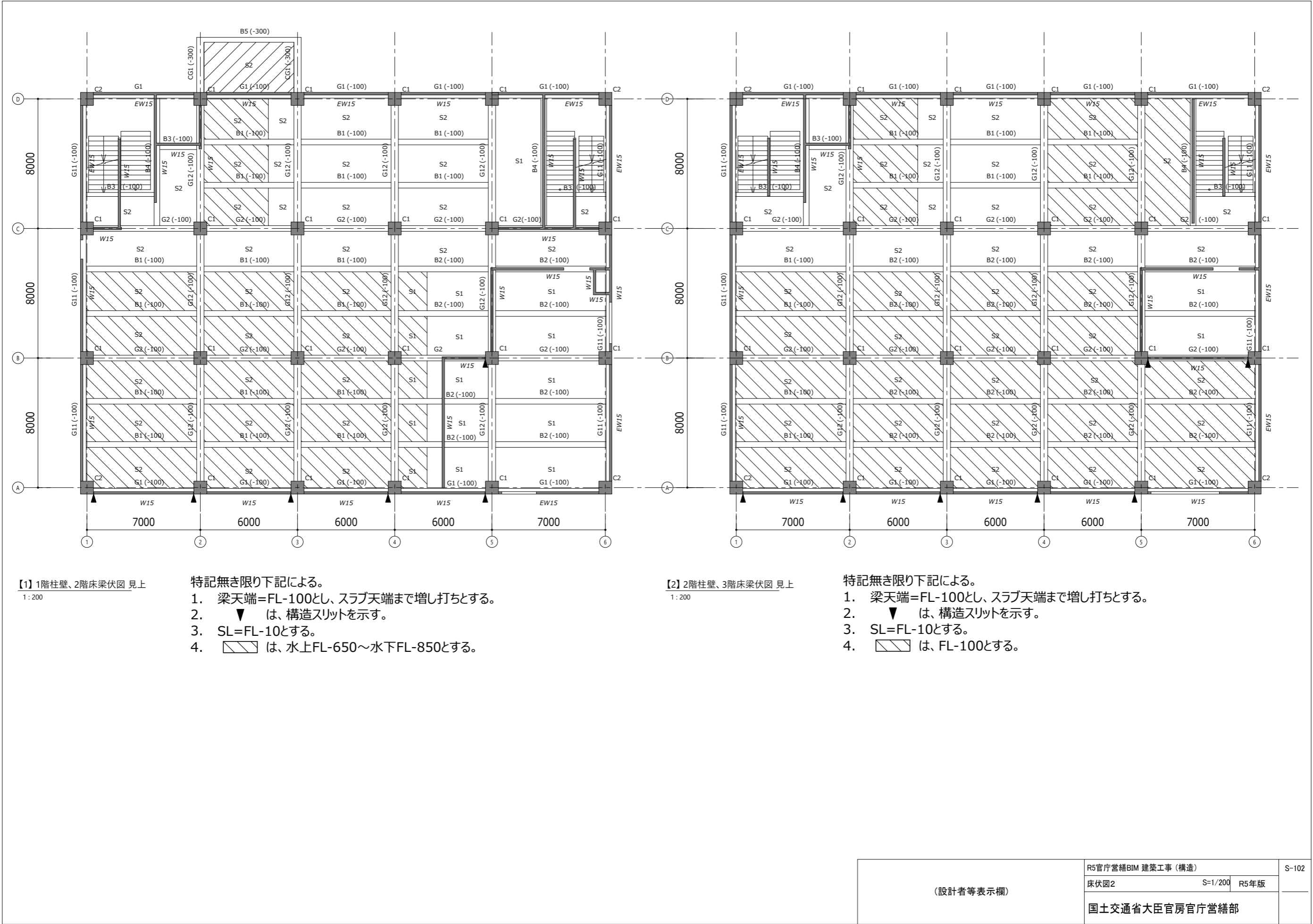
【2】基礎伏図 見下  
1:200

- 特記無き限り下記による。
1. FSスラブの周囲の梁は梁下部を増打ちしスラブを定着する。
  2. 基礎下端は、GL-1300とし、GL-2200までラブルコンクリートとする。
  3. < > 内数値は、GLからの基礎下端位置を示す。
  4. □ 内数値は、FLからの床レベルを示す。
  5. FSスラブの無い部分は埋戻しとする。
  6. ( ) は、FLからの梁天端レベルを示す。
  7. 本図は見下げ図とする。
  8. 梁貫通は梁貫通伏図を参照とする。

【1】1階床梁伏図 見下  
1:200

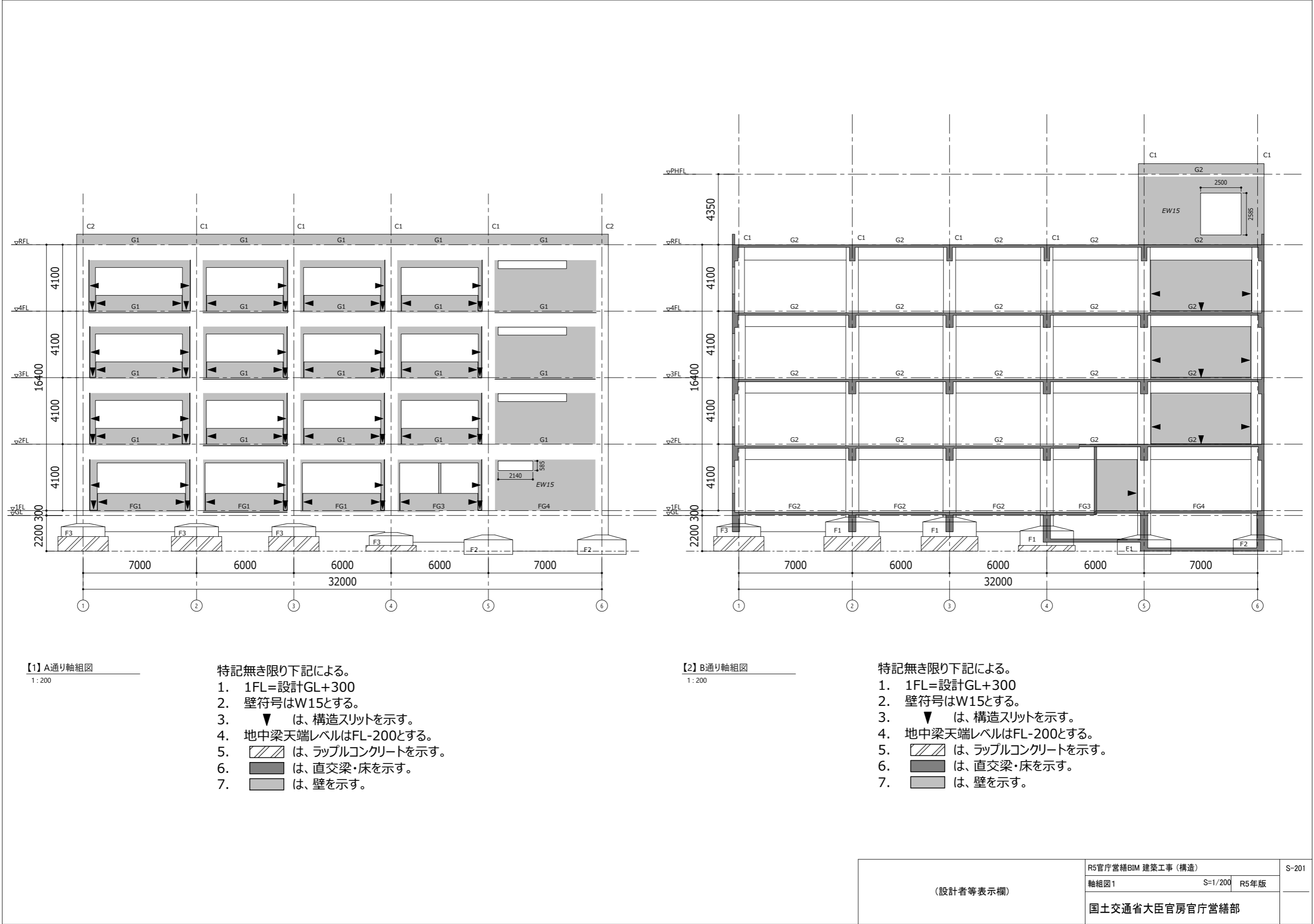
- 特記無き限り下記による。
1. 梁天端=FL-100とし、スラブ天端まで増し打ちとする。
  2. ▼ は、構造スリットを示す。
  3. SL=FL-10とする。
  4. □ 内数値は、FLからの床レベルを示す。
  5. ( ) は、FLからの梁天端レベルを示す。
  6. 本図は見下げ図とする。
  7. 梁貫通は梁貫通伏図を参照とする。
  8. ▨ は、FL-100とする。
  9. 釜場は意匠図を参照とする。

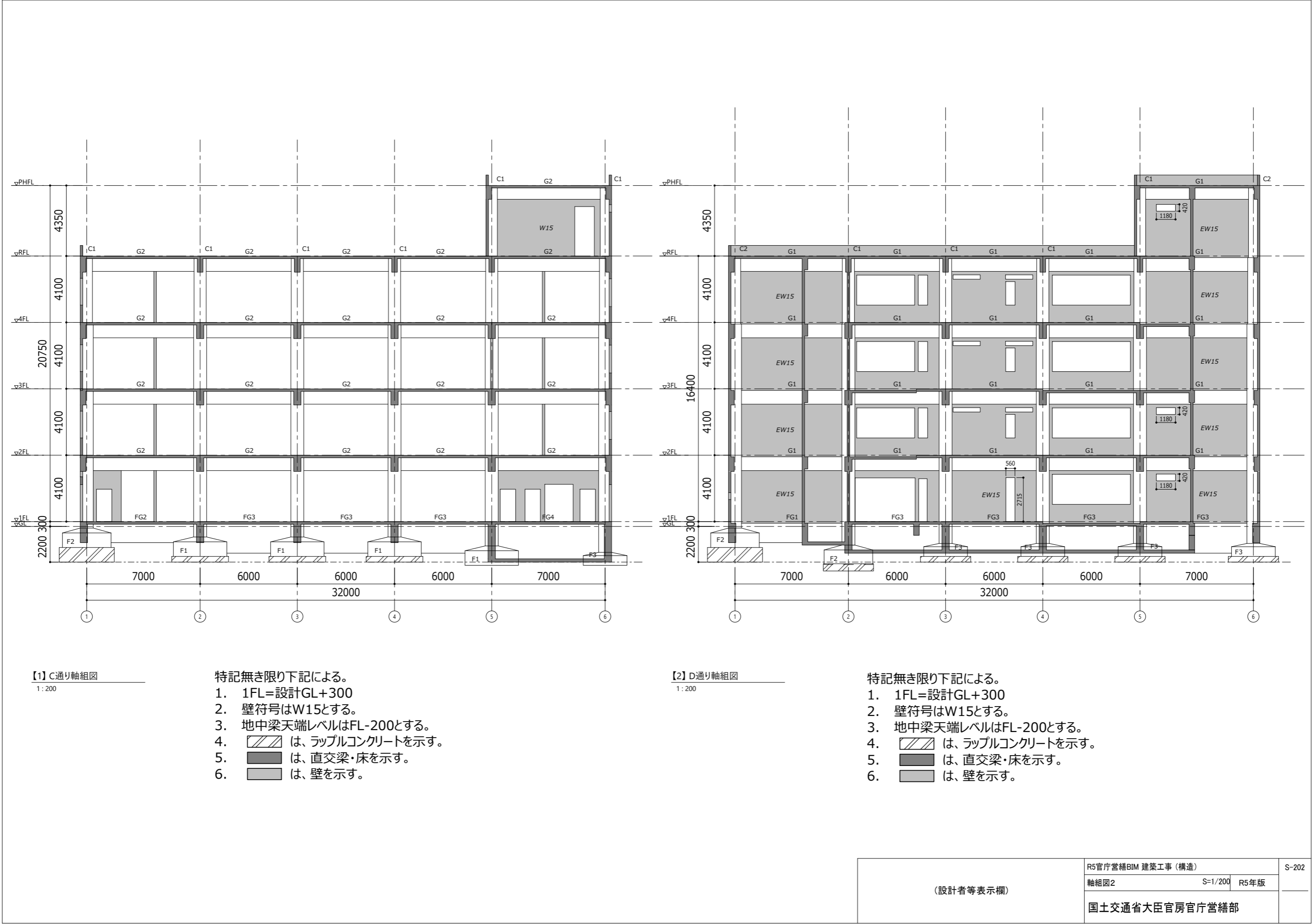
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 建築工事 (構造)		S-101
	床伏図1	S=1/200 R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

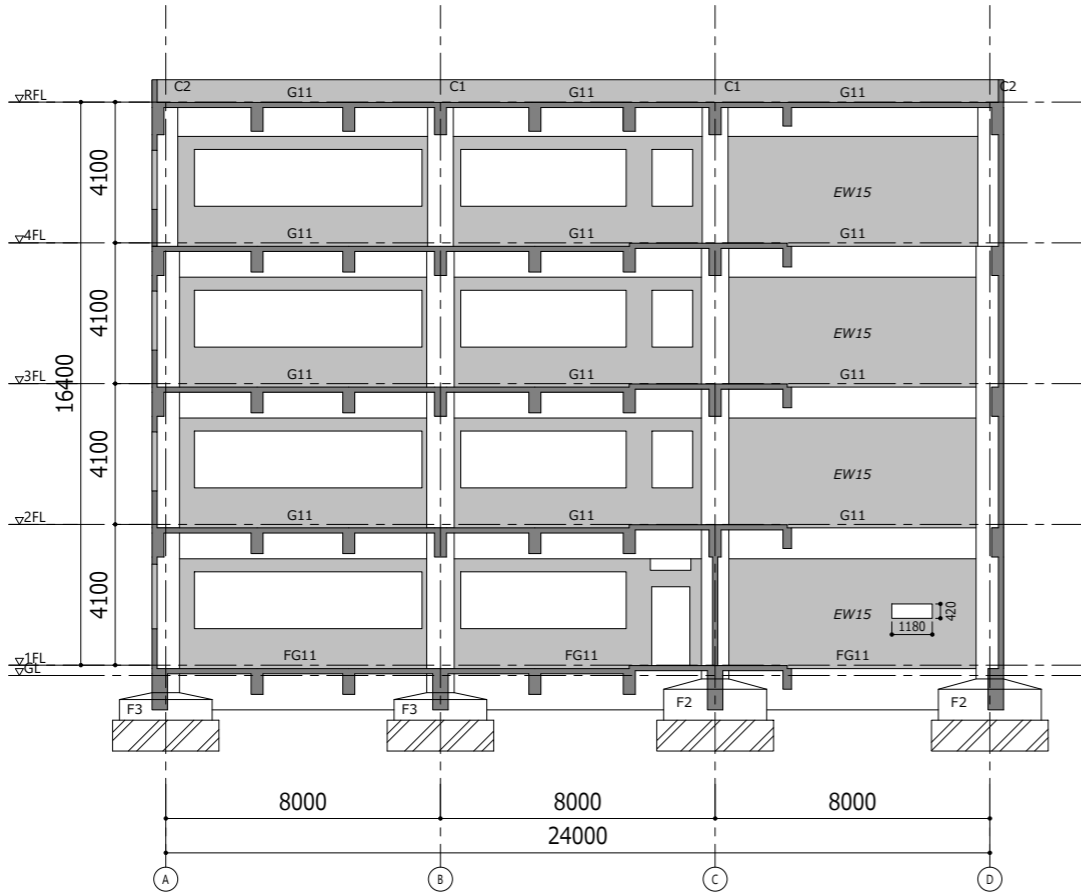











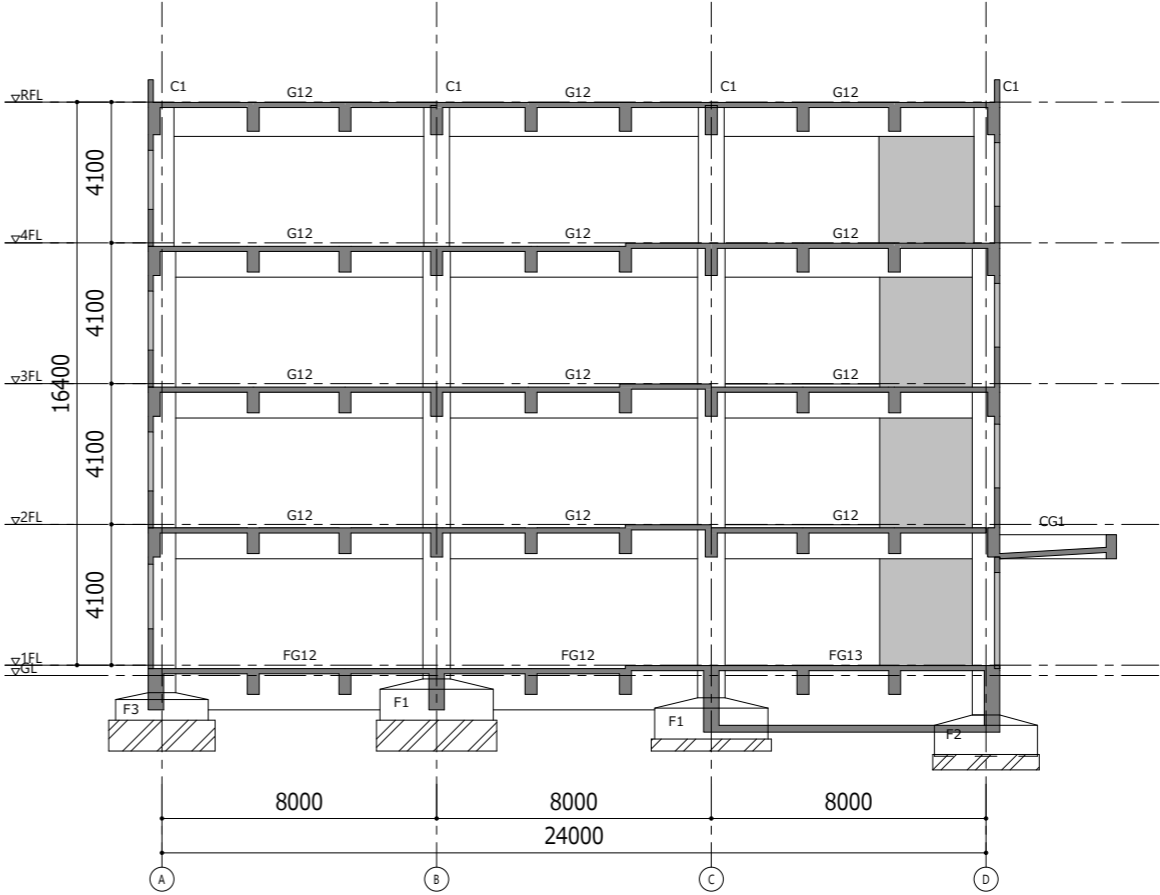




【1】1通り軸組図  
1 : 200




特記無き限り下記による。

- 1FL＝設計GL+300
- 壁符号はW15とする。
- 地中梁天端レベルはFL-200とする。
-  は、ラップルコンクリートを示す。
-  は、直交梁・床を示す。
-  は、壁を示す。

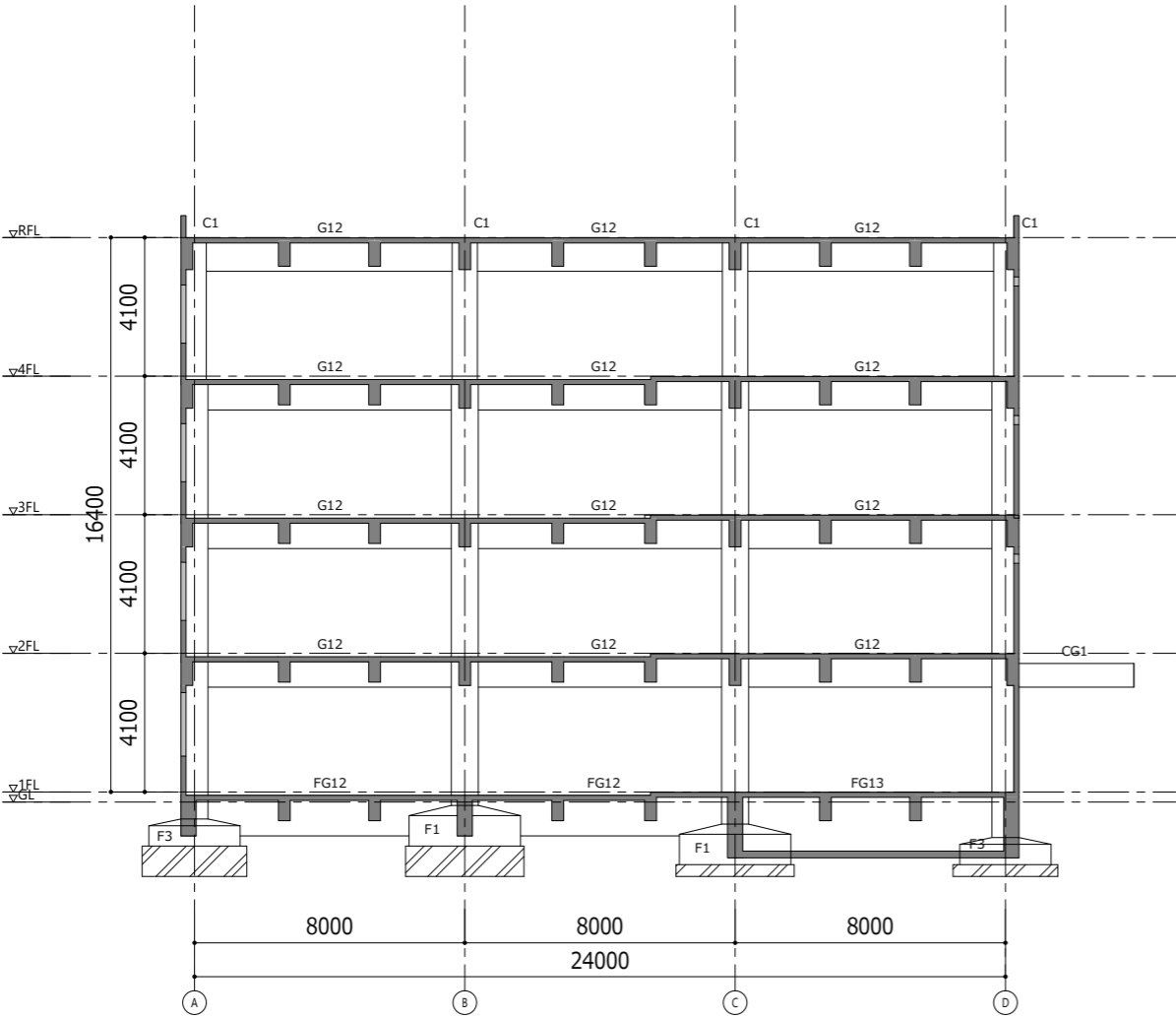


【2】2通り軸組図  
1 : 200




特記無き限り下記による。

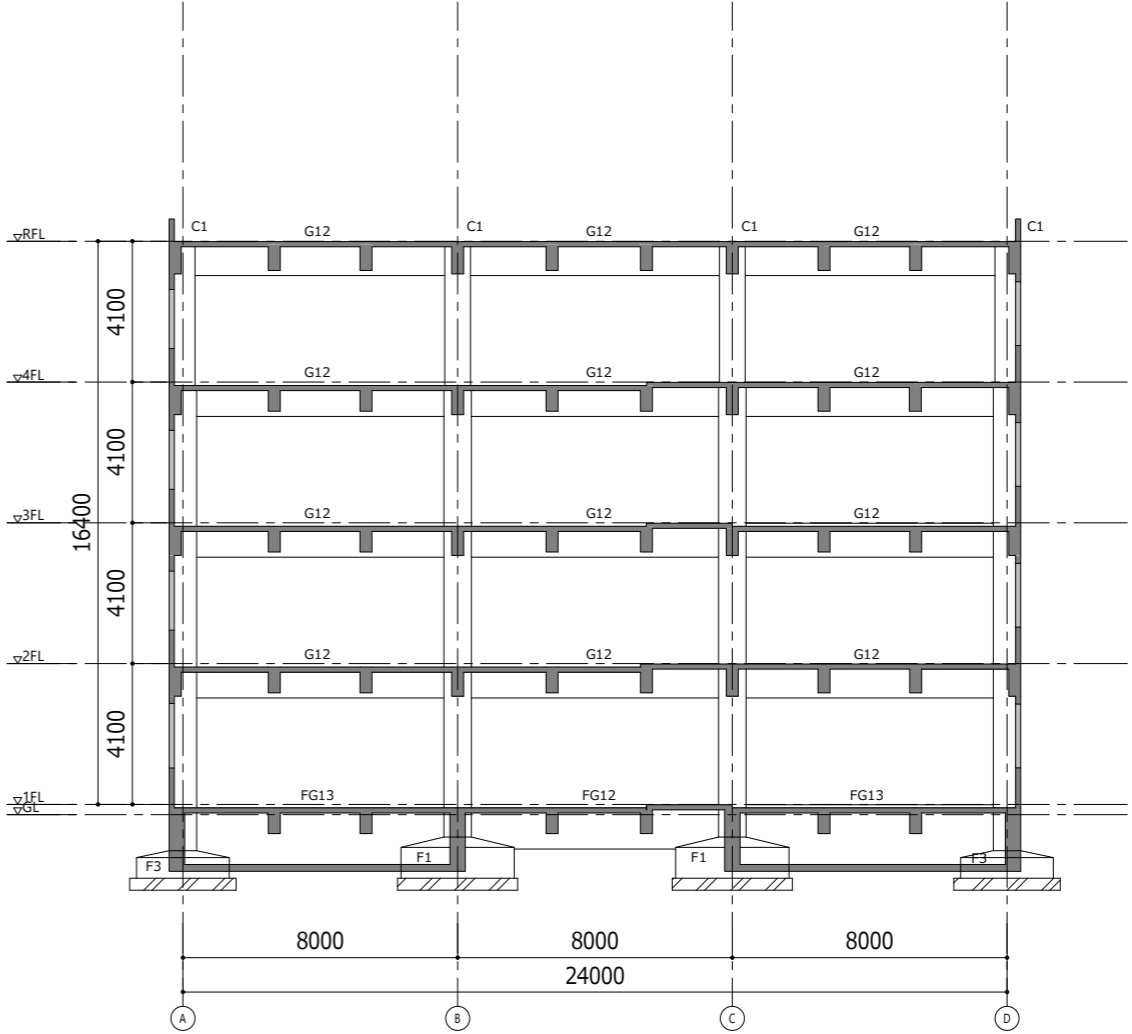
- 1FL＝設計GL+300
- 壁符号はW15とする。
- 地中梁天端レベルはFL-200とする。
-  は、ラップルコンクリートを示す。
-  は、直交梁・床を示す。
-  は、壁を示す。

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 建築工事（構造）		S-203
	軸組図3	S=1/200 R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		






【1】3通り軸組図  
1:200

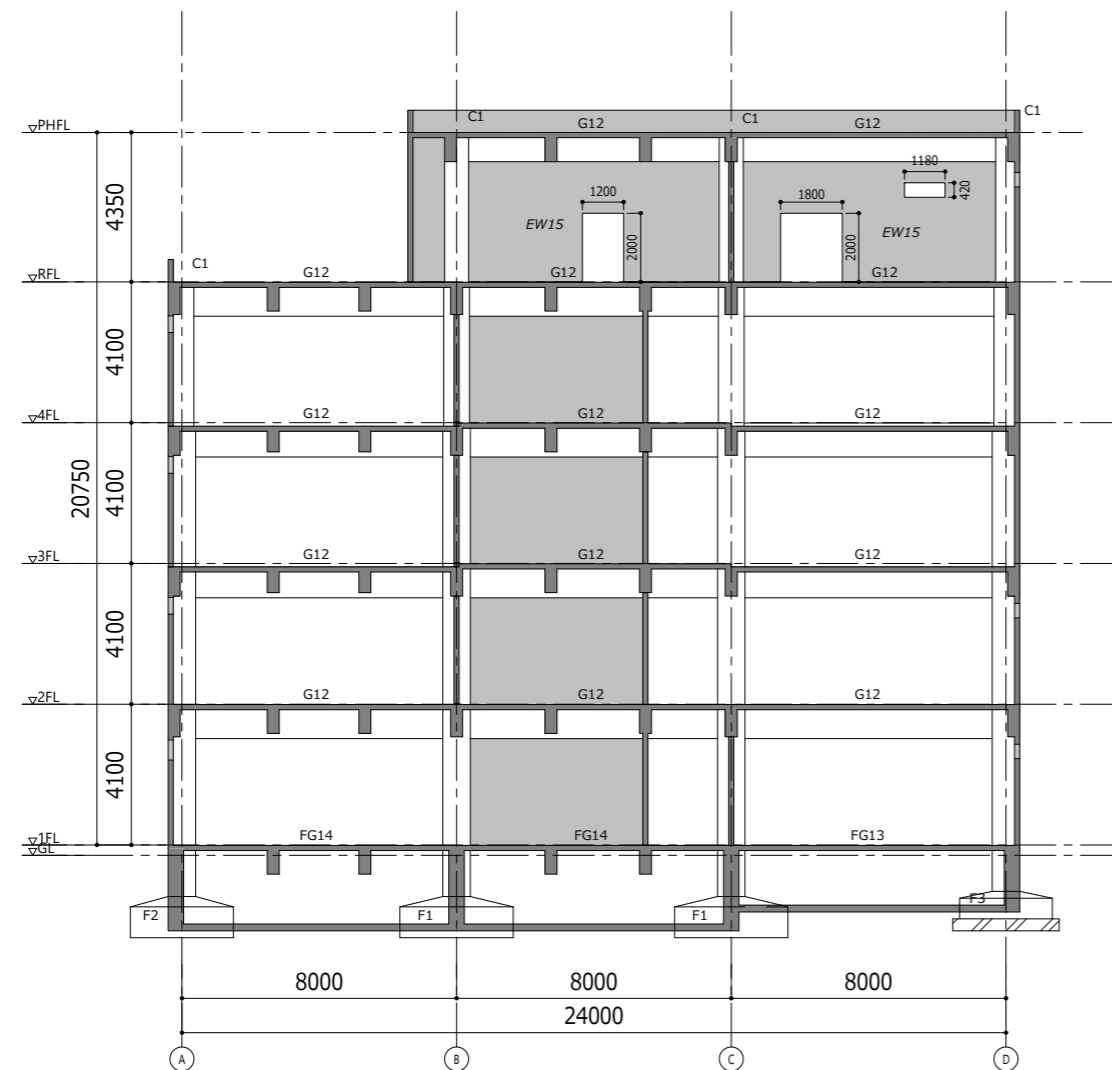
- 特記無き限り下記による。
1. 1FL＝設計GL+300
  2. 壁符号はW15とする。
  3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
  4.  は、ラップルコンクリートを示す。
  5.  は、直交梁・床を示す。
  6.  は、壁を示す。



【2】4通り軸組図  
1:200




- 特記無き限り下記による。
1. 1FL＝設計GL+300
  2. 壁符号はW15とする。
  3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
  4.  は、ラップルコンクリートを示す。
  5.  は、直交梁・床を示す。
  6.  は、壁を示す。

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 建築工事（構造）		S-204
	軸組図4	S=1/200 R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



**【1】5通り軸組図**  
1 : 200




特記無き限り下記による。

1. 1FL=設計GL+300
2. 壁符号はW15とする。
3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
4.  は、ラップルコンクリートを示す。
5.  は、直交梁・床を示す。
6.  は、壁を示す。



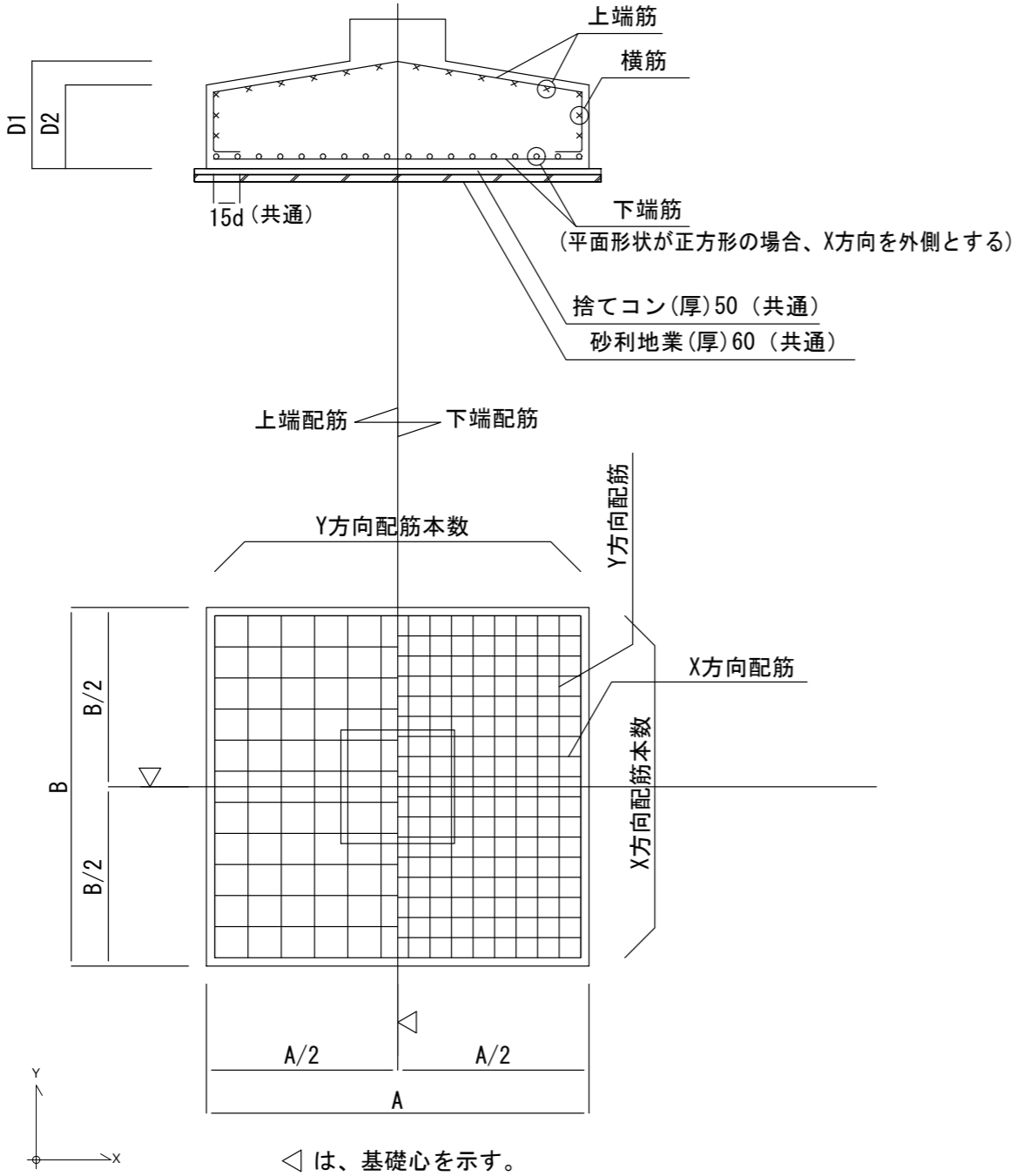
【2】6通り軸組図  
1:200

特記無き限り下記による。

1. 1FL=設計GL+300
2. 壁符号はW15とする。
3. 地中梁天端レベルはFL-200とする。
4.  は、ラップルコンクリートを示す。
5.  は、直交梁・床を示す。
6.  は、壁を示す。

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 建築工事（構造）		S-205
	軸組図5	S=1/200 R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

符号	断面				X方向鉄筋				Y方向鉄筋				横筋		個数	備考
	A	B	D1	D2	上端筋		下端筋		上端筋		下端筋		径	本数		
					径	本数	径	本数	径	本数	径	本数				
F1	3300	3300	1200	900	D13	12	D19	21	D13	12	D19	21	D13	4	8	
F2	3000	3000	1200	900	D13	11	D19	21	D13	11	D19	21	D13	4	6	
F3	2700	2700	800	600	D13	10	D19	15	D13	10	D19	15	D13	3	10	



(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 建築工事 (構造)		S-301
	基礎リスト	S= 1 : 50 R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

【1】RCリスト\_基礎大梁

階	符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG11	FG12	FG13	FG14
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
FL	断面								
	上端筋	6-D29	6-D29	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25
	下端筋	6-D29	6-D29	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25
	肋筋	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@150	2-D13@150	2-D13@200	2-D13@200
	腰筋	6-D10	6-D10	12-D10	14-D10	6-D10	6-D10	12-D10	14-D10

(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM 建築工事（構造）		S-302
基礎梁リスト	S= 1 : 50 R5年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部		

【1】RCリスト\_大梁

階	符号	G1		G2		G11		G12	
	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
6FL	断面								
	上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D22	3-D22
	下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	6-D22
	肋筋	2-D13@250		2-D13@250		2-D13@250		2-D13@200	
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
5FL	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
	断面								
	上端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	6-D25	3-D25
	下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25
	肋筋	2-D13@250		2-D13@250		2-D13@200		2-D13@200	
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
4FL	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
	断面								
	上端筋	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	7-D25	5-D25
	下端筋	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	5-D25
	肋筋	2-D13@150		2-D13@150		3-D13@150		3-D13@150	
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
3FL	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
	断面								
	上端筋	5-D25	3-D25	6-D25	3-D25	5-D25	3-D25	7-D25	5-D25
	下端筋	3-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25	5-D25	5-D25
	肋筋	2-D13@100		2-D13@100		3-D13@150		3-D13@150	
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
2FL	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
	断面								
	上端筋	5-D25	3-D25	6-D25	3-D25	5-D25	3-D25	9-D25	5-D25
	下端筋	3-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D25	6-D25	5-D25
	肋筋	3-D13@100		3-D13@100		3-D13@150		4-D13@150	
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	

【2】RCリスト\_柱

階	符号	C1	C2
5FL	断面		
	主筋	14-D22	14-D22
	帯筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
4FL	断面		
	主筋	18-D22	14-D22
	帯筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
3FL	断面		
	主筋	24-D25	16-D25
	帯筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
2FL	断面		
	主筋	28-D25	20-D25
	帯筋	2-2-D13@100	2-2-D13@100
1FL	断面		
	主筋	28-D25	20-D25
	帯筋	3-5-D13@100	2-2-D13@100

（設計者等表示欄）

R5官庁営繕BIM 建築工事（構造）

S-303

柱・大梁リスト

S=1 : 60

R5年版

国土交通省大臣官庁官庁営繕部

【1】RCリスト\_小梁

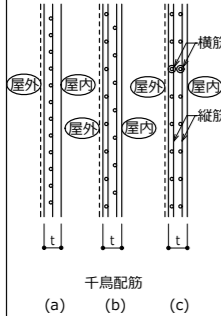
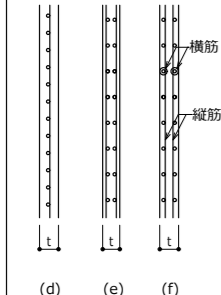
階	符号	B1	B2		B3	B4		B5	B6	
	位置	全断	端部	中央	全断	端部	中央	全断	端部	中央
FL	断面									
	上端筋	3-D22	5-D22	3-D22	2-D19	5-D22	3-D22	3-D19	5-D22	3-D22
	下端筋	3-D22	3-D22	4-D22	2-D19	3-D22	5-D22	3-D19	5-D22	8-D22
	肋筋	2-D10@200	2-D10@200		2-D10@200	2-D10@200		2-D10@200	2-D10@200	
	腹筋	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	

【2】RCリスト\_片持ち大梁

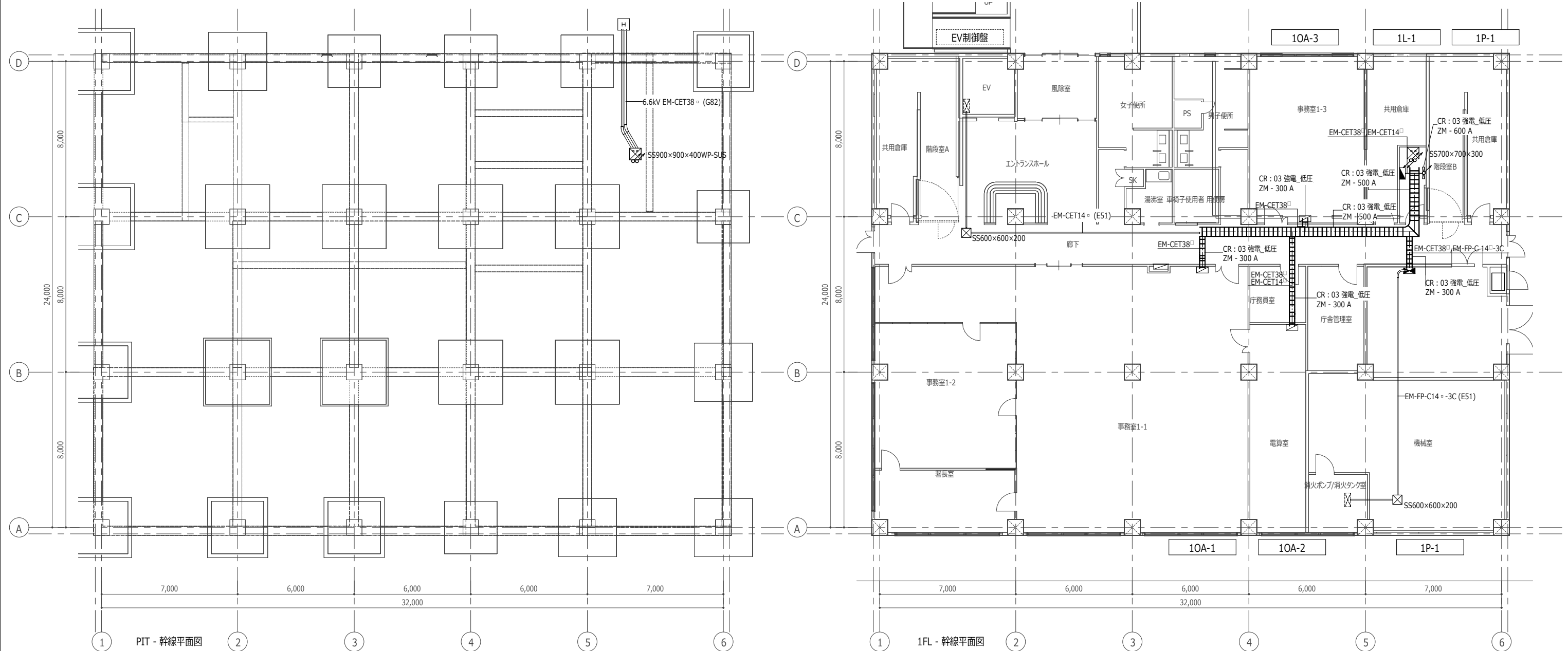
階	符号	CG1	
	位置	元端	先端
FL	断面		
	上端筋	10-D25	5-D25
	下端筋	5-D25	3-D25
	肋筋	2-D10@150	
	腹筋	2-D10	

(設計者等表示欄)

R5官庁営繕BIM 建築工事（構造）			S-304
小梁リスト	S=1 : 60	R5年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部			

壁リスト									床スラブリスト							
縦断面図	符号	壁厚	主筋			開口補強筋			備考	符号	厚さ	主筋		配力筋		備考
			配置	縦筋	横筋	縦筋	横筋	斜筋				上端筋	下端筋	上端筋	下端筋	
<div>外壁</div> 	EW15	150	ダブル配筋	D10@100	D10@100					CS1	150	D13@200	D10@200	D10@200	D10@200	
	W15	150	シングル配筋	D10@150	D10@150					FS1	200	D13@100	D13@100	D13@150	D13@150	
										FS2	200	D10,D13@100	D10,D13@100	D10,D13@100	D10,D13@100	
<div>内壁</div> 										S1	150	D13@100	D13@200	D10,D13@200	D10,D13@200	
										S2	150	D10,D13@200	D10,D13@200	D10,D13@200	D10@200	

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 建築工事（構造）		S-305
	壁リスト、床リスト	R5年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



【幹線リスト】

配盤盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
低圧電灯盤No.1	L11	1L-1	EM-CET38□
	L12	2L-1	EM-CET38□
	L13	PHL-1	EM-CET38□
	L13	10A-1	EM-CET38□
	L14	10A-2	EM-CET38□
	L15	10A-3	EM-CET38□
	L16	20A-1	FM-CET38□

配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
低圧電灯盤No.2	L21	3L-1	EM-CET38□
	L22	4L-1	EM-CET38□
	L23	30A-1	EM-CET38□
	L24	30A-2	EM-CET38□
	L25	30A-3	EM-CET38□
	L26	40A-1	EM-CET38□
	L27	40A-2	EM-CET38□
	L28	40A-3	EM-CET38□

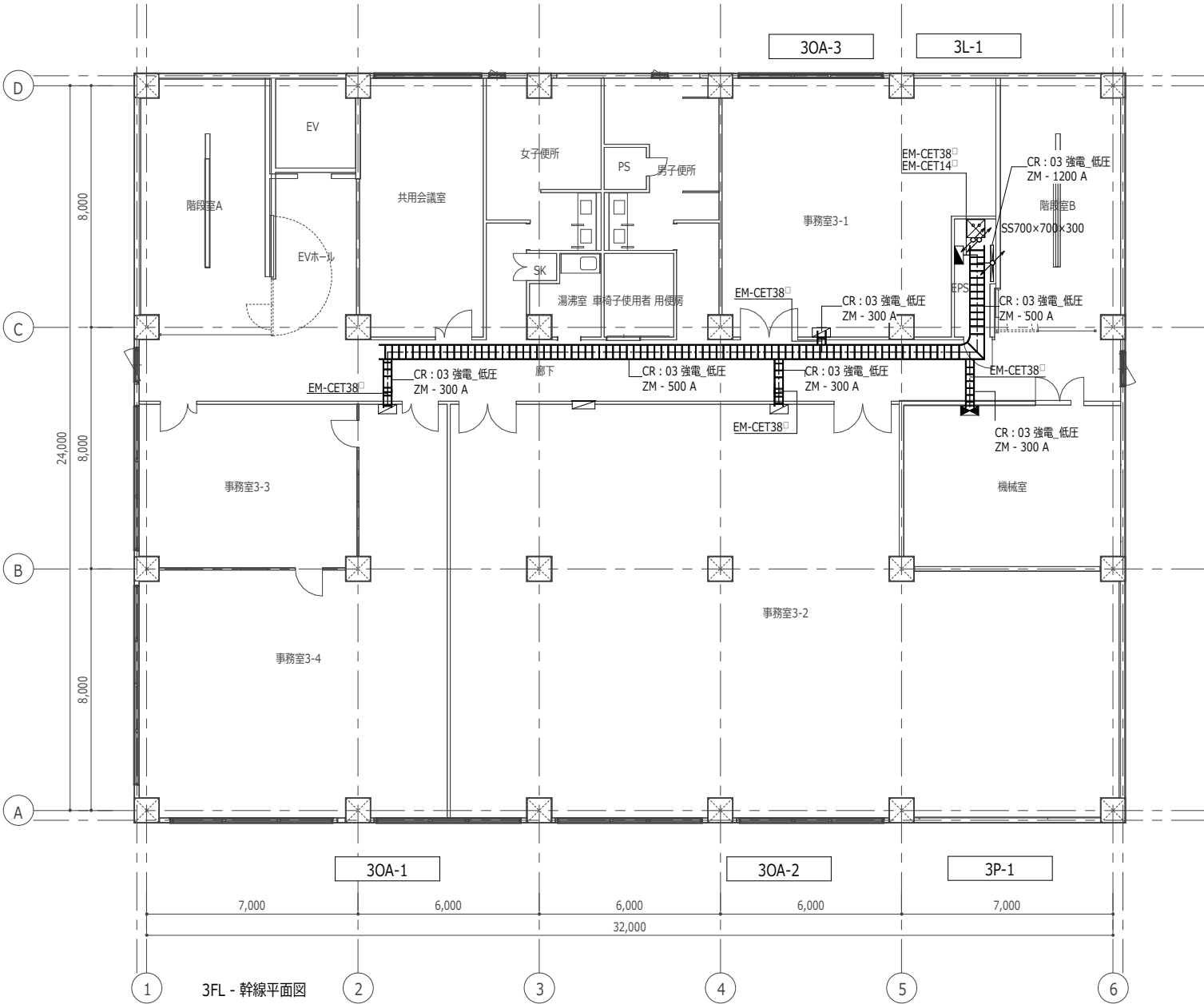
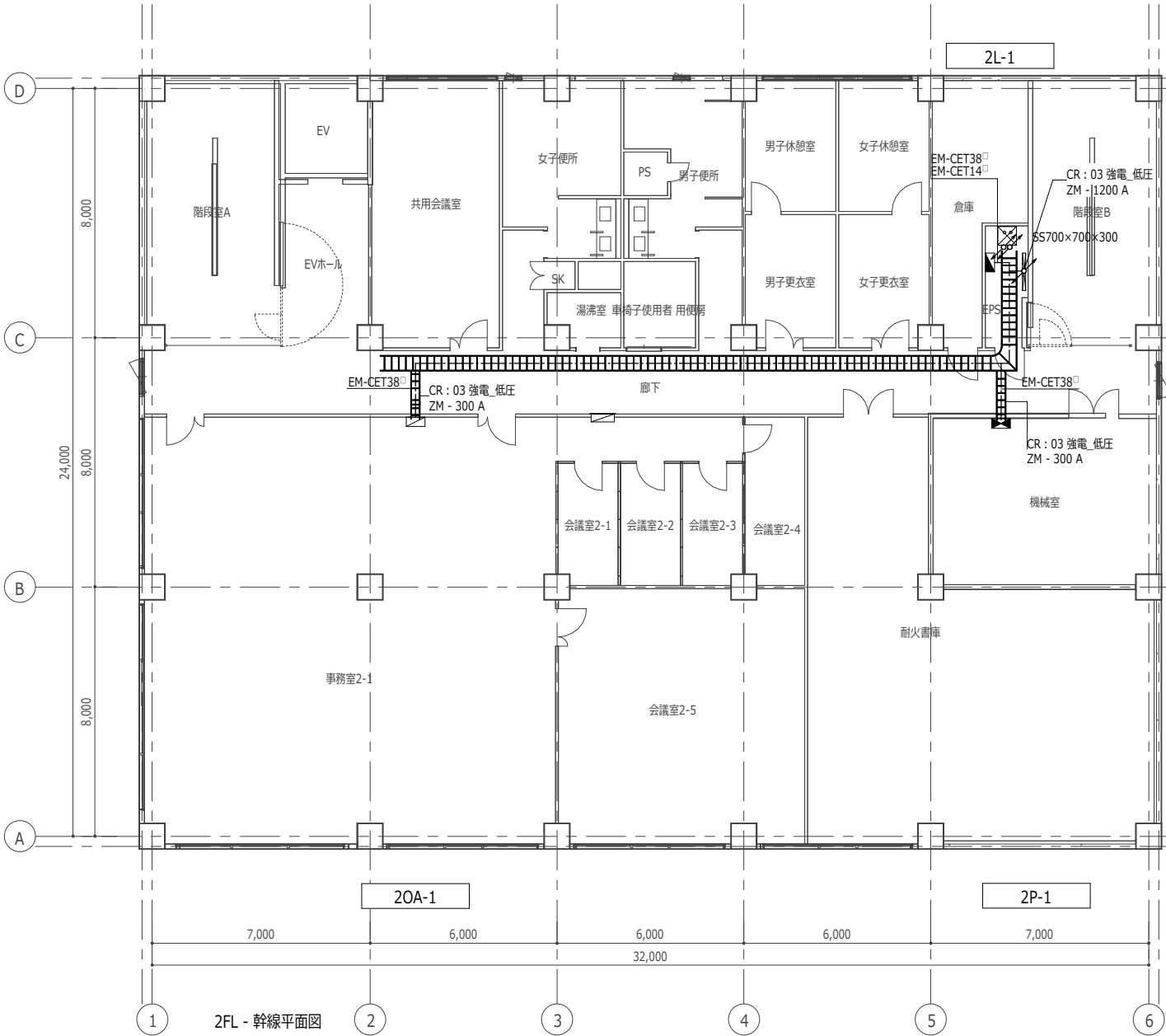
配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
低圧動力盤	P01	1P-1	EM-CET38□
	P02	2P-1	EM-CET38□
	P03	3P-1	EM-CET38□
	P04	4P-1	EM-CET38□
	P05	PHP-1	EM-CET38□
	P06	EV制御盤	EM-CET14□
	P07	パワーコンディショナ	FM-CFT14□

配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
非常保安電灯盤	GL-11	1L-1	EM-CET14□
	GL-12	2L-1	EM-CET14□
	GL-13	3L-1	EM-CET14□
	GL-21	4L-1	EM-CET14□
	GL-22	PHL-1	EM-CET14□
	GL-23	10A-2	EM-CET14□

配電盤名称	幹線番号	負荷名称	ケーブルサイズ
非常保安動力盤	GP-01	PHP-1	EM-CET14□
	GP-02	PHP-2	EM-CET14□
	GP-03	消火ポンプ制御盤	EM-FP-C14□・3C

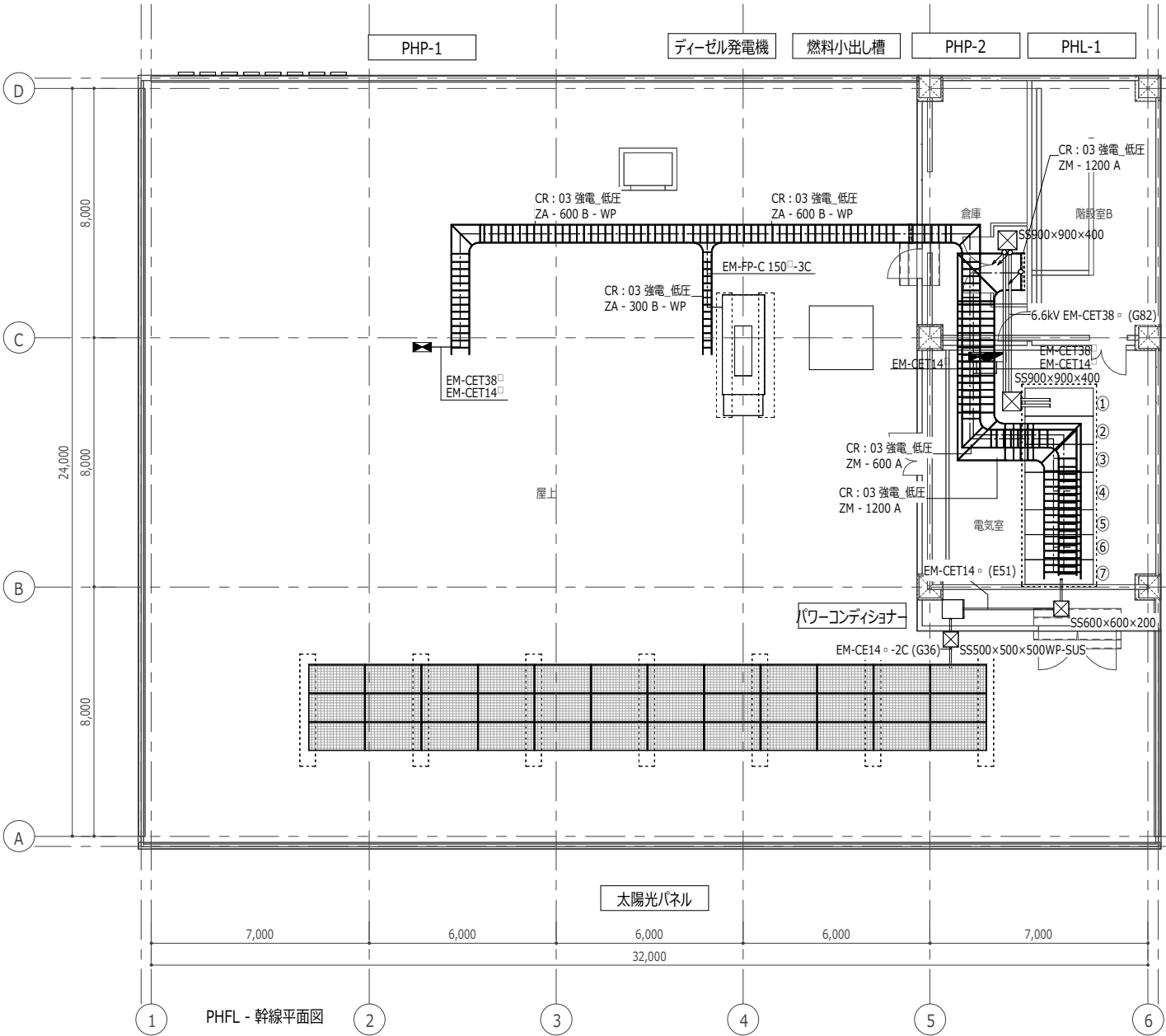
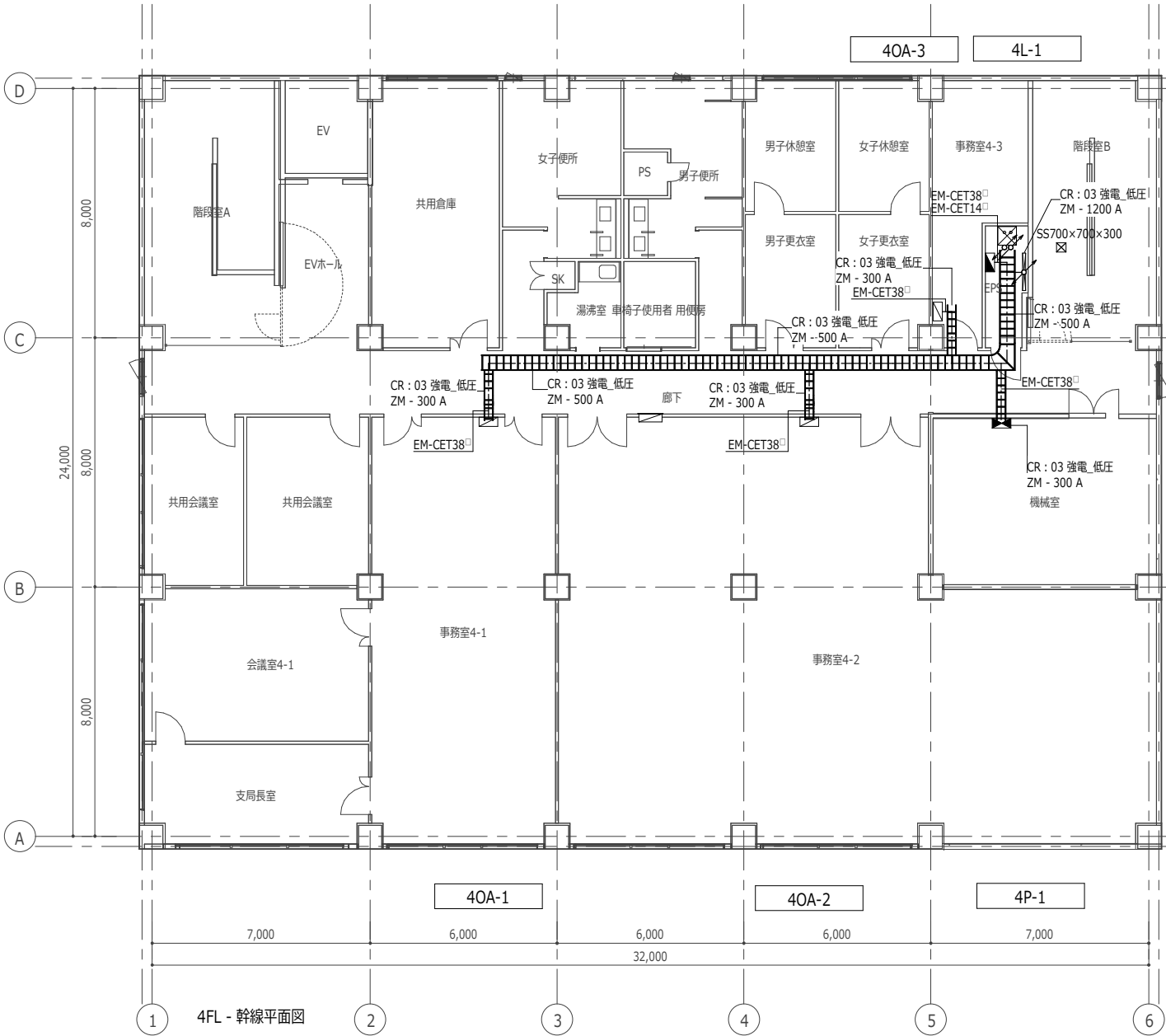
盤類、配管配線等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 電気設備工事		3001
	幹線設備・受変電設備・発電設備 FIT・1階 平面図 配置図	A1 S:1/100 A3 S:1/200	R5年版
	国土交通省大臣官庁官庁営繕部		XX



盤類、配管配線等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）

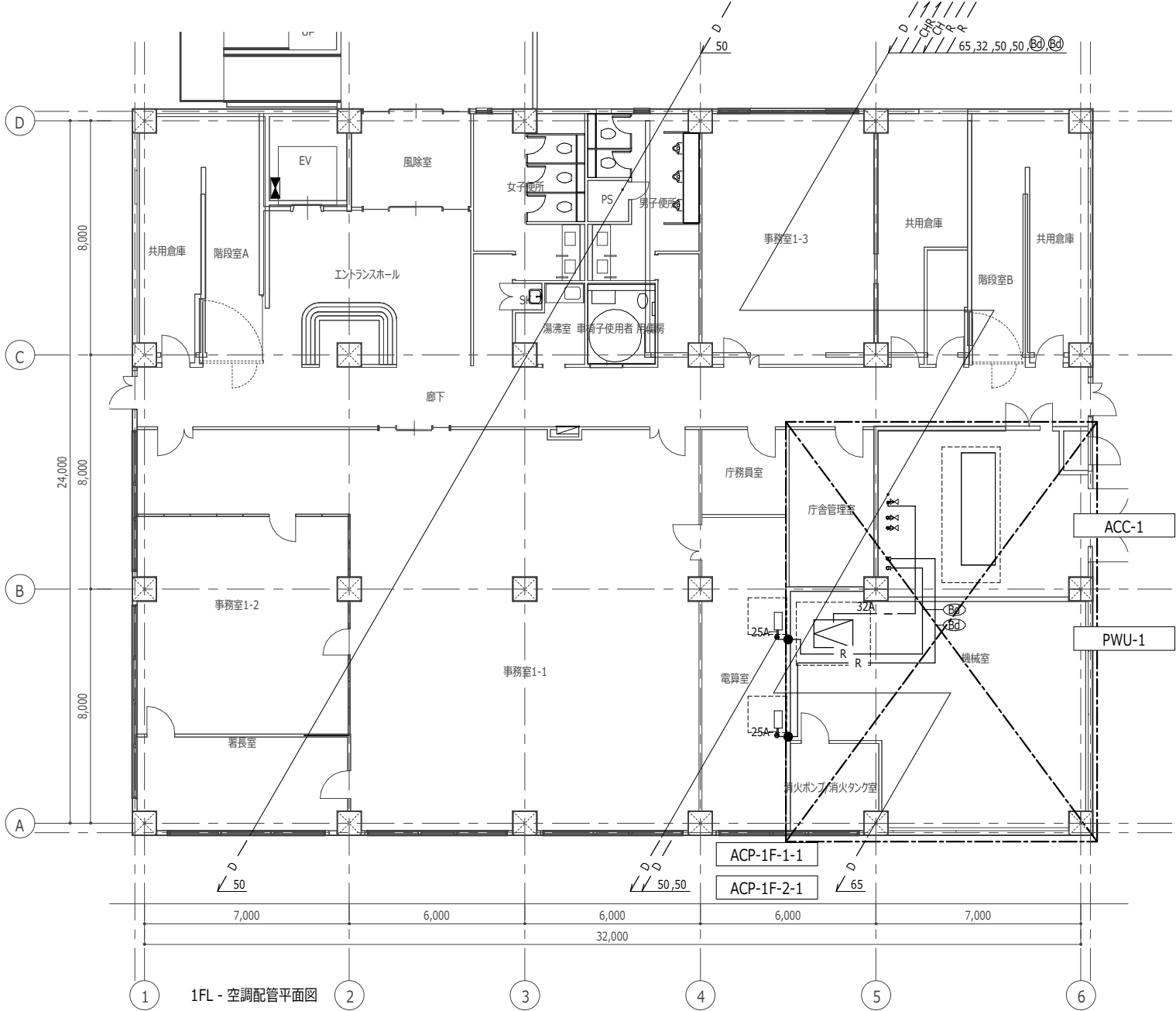
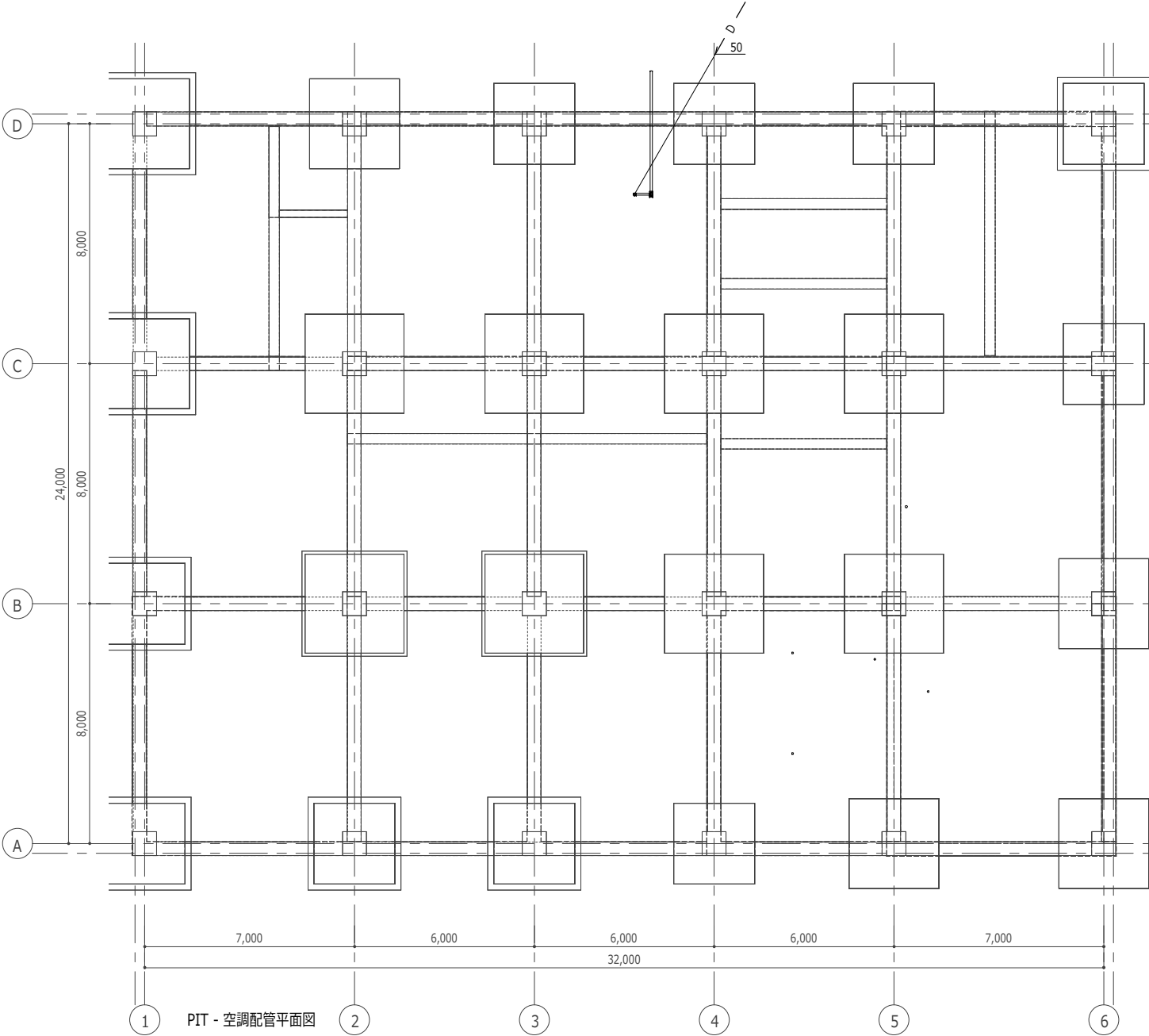
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 電気設備工事		3002
	幹線設備・受変電設備・発電設備 2・3階 平面図 配置図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



凡例	
記号	盤名称
①	受電盤
②	低圧電灯盤No.1
③	低圧電灯盤No.2
④	低圧動力盤
⑤	低圧コンデンサ盤
⑥	非常保安動力盤
⑦	非常保安電灯盤

盤類、配管配線等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）

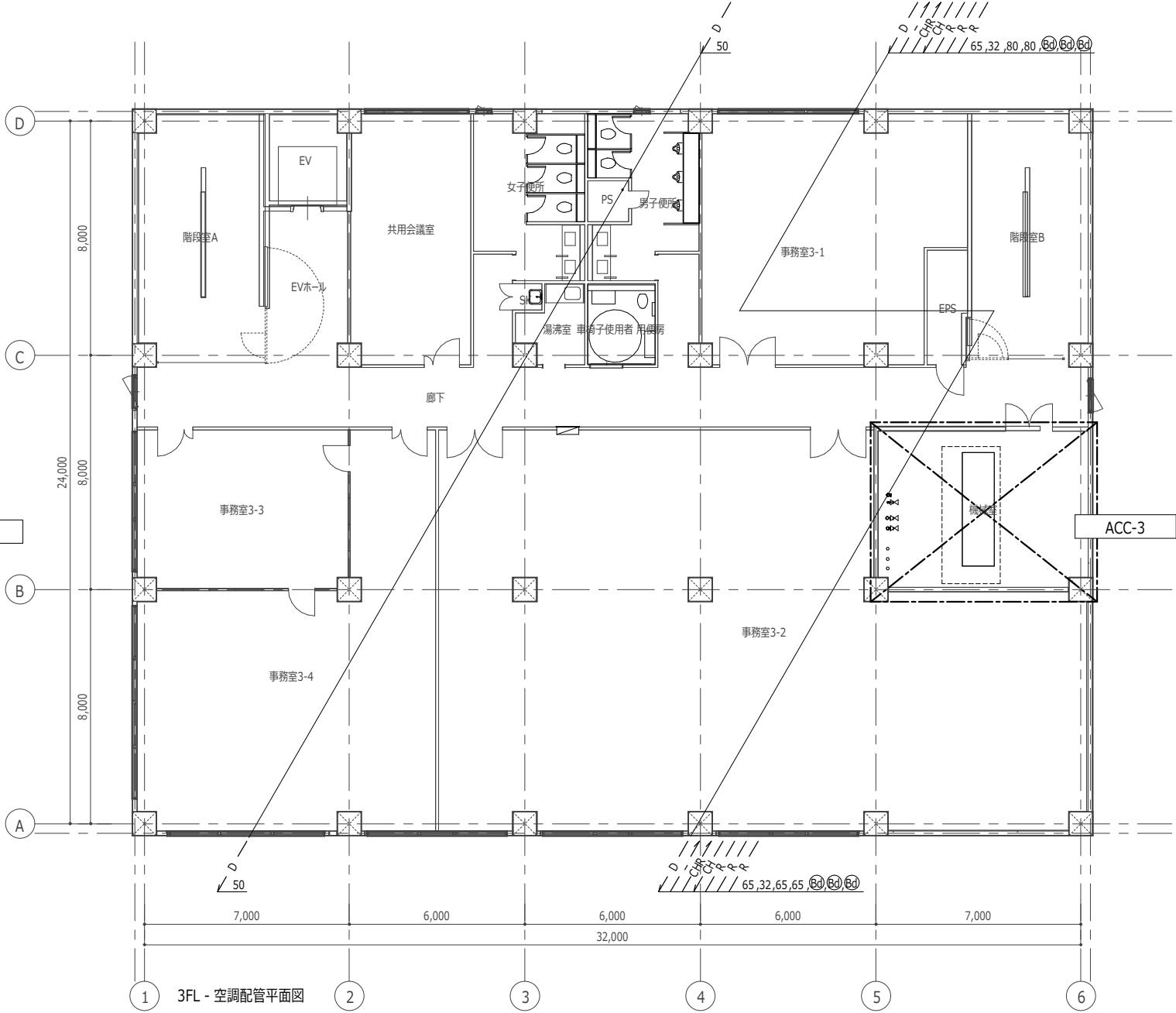
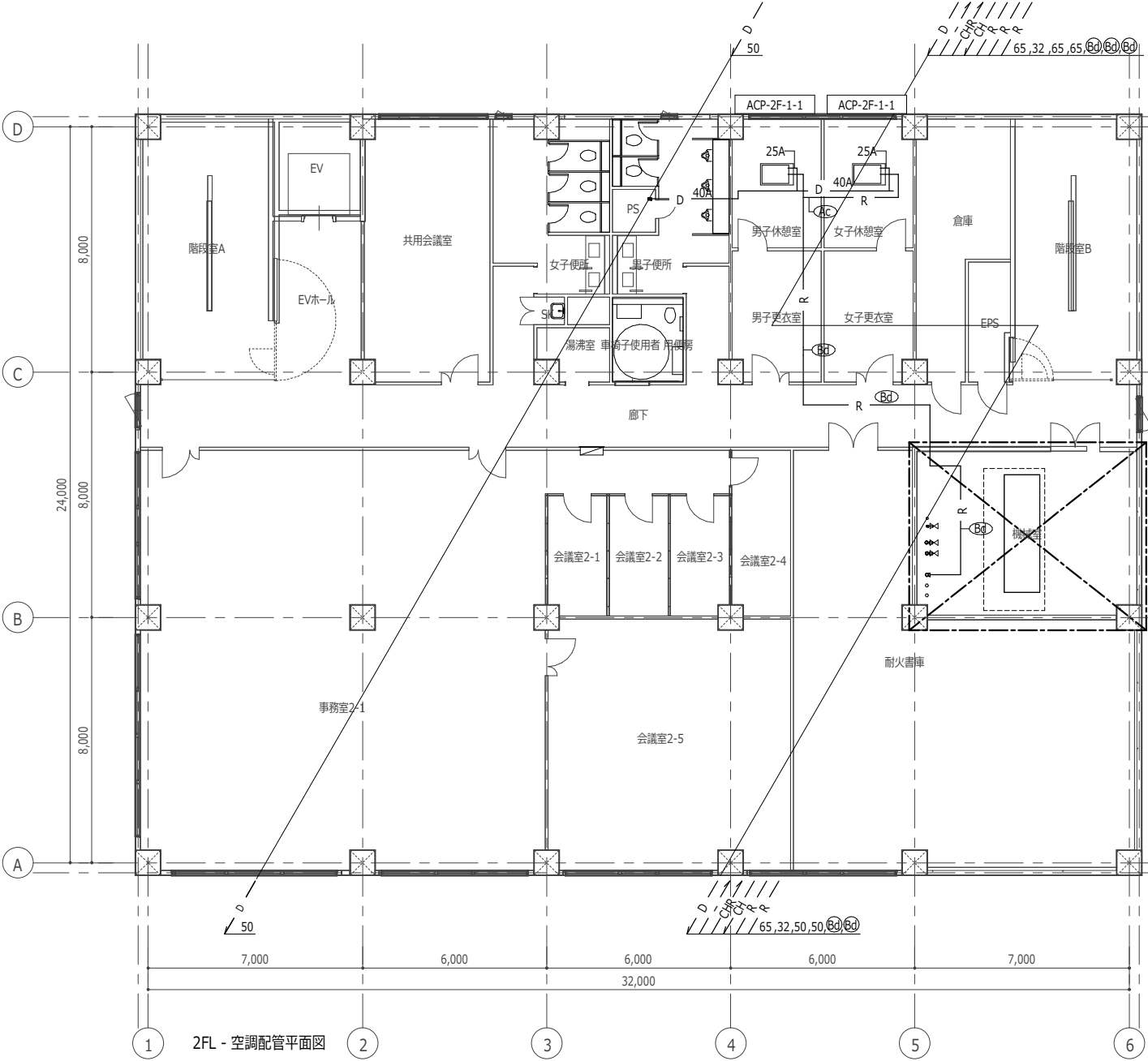
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 電気設備工事	3003
	幹線設備・受電設備・発電設備 4・PHFL附 平面図 配置図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版
	国土交通省大臣官房官庁営繕部	XX



冷暖配管サイズ表		
符号	液管サイズ	ガス管サイズ
Ac	6.4φ	12.7φ
Bd	9.5φ	15.9φ
Be	9.5φ	19.1φ
Bf	9.5φ	22.2φ
Ch	12.7φ	28.6φ
Dh	15.9φ	28.6φ
Ei	19.1φ	31.8φ
Ek	19.1φ	38.1φ

機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）  
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

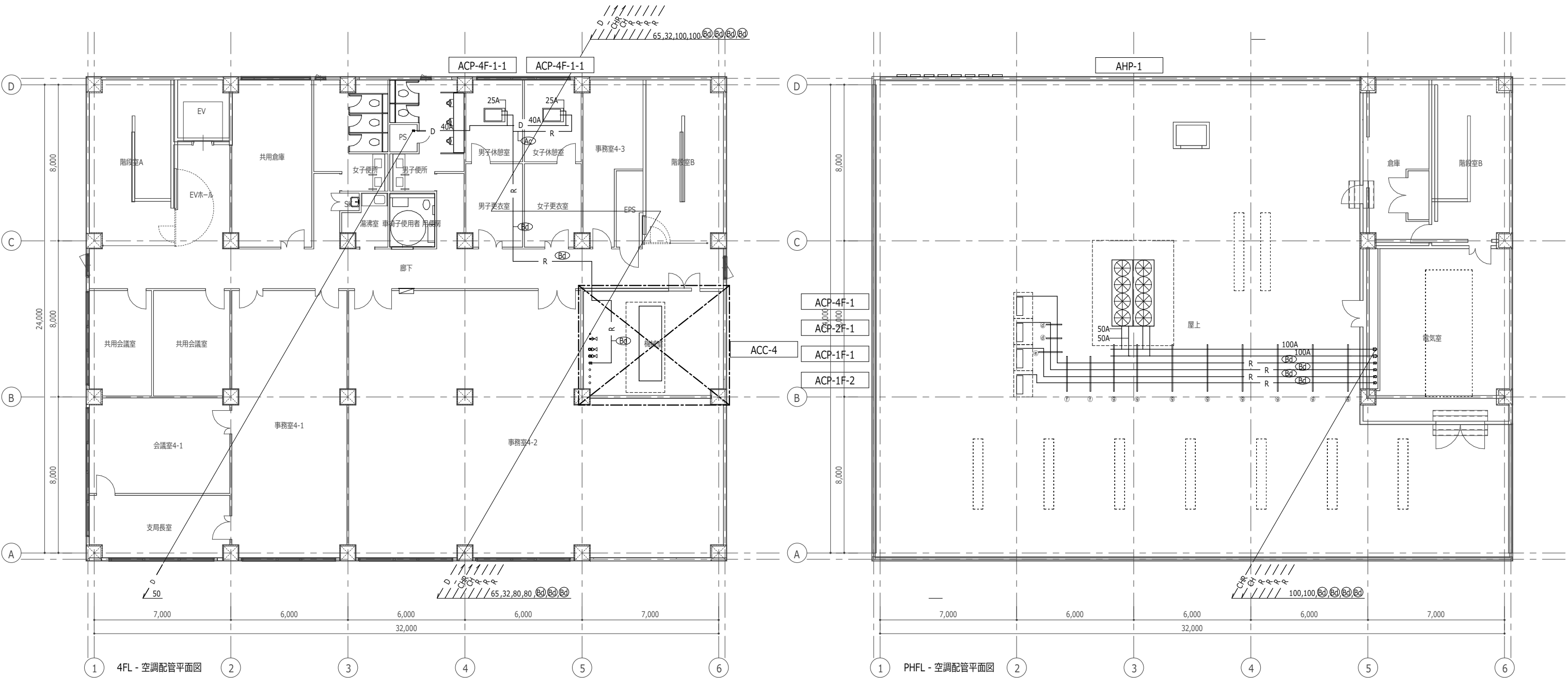
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事		4001
	空調配管設備 PIT・1階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



冷暖配管サイズ表		
符号	液管サイズ	ガス管サイズ
Ac	6.4φ	12.7φ
Bd	9.5φ	15.9φ
Be	9.5φ	19.1φ
Bf	9.5φ	22.2φ
Ch	12.7φ	28.6φ
Dh	15.9φ	28.6φ
Ei	19.1φ	31.8φ
Ek	19.1φ	38.1φ

機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）  
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事		4002
	空調配管設備 2・3階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



配管架台要領図 (S=N.S)

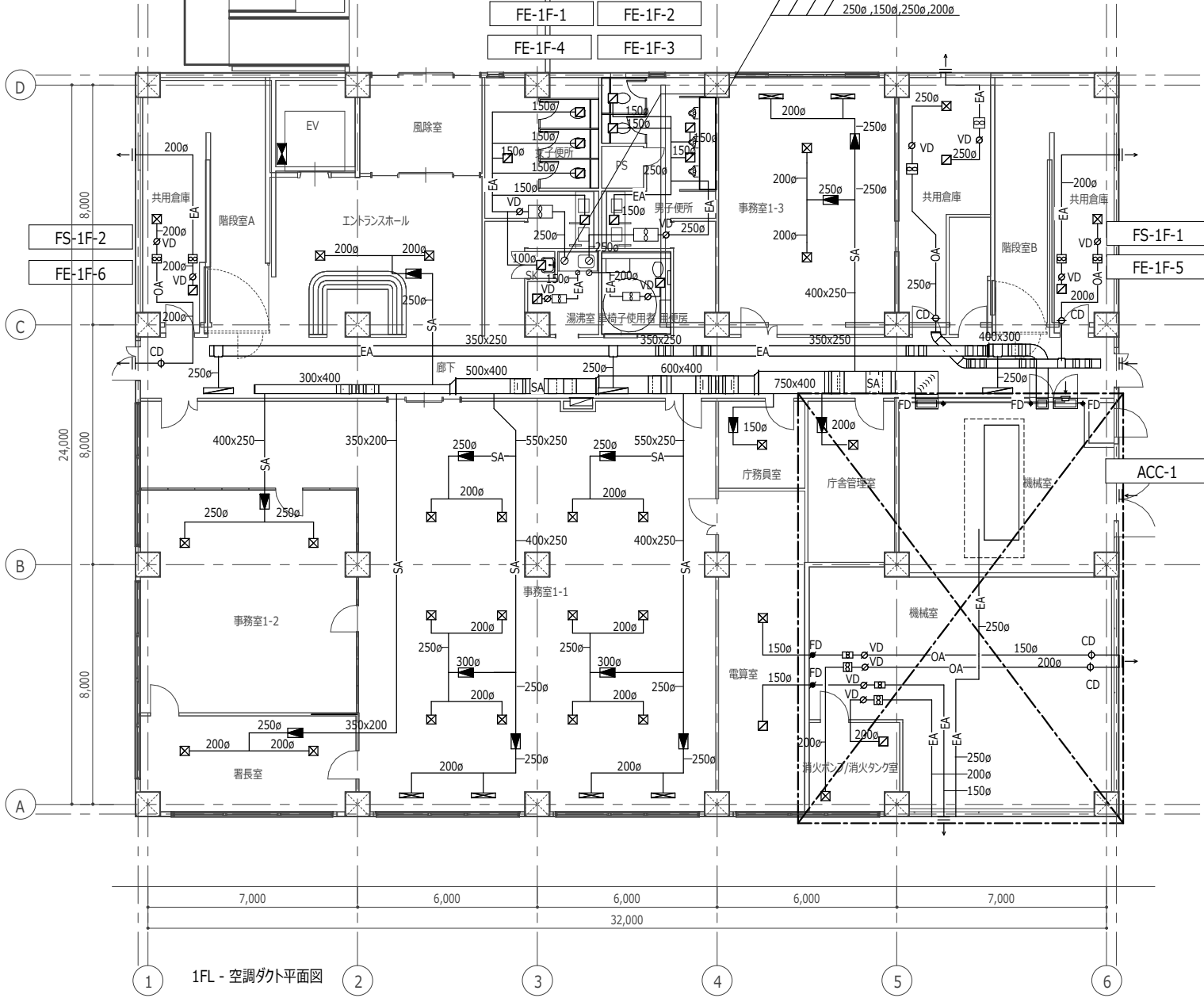
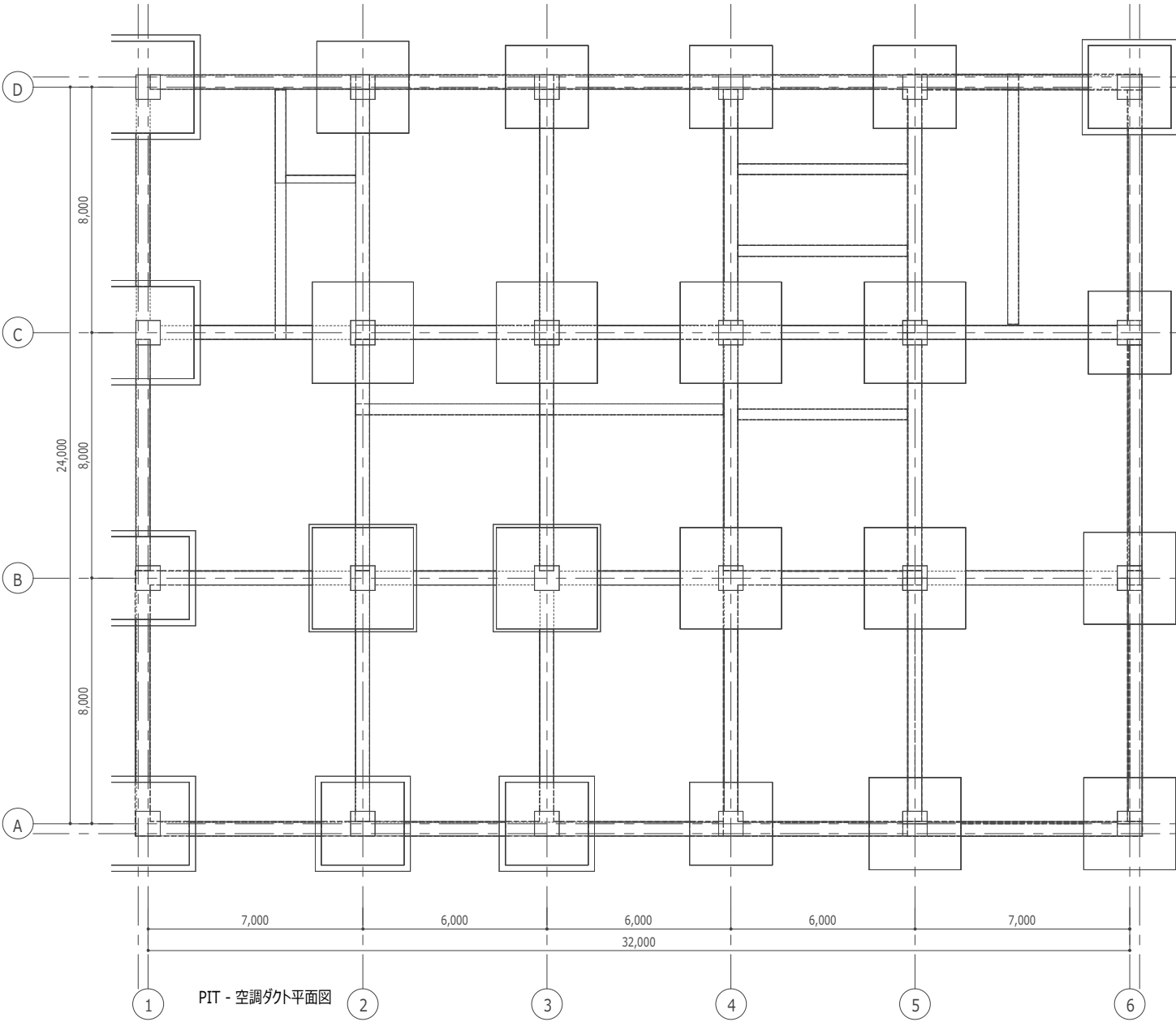
架台番号	L1 寸法	L2 寸法	L3 寸法	H 寸法	数量
a	200	300	400	400	0
b	400	500	600	400	0
c	600	700	800	400	0
d	800	900	1,000	400	2
e	1,200	1,300	1,400	400	1
f	1,800	1,900	2,000	400	2
g	2,400	2,500	2,600	400	8

冷媒配管サイズ表

符号	液管サイズ	ガス管サイズ
Ac	6.4φ	12.7φ
Bd	9.5φ	15.9φ
Be	9.5φ	19.1φ
Bf	9.5φ	22.2φ
Ch	12.7φ	28.6φ
Dh	15.9φ	28.6φ
Ei	19.1φ	31.8φ
Ek	19.1φ	38.1φ

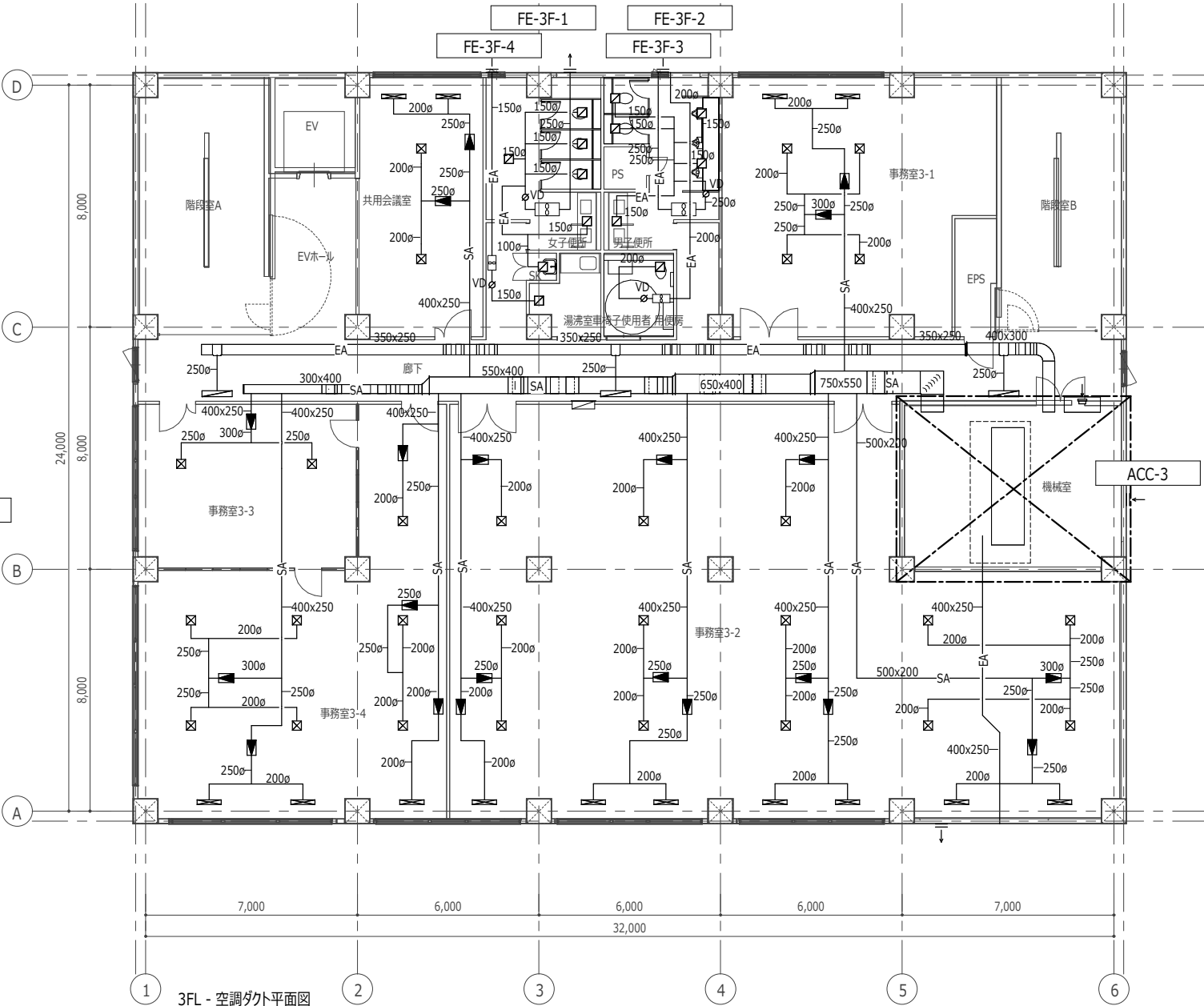
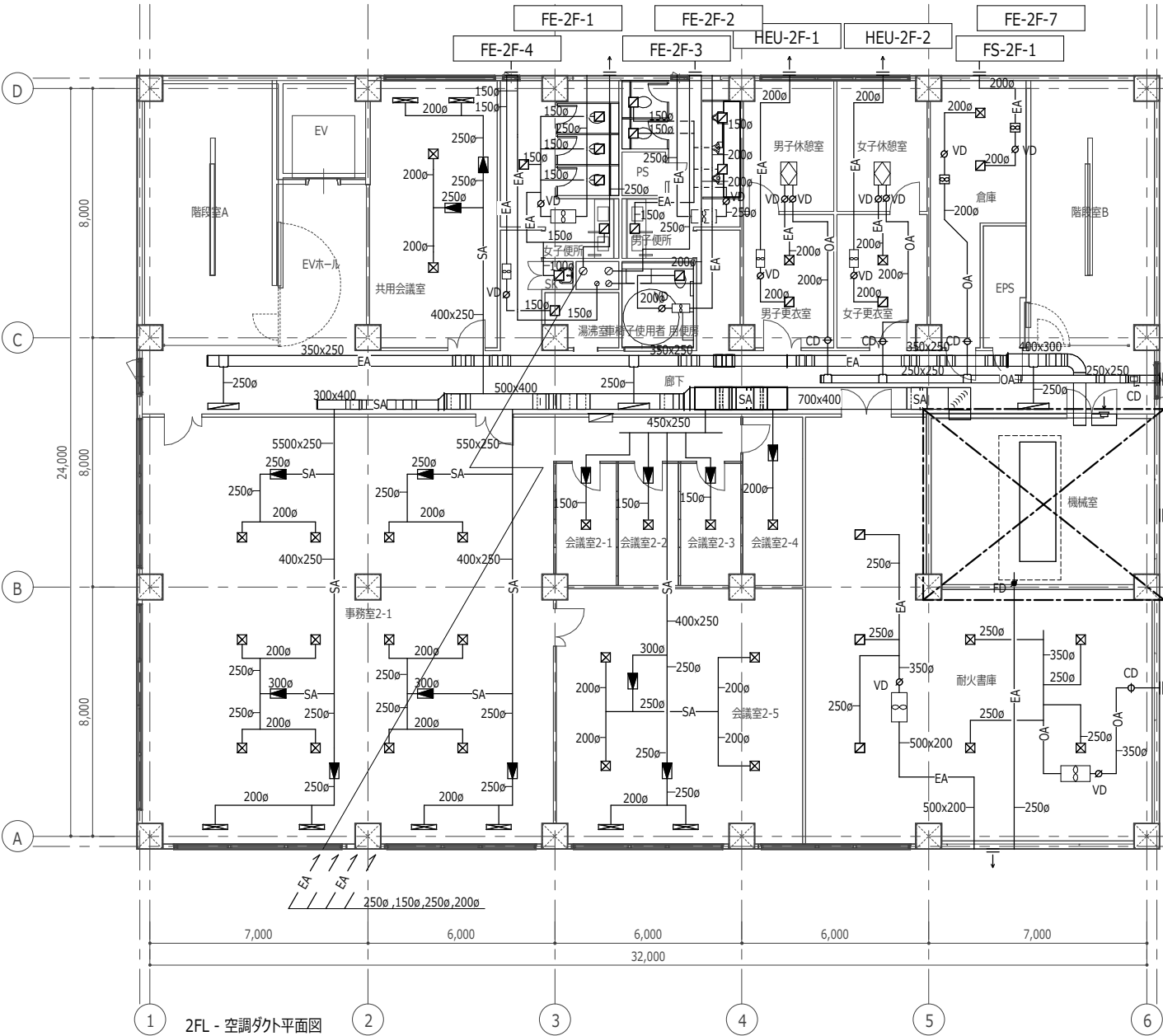
機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）  
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事			4003
	空調配管設備 4・PHF階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200	R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部			



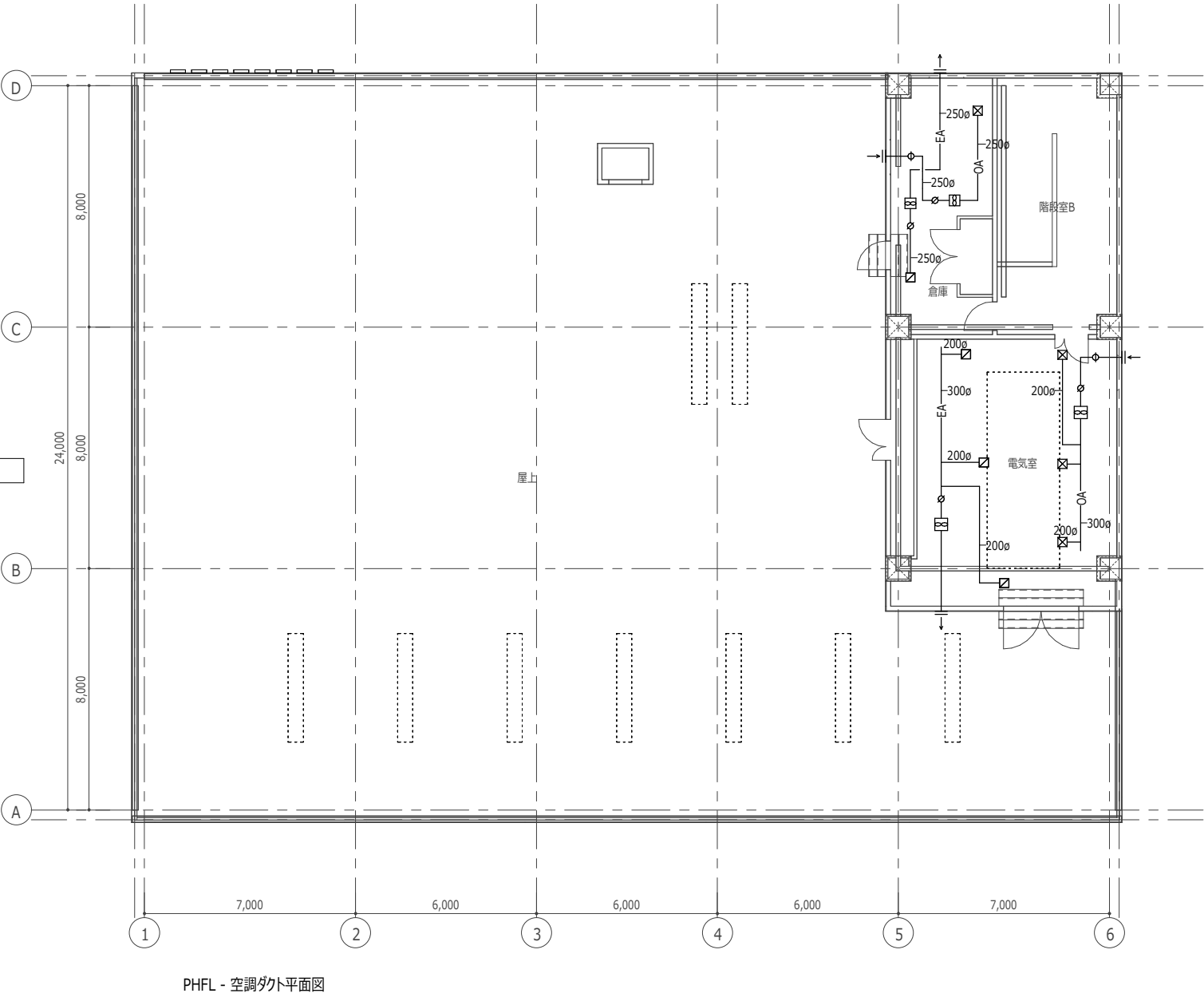
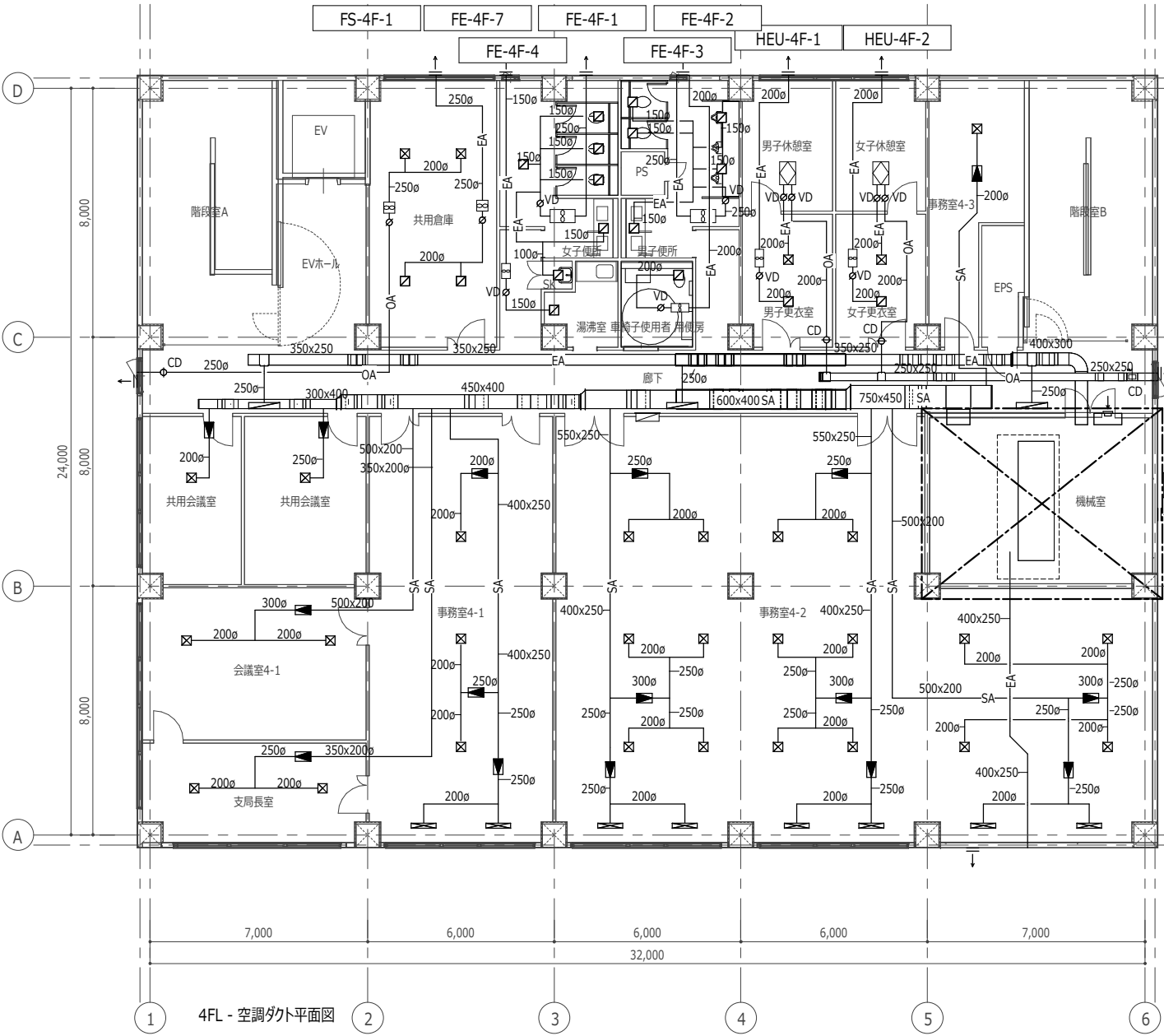
機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）  
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事		4004
	空調ダクト設備 PIT・1階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



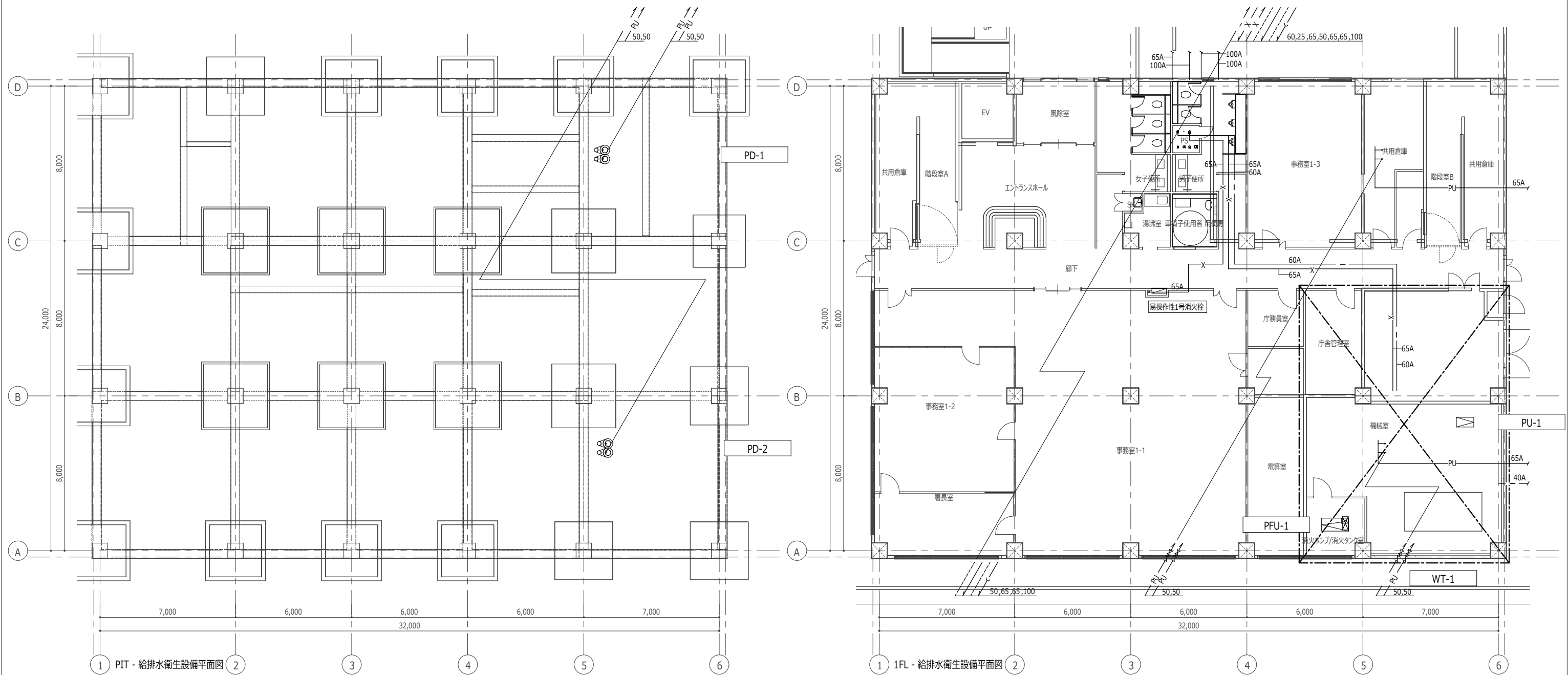
機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）  
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事		4005
	空調ダクト設備 2・3階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



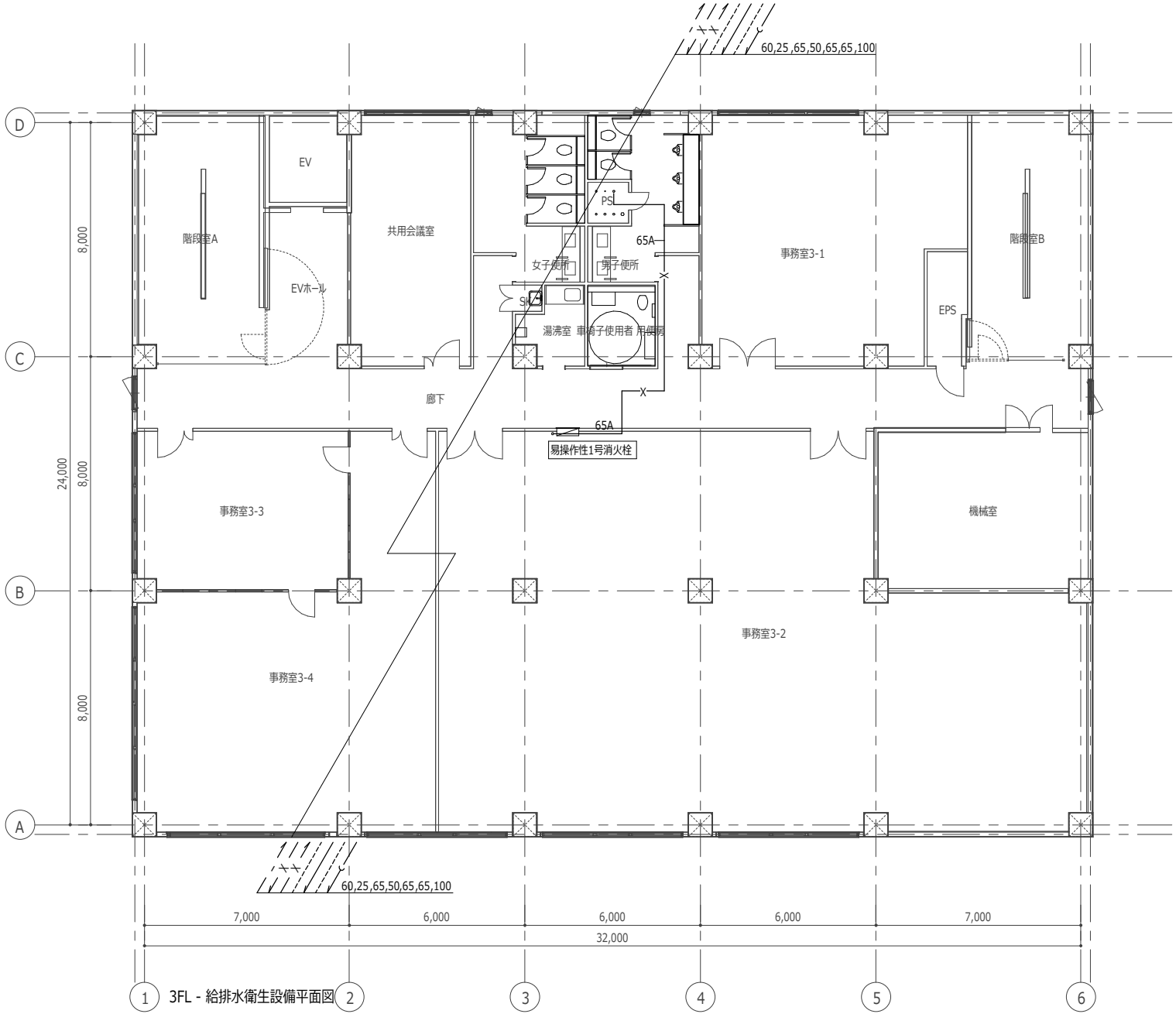
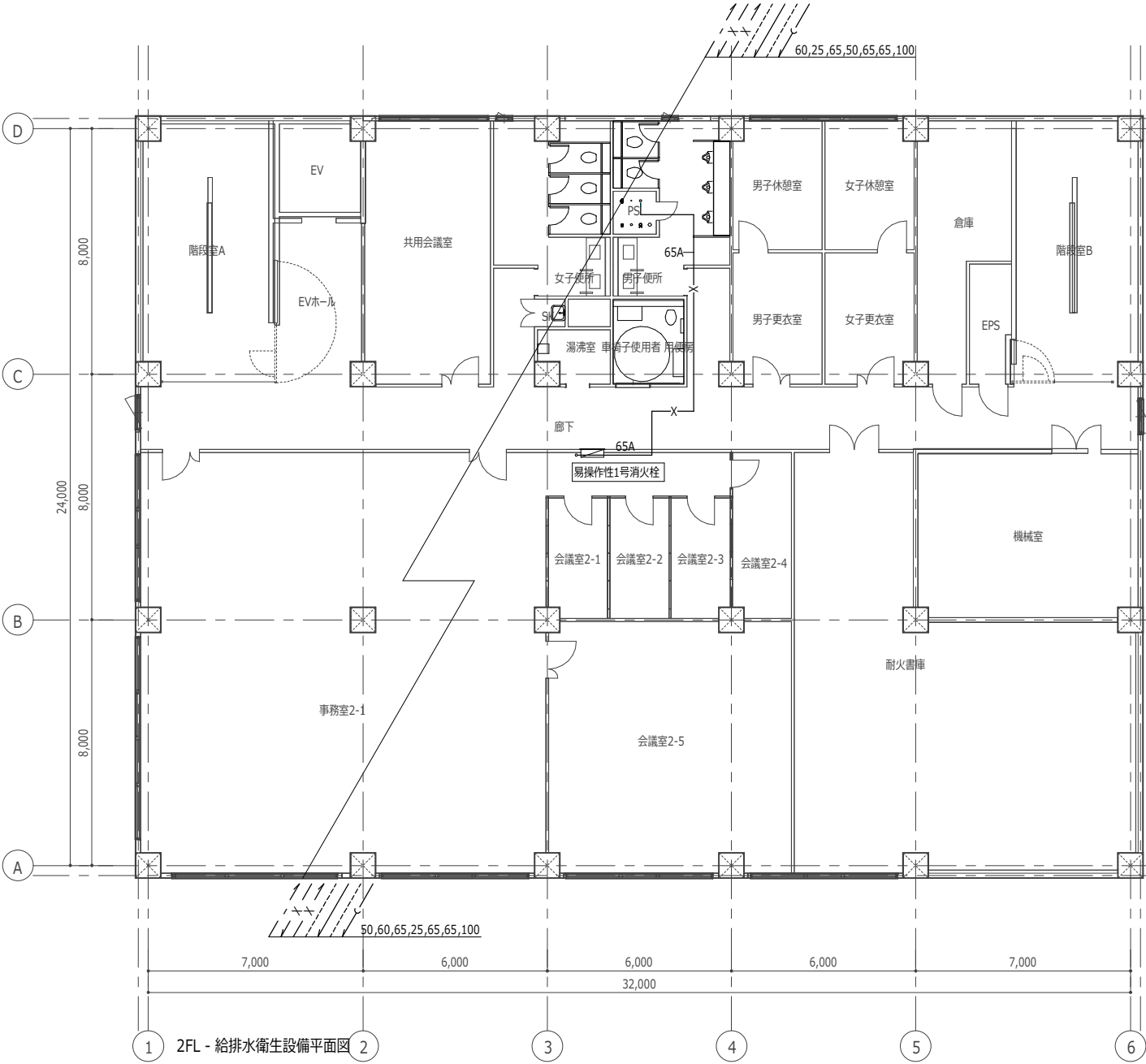
機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）  
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事		4006
	空調ダクト設備 4・PHF階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

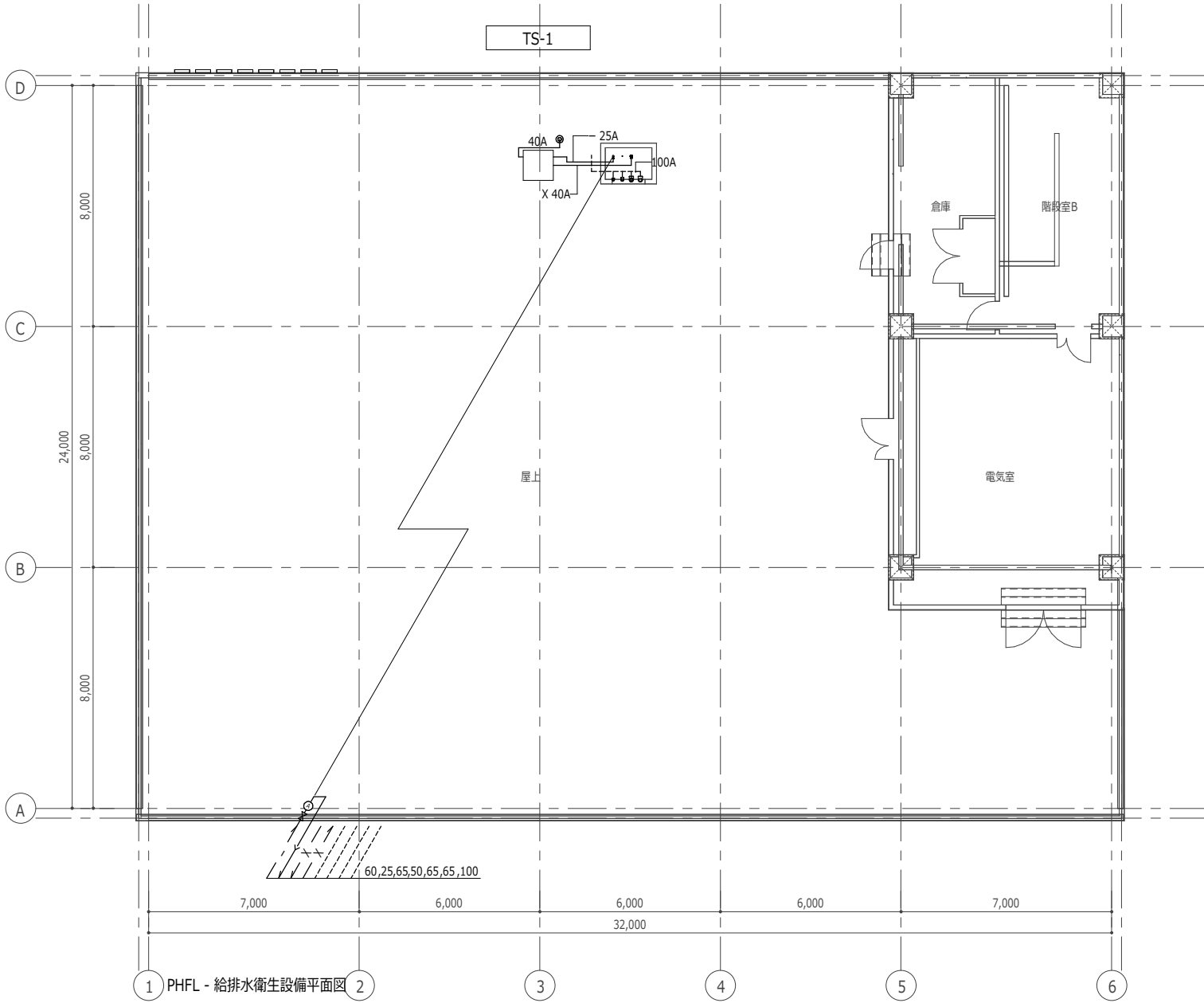
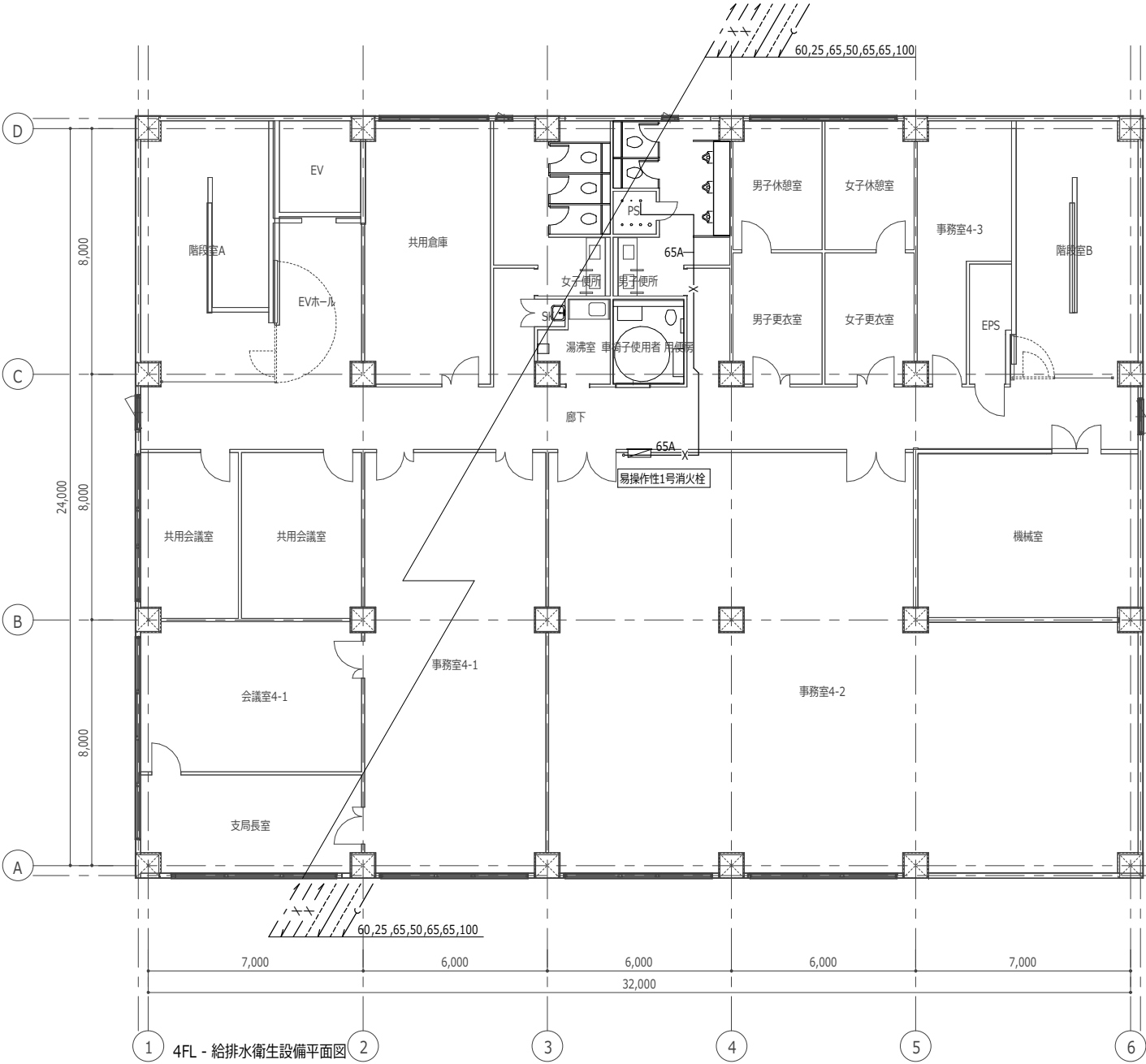


機器廻り等の仕様は詳細図による（本検討においては作成対象外）  
制御配線等の仕様は自動制御図による（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事		5001
	給排水衛生設備 PIT・1階 平面図	A1 S.1/100 A3 S.1/200	R5年版
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XX



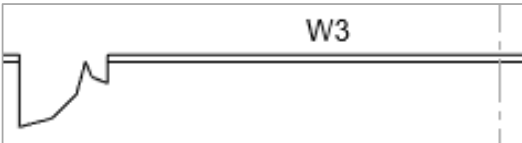






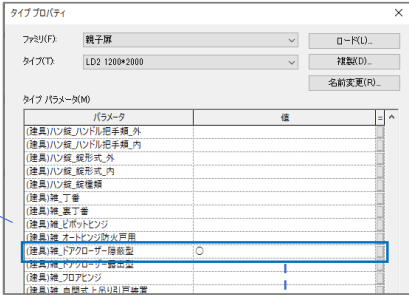
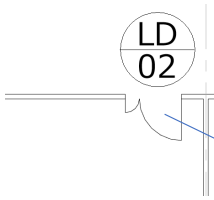
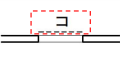
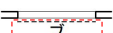
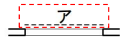
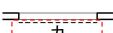
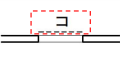
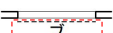
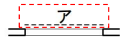
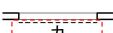
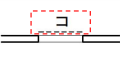
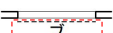
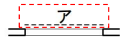
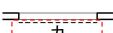
(設計者等表示欄)	R5官庁営繕BIM 機械設備工事		5002
	給排水衛生設備 2・3階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200 R5年版	XX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		

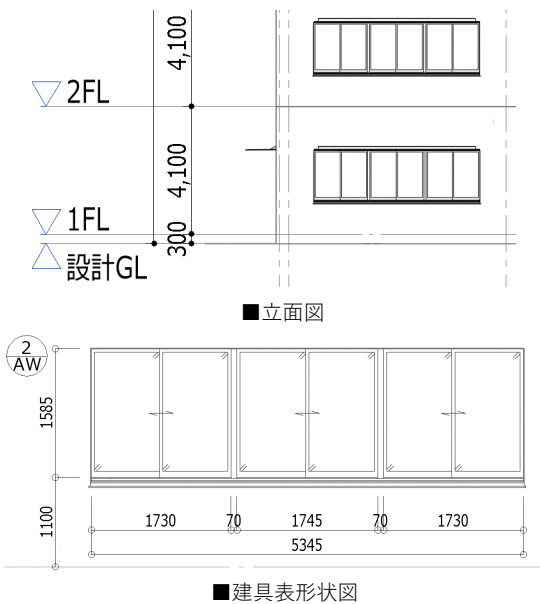
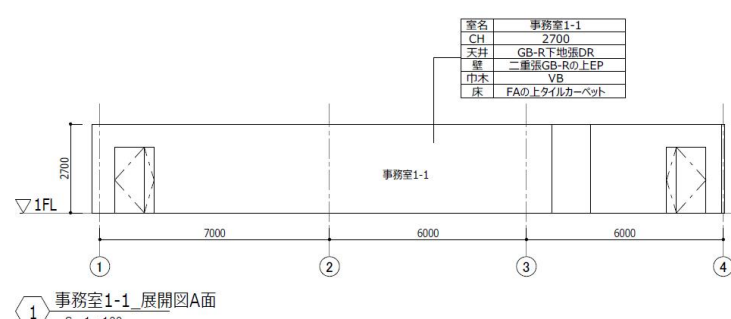


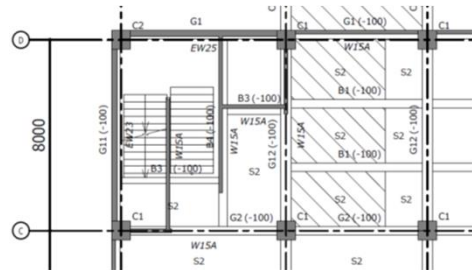






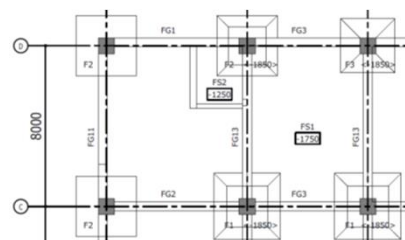
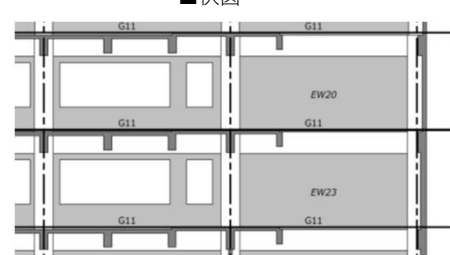
(設計者等表示欄)






























































































R5官庁営繕BIM 機械設備工事			5003
給排水衛生設備 4・PHF階 平面図	A1 S:1/100 A3 S:1/200	R5年版	XX
国土交通省大臣官房官庁営繕部			

BIMソフトウェアによる合理的な図面表記

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	(参考) 設計図書作成基準等																																																																														
1	壁種の表示記号	<p>平面図における壁種の表示について、ハッチングに代えて記号により壁種を区分する。壁種記号を壁近傍に配置し、凡例において壁種記号に対応した壁種を表示する、壁種記号は、壁オブジェクトの属性情報が反映されるように設定する。</p> <div><table><tr><td>W1</td><td>LGS壁乾式1時間耐火</td><td>RC</td><td>RC</td></tr><tr><td>W2</td><td>LGS壁乾式1時間耐火（遮音壁）</td><td>PT</td><td></td></tr><tr><td>W3</td><td>LGS + ガード 2枚張</td><td colspan="2">一般壁：LGSはｽﾌﾟｰｽﾌﾟ、ガードはｽﾌﾟｰ天井とする</td></tr><tr><td>W4</td><td>LGS + ガード 2枚張（遮音壁）</td><td colspan="2">遮音壁・耐火壁：LGS・ガード共にｽﾌﾟｰ天井とする</td></tr></table></div>	W1	LGS壁乾式1時間耐火	RC	RC	W2	LGS壁乾式1時間耐火（遮音壁）	PT		W3	LGS + ガード 2枚張	一般壁：LGSはｽﾌﾟｰｽﾌﾟ、ガードはｽﾌﾟｰ天井とする		W4	LGS + ガード 2枚張（遮音壁）	遮音壁・耐火壁：LGS・ガード共にｽﾌﾟｰ天井とする		<p>建築工事設計図書作成基準 別表2 材料構造表示記号（図中赤枠部分）</p> <p>ハッチング表示について、壁種が多い場合、壁中心線と重なる場合に視認しやすく表示するための設定は困難な場合がある。また、複数の尺度で視認しやすく表示するための設定は困難な場合がある。</p> <table><tr><th rowspan="2">表示事項</th><th colspan="3">表示事項</th></tr><tr><th>縮尺1/100又は1/200程度の場合</th><th>縮尺1/10、1/20、1/30、1/50程度の場合</th><th>原寸及び縮尺1/2、1/3、1/5程度の場合</th></tr><tr><td>軽量鉄骨下地間仕切壁（一般）</td><td></td><td colspan="2">実形に準じて表示する。</td></tr><tr><td>軽量鉄骨下地間仕切壁（遮音）</td><td></td><td colspan="2">実形に準じて表示する。</td></tr></table>	表示事項	表示事項			縮尺1/100又は1/200程度の場合	縮尺1/10、1/20、1/30、1/50程度の場合	原寸及び縮尺1/2、1/3、1/5程度の場合	軽量鉄骨下地間仕切壁（一般）		実形に準じて表示する。		軽量鉄骨下地間仕切壁（遮音）		実形に準じて表示する。																																																
W1	LGS壁乾式1時間耐火	RC	RC																																																																														
W2	LGS壁乾式1時間耐火（遮音壁）	PT																																																																															
W3	LGS + ガード 2枚張	一般壁：LGSはｽﾌﾟｰｽﾌﾟ、ガードはｽﾌﾟｰ天井とする																																																																															
W4	LGS + ガード 2枚張（遮音壁）	遮音壁・耐火壁：LGS・ガード共にｽﾌﾟｰ天井とする																																																																															
表示事項	表示事項																																																																																
	縮尺1/100又は1/200程度の場合	縮尺1/10、1/20、1/30、1/50程度の場合	原寸及び縮尺1/2、1/3、1/5程度の場合																																																																														
軽量鉄骨下地間仕切壁（一般）		実形に準じて表示する。																																																																															
軽量鉄骨下地間仕切壁（遮音）		実形に準じて表示する。																																																																															
2	建具の表示記号	<p>建具の付属金物等について、平面図への表示に代えて建具表に表示する。建具表に表示する情報は、建具オブジェクトの属性情報が反映されるように設定する。</p> <div><p>建具表イメージ（親子扉にドアクローザーを適用させる場合）</p><table><tr><th colspan="4">建具性能</th><th colspan="12">ハンドル・錠等</th></tr><tr><th rowspan="2">建具種別</th><th rowspan="2">建具番号</th><th rowspan="2">玄関番号</th><th rowspan="2">取付場所</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">遮音性能</th><th rowspan="2">気密性</th><th colspan="2">形状形式</th><th rowspan="2">錠の種類</th><th rowspan="2">丁番</th><th rowspan="2">錠の形状</th><th rowspan="2">ビスの形状</th><th rowspan="2">ビスの長さ</th><th rowspan="2">ビスの径</th><th rowspan="2">ビスの材質</th></tr><tr><th>外</th><th>内</th></tr><tr><td>LD</td><td>02</td><td>A-2</td><td>両開き親子扉</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div>	建具性能				ハンドル・錠等												建具種別	建具番号	玄関番号	取付場所	防火性能	遮音性能	気密性	形状形式		錠の種類	丁番	錠の形状	ビスの形状	ビスの長さ	ビスの径	ビスの材質	外	内	LD	02	A-2	両開き親子扉													<p>建築工事設計図書作成基準 別表1 平面表示記号（図中赤枠部分）</p> <p>表示記号を、建具オブジェクトと連動して所定の位置に表示するための設定、複数の尺度で視認しやすく表示するための設定は難易度が高い。</p> <table><tr><th colspan="2">格子付き窓</th><th colspan="2">ブラインド付き窓</th></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><th colspan="2">網戸付き窓</th><th colspan="2">カーテン付き窓</th></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="2">ドアクローザー</td><td>ストップあり</td><td rowspan="2">ヒンジクローザー</td><td>ストップあり</td></tr><tr><td>ストップなし</td><td>ストップなし</td></tr><tr><td rowspan="2">フロアヒンジ</td><td>ストップあり</td><td rowspan="2"></td><td>ストップあり</td></tr><tr><td>ストップなし</td><td>ストップなし</td></tr></table>	格子付き窓		ブラインド付き窓						網戸付き窓		カーテン付き窓						ドアクローザー	ストップあり	ヒンジクローザー	ストップあり	ストップなし	ストップなし	フロアヒンジ	ストップあり		ストップあり	ストップなし	ストップなし
建具性能				ハンドル・錠等																																																																													
建具種別	建具番号	玄関番号	取付場所	防火性能	遮音性能	気密性	形状形式		錠の種類	丁番	錠の形状	ビスの形状	ビスの長さ	ビスの径	ビスの材質																																																																		
							外	内																																																																									
LD	02	A-2	両開き親子扉																																																																														
格子付き窓		ブラインド付き窓																																																																															
																																																																																	
網戸付き窓		カーテン付き窓																																																																															
																																																																																	
ドアクローザー	ストップあり	ヒンジクローザー	ストップあり																																																																														
	ストップなし		ストップなし																																																																														
フロアヒンジ	ストップあり		ストップあり																																																																														
	ストップなし		ストップなし																																																																														

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	(参考) 設計図書作成基準等																																														
3	建具開閉表示記号	<p>建具開閉表示記号について、建具表の形状図に表示することとし、立面図への表示は任意とする。</p>  <p>■立面図</p> <p>■建具表形状図</p>	<p>建築工事設計図書作成基準 別表3 建具開閉表示記号（図中赤枠部分）</p> <p>表示記号を、建具オブジェクトと連動して所定の位置に表示するための設定、複数の尺度で視認しやすく表示するための設定は難易度が高い。</p> <table border="1"><caption>別表3 建具開閉表示記号</caption><thead><tr><th>表示事項</th><th>表示記号</th><th>表示事項</th><th>表示記号</th></tr></thead><tbody><tr><td>両開き</td><td></td><td>アコーディオンドア</td><td></td></tr><tr><td>縦子</td><td></td><td rowspan="2">縦軸</td><td></td></tr><tr><td>片開き</td><td></td><td></td></tr><tr><td>両引き</td><td></td><td>はめこらし</td><td>FIX</td></tr><tr><td>引違い</td><td></td><td rowspan="2">すべりだし</td><td></td></tr><tr><td>片引き（Ⅰ） 片面がFIXのとき</td><td>→ FIX</td><td></td></tr><tr><td>片引き（Ⅱ）</td><td>→</td><td>内倒し</td><td></td></tr><tr><td>引違いに戸袋がある場合</td><td>→</td><td>外倒し</td><td></td></tr><tr><td>シャッター</td><td></td><td>つきだし</td><td></td></tr><tr><td>オーバーヘッドドア</td><td></td><td>上げ下げ</td><td></td></tr><tr><td>折表開は片引き2枚折戸を示す</td><td></td><td>パランシス</td><td></td></tr></tbody></table>	表示事項	表示記号	表示事項	表示記号	両開き		アコーディオンドア		縦子		縦軸		片開き			両引き		はめこらし	FIX	引違い		すべりだし		片引き（Ⅰ） 片面がFIXのとき	→ FIX		片引き（Ⅱ）	→	内倒し		引違いに戸袋がある場合	→	外倒し		シャッター		つきだし		オーバーヘッドドア		上げ下げ		折表開は片引き2枚折戸を示す		パランシス	
表示事項	表示記号	表示事項	表示記号																																														
両開き		アコーディオンドア																																															
縦子		縦軸																																															
片開き																																																	
両引き		はめこらし	FIX																																														
引違い		すべりだし																																															
片引き（Ⅰ） 片面がFIXのとき	→ FIX																																																
片引き（Ⅱ）	→	内倒し																																															
引違いに戸袋がある場合	→	外倒し																																															
シャッター		つきだし																																															
オーバーヘッドドア		上げ下げ																																															
折表開は片引き2枚折戸を示す		パランシス																																															
4	展開図の尺度	<p>展開図について、詳細図相当（1/30又は1/50）で表現する必要がない場合、一般図相当（1/100）で作成する。</p>  <p>■事務室1-1_展開図A面 S=1:100</p>	<p>建築工事設計図書作成基準 4.2 図面等の順序、名称等（図中赤枠部分）</p> <p>一般図等の作成に用いたBIMモデルを利用して展開図を作成する場合、文字、記号等を、詳細図相当の尺度でも視認しやすく表示するための設定は難易度が高い。</p> <table border="1"><thead><tr><th>図面番号</th><th>図面名称</th><th>表示記号</th><th>尺度</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>15</td><td>平面・断面・部分詳細図</td><td>○</td><td>1/30又は1/50</td><td>1/2、1/3、1/5、1/10又は1/20を用いる</td></tr><tr><td>16</td><td>展開図</td><td>○</td><td>1/30又は1/50</td><td>詳細図と組み合わせることができる。</td></tr><tr><td>17</td><td>天井伏図</td><td>○</td><td>1/100又は1/200</td><td></td></tr><tr><td>18</td><td>建具位置図</td><td>○</td><td>1/100又は1/200</td><td>平面図と組み合わせることができる。</td></tr></tbody></table>	図面番号	図面名称	表示記号	尺度	備考	15	平面・断面・部分詳細図	○	1/30又は1/50	1/2、1/3、1/5、1/10又は1/20を用いる	16	展開図	○	1/30又は1/50	詳細図と組み合わせることができる。	17	天井伏図	○	1/100又は1/200		18	建具位置図	○	1/100又は1/200	平面図と組み合わせることができる。																					
図面番号	図面名称	表示記号	尺度	備考																																													
15	平面・断面・部分詳細図	○	1/30又は1/50	1/2、1/3、1/5、1/10又は1/20を用いる																																													
16	展開図	○	1/30又は1/50	詳細図と組み合わせることができる。																																													
17	天井伏図	○	1/100又は1/200																																														
18	建具位置図	○	1/100又は1/200	平面図と組み合わせることができる。																																													

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	(参考) 設計図書作成基準等											
5	躯体切断面	<p>伏図及び軸組図における躯体の切断面について、塗りつぶしにより表示する。</p> 	<p>建築工事設計図書作成基準 3.3 線、別表 2 材料構造表示記号（図中赤枠部分）</p> <p>躯体の切断面について、複数の構造部材を包絡するように強調して表示するための設定は困難な場合がある。</p> <p>(4) 塗りつぶし及びスマッシングは、図面をマイクロフィルム化等した場合に判読が困難となるため行わない。</p> <table><tr><th rowspan="2">表示事項</th><th colspan="3">表示事項</th></tr><tr><th>縮尺 1 / 100 又は 1 / 200 程度の場合</th><th>縮尺 1 / 10、1 / 20、1 / 30、1 / 50 程度の場合</th><th>原寸及び縮尺 1 / 2、1 / 3、1 / 5 程度の場合</th></tr><tr><td>鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	表示事項	表示事項			縮尺 1 / 100 又は 1 / 200 程度の場合	縮尺 1 / 10、1 / 20、1 / 30、1 / 50 程度の場合	原寸及び縮尺 1 / 2、1 / 3、1 / 5 程度の場合	鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート			
表示事項	表示事項													
	縮尺 1 / 100 又は 1 / 200 程度の場合	縮尺 1 / 10、1 / 20、1 / 30、1 / 50 程度の場合	原寸及び縮尺 1 / 2、1 / 3、1 / 5 程度の場合											
鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄筋コンクリート														
6	開口部の表示記号	<p>開口について、伏図、軸組図に表示しないこととし、軸組図では壁を塗りつぶしにより表示する。</p>  <p>■伏図</p>  <p>■軸組図</p>	<p>建築工事設計図書作成基準 3.3 線</p> <p>建築工事設計図書作成基準の資料</p> <p>資料 2. 図面への記載事項(22)、(23)（図中赤枠部分）</p> <p>開口部には部材を配置していないため、開口表示をするための設定は困難である。</p> <p>(4) 塗りつぶし及びスマッシングは、図面をマイクロフィルム化等した場合に判読が困難となるため行わない。</p> <table><tr><td>床版（スラブ）</td><td>位置、形状、寸法、記号、略号、構造方法、材料の種別、開口位置、開口形状及び開口寸法</td><td>接合部を含む。 ※小梁位置について、あらかじめの検討における許容範囲を考慮した床版厚を記載する。 土に接する床版は土間コンクリートか土間床版かの区別を記載する。</td></tr><tr><td>壁 開口</td><td>位置、形状及び寸法</td><td>躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。</td></tr></table>	床版（スラブ）	位置、形状、寸法、記号、略号、構造方法、材料の種別、開口位置、開口形状及び開口寸法	接合部を含む。 ※小梁位置について、あらかじめの検討における許容範囲を考慮した床版厚を記載する。 土に接する床版は土間コンクリートか土間床版かの区別を記載する。	壁 開口	位置、形状及び寸法	躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。					
床版（スラブ）	位置、形状、寸法、記号、略号、構造方法、材料の種別、開口位置、開口形状及び開口寸法	接合部を含む。 ※小梁位置について、あらかじめの検討における許容範囲を考慮した床版厚を記載する。 土に接する床版は土間コンクリートか土間床版かの区別を記載する。												
壁 開口	位置、形状及び寸法	躯体開口寸法を記載する。 ※躯体開口寸法及び開口位置について、あらかじめの検討における許容範囲（鉛直及び水平方向）を記載する。												

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	(参考) 設計図書作成基準等																														
7	吹出口等の 図示記号	<p>機器の周囲にある複数の矢印表示を省略する。</p> <table><tr><th>名称</th><th>記号</th><th>備考</th></tr><tr><td>吹出口</td><td> (壁付き)</td><td></td></tr><tr><td></td><td>  (天井付及び床付き)</td><td></td></tr><tr><td>吸込口</td><td> (壁付き)</td><td></td></tr><tr><td></td><td>  (天井付及び床付き)</td><td></td></tr></table>	名称	記号	備考	吹出口	 (壁付き)			  (天井付及び床付き)		吸込口	 (壁付き)			  (天井付及び床付き)		<p>公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 図示記号 機器及び材料(図中赤枠部分)</p> <p>機器の周囲に複数の矢印を表示する設定は困難である。</p> <table><tr><th>種 別</th><th>記 号</th><th>備 考</th></tr><tr><td>吹出口(壁付き)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>同上(天井付き及び床付き)</td><td></td><td>特殊な形状のものは、これに準じて記入</td></tr><tr><td>吸込口(壁付き)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>同上(天井付き)</td><td></td><td>特殊な形状のものは、これに準じて記入</td></tr></table>	種 別	記 号	備 考	吹出口(壁付き)			同上(天井付き及び床付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入	吸込口(壁付き)			同上(天井付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入
名称	記号	備考																															
吹出口	 (壁付き)																																
	  (天井付及び床付き)																																
吸込口	 (壁付き)																																
	  (天井付及び床付き)																																
種 別	記 号	備 考																															
吹出口(壁付き)																																	
同上(天井付き及び床付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入																															
吸込口(壁付き)																																	
同上(天井付き)		特殊な形状のものは、これに準じて記入																															
8	ダンパーの 図示記号	<p>BIMソフトウェアに設定された記号で表示する。</p> <table><tr><th>名称</th><th>記号</th></tr><tr><td>風量調節ダンパー</td><td> VD </td></tr><tr><td>モーターダンパー</td><td> MD </td></tr><tr><td>逆流防止ダンパー</td><td> CD </td></tr><tr><td>防火ダンパー</td><td> FD </td></tr><tr><td>排煙ダクト接続の防火ダンパー</td><td> HFD </td></tr><tr><td>防煙ダンパー</td><td> SD </td></tr><tr><td>排煙ダンパー</td><td> SMD </td></tr><tr><td>防火防煙ダンパー</td><td> SFD </td></tr><tr><td>ピストンダンパー</td><td> PD </td></tr><tr><td>防火ピストンダンパー</td><td> PFD </td></tr></table>	名称	記号	風量調節ダンパー	 VD 	モーターダンパー	 MD 	逆流防止ダンパー	 CD 	防火ダンパー	 FD 	排煙ダクト接続の防火ダンパー	 HFD 	防煙ダンパー	 SD 	排煙ダンパー	 SMD 	防火防煙ダンパー	 SFD 	ピストンダンパー	 PD 	防火ピストンダンパー	 PFD 	<p>公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 図示記号 機器及び材料(図中赤枠部分)</p> <table><tr><th>種 別</th><th>記 号</th><th>備 考</th></tr><tr><td>ダンパー</td><td></td><td>次の記号を記入 風量調節ダンパー：VD 防火ダンパー：FD 排煙ダンパー：SMD 防煙ダンパー：SD 排煙ダクト接続の防火ダンパー：HFD 防火防煙ダンパー：SFD 逆流防止ダンパー：CD モーターダンパー：MD ピストンダンパー：PD</td></tr></table>	種 別	記 号	備 考	ダンパー		次の記号を記入 風量調節ダンパー：VD 防火ダンパー：FD 排煙ダンパー：SMD 防煙ダンパー：SD 排煙ダクト接続の防火ダンパー：HFD 防火防煙ダンパー：SFD 逆流防止ダンパー：CD モーターダンパー：MD ピストンダンパー：PD		
名称	記号																																
風量調節ダンパー	 VD 																																
モーターダンパー	 MD 																																
逆流防止ダンパー	 CD 																																
防火ダンパー	 FD 																																
排煙ダクト接続の防火ダンパー	 HFD 																																
防煙ダンパー	 SD 																																
排煙ダンパー	 SMD 																																
防火防煙ダンパー	 SFD 																																
ピストンダンパー	 PD 																																
防火ピストンダンパー	 PFD 																																
種 別	記 号	備 考																															
ダンパー		次の記号を記入 風量調節ダンパー：VD 防火ダンパー：FD 排煙ダンパー：SMD 防煙ダンパー：SD 排煙ダクト接続の防火ダンパー：HFD 防火防煙ダンパー：SFD 逆流防止ダンパー：CD モーターダンパー：MD ピストンダンパー：PD																															